

千葉大学大学院融合理工学府 (博士後期課程)

【2025年10月入学第2回・2026年4月入学第1回学生募集要項】

【2026年4月入学第2回・2026年10月入学第1回学生募集要項】

【2026年4月入学第3回学生募集要項】

Chiba University
Graduate School of Science and Engineering
Doctoral Program

Admissions Guidelines and Application Forms
for 2nd Selection of October 2025 Admission and
1st/2nd/3rd Selections of April 2026 Admissions and
1st Selection of October 2026 Admission

※融合理工学府の複数のコースへの併願はできません。

出願に際しては、あらかじめ志望する指導教員に教育研究内容等について確認の上、出願してください。

【理学系】

数学・情報数理学コース
地球科学コース
物理学コース
化学コース
生物学コース
量子生命科学コース

【工学系】

リモートセンシングコース
都市環境システムコース
物質科学コース
共生応用化学コース
建築学コース
デザインコース
機械工学コース
医工学コース
電気電子工学コース

大学院融合理工学府ホームページ
千 葉 大 学 ホ ム ペ ー ジ

<https://www.se.chiba-u.jp>
<https://www.chiba-u.ac.jp>

目 次

2025年10月入学第2回・2026年4月入学第1回学生募集要項.....	1
2026年4月入学第2回・2026年10月入学第1回学生募集要項.....	27
2026年4月入学第3回学生募集要項（理学系コースのみ）	53
大学院融合理工学府案内	75
教員一覧 理学系コース	83
工学系コース	99

Contents

October 2025 Admission/2 nd Selection, April 2026 Admission/1 st Selection.....	13
April 2026 Admission/2 nd Selection, October 2026 Admission /1 st Selection.....	39
April 2026 Admission/3 rd Selection (Science Fields Available).....	65
Overview of the Graduate School of Science and Engineering.....	75
List of Faculty Members in Science Fields.....	83
and Engineering Fields	99

出願書類の提出・問合せ先

理学系コース：数学・情報数理学，地球科学，物理学，化学，生物学，量子生命科学

担当係 千葉大学西千葉地区事務部理工系学務課理学系学務係

〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町1-33

電話：043（290）2880

Eメール：rigaku-nyushi@chiba-u.jp

場所：理学部1号館2階

**工学系コース：リモートセンシング，都市環境システム，物質科学，共生応用化学，
建築学，デザイン，機械工学，医工学，電気電子工学**

担当係 千葉大学西千葉地区事務部理工系学務課工学系大学院学務係

〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町1-33

電話：043（290）3885

Eメール: kougaku-daigakuin@office.chiba-u.jp

場所：工学部11号棟1階

2025年10月入学第2回・2026年4月入学第1回学生募集要項

大学院融合理工学府博士後期課程では、2025年10月入学及び2026年4月入学の学生を以下のとおり募集します。なお、「募集人員」には、千葉大学大学院博士前期課程（修士課程）からの進学者も含まれます。また、出願に際しては、あらかじめ志望する指導教員に教育研究内容等について確認の上、出願してください。

本募集要項は、募集人員、出願資格及び入学手続き日等以外は、入学時期に関わらず共通の内容となっています。また、理学系、工学系の記載がないものについては、両分野どちらのコースにも共通の内容となっています。

本学大学院及び本学府の入学受入れ方針は、それぞれホームページをご覧ください。

（本学大学院：<https://www.chiba-u.ac.jp/admissions/daigakuin/adpolicy.html>）

（本学府：<https://www.se.chiba-u.jp/admission/index.html>）

1 この募集要項で出願できる専攻・コース及び募集人員（各コースの募集人員は目安です）

専攻名	コース名	系	募 集 人 員		
			2025年 10月入学 第2回	2026年 4月入学 第1回	
数学情報科学	数学・情報数理学	理学	若干名	5名	（5名）
地球環境科学	地球科学	理学	若干名	15名	（4名）
	リモートセンシング	工学	若干名		（6名）
	都市環境システム	工学	若干名		（5名）
先進理化学	物理学	理学	若干名	32名	（5名）
	物質科学	工学	若干名		（8名）
	化学	理学	若干名		（6名）
	共生応用化学	工学	若干名		（5名）
	生物学	理学	若干名		（5名）
	量子生命科学	理学	若干名		（3名）
創成工学	建築学	工学	若干名	16名	（6名）
	デザイン	工学	若干名		（10名）
基幹工学	機械工学	工学	若干名	17名	（6名）
	医工学	工学	若干名		（5名）
	電気電子工学	工学	若干名		（6名）

※ダブル・ディグリー・プログラムにより入学を希望する外国人留学生は、この選抜に出願してください。

2 出願資格

次のいずれかに該当する者

注意：以下の（１）～（８）の中の※が付いた年月（2026年3月※）は2026年4月入学の場合です。2025年10月入学は2025年9月に読み替えてください。

- （１）修士の学位又は専門職学位を有する者及び2026年3月※に修士の学位又は専門職学位を取得見込みの者
- （２）外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び2026年3月※までに授与される見込みの者
- （３）外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び2026年3月※までに授与される見込みの者
- （４）我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び2026年3月※までに授与される見込みの者
- （５）国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法（昭和51年法律第72号）第1条第2項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び2026年3月※までに授与される見込みの者
- （６）外国の学校、上記出願資格（４）の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者及び2026年3月※までに認められる見込みの者で、本学府において修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
- （７）文部科学大臣の指定した者（平成元年9月1日文部省告示第118号）
 - ① 大学を卒業した後、大学、研究所等において、2年以上の研究に従事した者で、本学府において、当該研究の成果等により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
 - ② 外国において学校教育における16年の課程を修了し、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上の研究に従事した者で、本学府において、当該研究の成果等により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
- （８）本学府において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、24歳に達したもの及び2026年3月※までに24歳に達するもの

出願資格（６），（７），（８）による志願者は、事前に出願資格の認定審査が必要となりますので、6ページ「4 出願資格の認定手続について」を参照してください。

3 出願手続等

(1) 受付期間 **2025年6月17日（火）から6月19日（木）まで（必着）**

(2) 受付時間 9時から17時まで

(3) 受付場所 工学系総合研究棟2 2階

次の(4)の出願書類を取り揃えて、直接持参してください。（裏表紙地図を参照のこと。）

なお、やむを得ず郵送する場合は、(1)の出願受付期間までに必着するように、志望するコースの担当係宛（目次頁の「問合せ先」を参照のこと。）にレターパックプラス又は簡易書留速達で郵送してください。（出願用封筒に貼るラベルを融合理工学府ホームページに掲載しています。印刷して封筒に貼付してください。）日本国外から出願する場合は、EMSで送付してください。

また、書類に不備がある場合は受理できないことがあります。日本国外から直接出願する場合は、あらかじめ志望するコースの担当係（目次頁の「問合せ先」を参照のこと。）へ連絡してください。

(4) 出願書類

①入学願書、②受験票・写真票のみ、2026年4月入学者用 **A1** **A2** 及び2025年10月入学者用 **B1** **B2** に分かれています。ほかの提出書類は2026年4月入学と2025年10月入学共に全て共通です。

記入に際しては、黒のボールペンを用いて自筆、楷書でていねいに記入してください。（消せるボールペンなど改ざん可能なものは使用しないでください。）誤って記入した場合は、二重線で消し、余白に記入してください。



本学所定の様式 **C** ～ **H** は、本学府のホームページからダウンロードして使用してください。

(https://www.se.chiba-u.jp/admission/latter/2nd_dr.html)

ただし **A1** **A2** 及び **B1** **B2** は、この募集要項にとじ込みのものを必ず使用してください。

（外国人志願者は、指定がない限り以下の出願書類を英語で作成しても差し支えありません。）

出 願 書 類	注 意 事 項 等
① 入学願書	本学所定の様式 A1 または B1 に記入してください。
②受験票・写真票	本学所定の様式 A2 または B2 に記入してください。 （受験票と写真票は切り離さないでください。） 受験票は、入学後の学生証交付時にも使用しますので、それまで大切に保管しておいてください。
③検定料 30,000円 ※千葉大学大学院在籍者は、検定料は不要です。 ※現在国費外国人留学生及びダブル・ディグリー・プログラムによる外国人留学生の場合は、検定料は不要です。事前にお問合せ願います。	下記により、 必ず出願前に 、検定料を払い込んでください。 (1) 検定料払込期間： 2025年6月1日（日）から6月19日（木）まで (2) 払込方法： 「E-支払いサービス」 を利用し、コンビニエンスストア、ペイジー、ネットバンキング、クレジットカードのいずれかにより払い込んでください。 ※払込手続等は、大学院融合理工学府ホームページやE-支払いサービスWebサイトの「利用ガイド」を参照してください。ご不明な点は、同サイトの「よくある質問」を確認の上、E-支払いサービスサポートセンターに問合せってください。 ※事務手数料は各自で負担してください。 (3) 払込後の手続： 収納証明書を入学願書 A1 または B1 に貼付し提出してください。収納証明書の取得方法については次のとおりです。

出 願 書 類	注 意 事 項 等
	<p>・コンビニエンスストア決済の場合→店舗で受け取ってください。</p> <p>・ペイジー、ネットバンキング、クレジットカード決済の場合 →E-支払いサービス Web サイト「申込内容照会」から印刷してください。</p> <p>(4) 一旦納入された検定料は、原則返還しません。ただし、検定料を誤って振込み、出願しなかった者が、所定の返還手続を行った場合は返還します。返還手続の詳細は、志望するコースの担当係（目次頁の「問合せ先」を参照のこと。）に確認してください。なお、返還手続期限は 2026 年 3 月 31 日（火）となります。</p> <p>■ E-支払いサービス (https://e-shiharai.net/) インターネット上から、コンビニエンスストア、ペイジー、ネットバンキング、クレジットカードから希望の払込方法を選択の上、検定料の払込等ができるサービスです。 ※当サイトへの事前申込が必要です。</p>  <p>■ 海外から志願される方へ 日本国外在住の志願者についてはクレジットカードのみ利用できます。 クレジットカードでの払込後、E-支払いサービス Web サイトの「申込内容照会」から収納証明書を印刷し、入学願書 A 1 または B 1 に貼付してください。 ※英語版サイト (https://e-shiharai.net/ecard/) 外国人留学生向けの英語版サイトです。こちらはクレジットカード決済のみの案内となります。決済後、印刷した「Result Page」を出願書類と併せて提出してください。</p> 
④成績証明書 各 1 通	<p>1. 大学院修士課程（博士前期課程）の成績証明書</p> <p>2. 大学学部の成績証明書 （いずれも和文か英文に限る。）</p>
⑤写真 3 枚	<p>出願前 3 か月以内に撮影した上半身・正面向き・脱帽の同じ写真（縦 4 cm × 横 3 cm）を入学願書 A 1 または B 1、受験票・写真票 A 2 または B 2 の写真欄に貼付してください。</p>
⑥修士課程修了証明書 又は修了見込証明書	<p>最終出身学校の長又は研究科長が作成したもの。 「修了見込証明書」を提出する者は、入学手続きの際、「修了証明書」を提出してください。（和文か英文に限る。）</p>
⑦修士の学位論文等	<p>●修士の学位を有する者</p> <p>1. 学位論文のコピー</p> <p>2. 学位論文の要旨（所定の様式 C により 2,000 字以内）</p> <p>●修士の学位を有しない者</p> <p>1. 研究経過報告書（所定の様式 D により 2,000 字以内）</p> <p>2. 研究業績調書（所定の様式 E）は、研究経過報告書以外に研究発表等の業績、資料があれば提出してください。</p>
⑧研究計画書	<p>所定の様式 F に記入してください。</p>

出 願 書 類	注 意 事 項 等
⑨返信用封筒 (受験票等送付用)	<p>●日本国内居住の志願者 本募集要項に添付してある返信用封筒を提出してください。封筒には志願者の郵便番号、住所及び氏名を明記し、郵便切手110円分*を貼付してください。 ※値上げが実施された場合には改定後の料金分の切手を貼付してください。</p> <p>●海外在住の志願者 封筒には志願者の郵便番号、住所及び氏名を明記してください。海外から出願する場合は、郵便切手は不要です。EMSで送付します。</p>
⑩住所シール	すべてに記入してください。
⑪その他	在職のまま在学しようとする志願者は、所属長の受験許可書(所定の様式 G による)を提出することが望まれます。
⑫履歴書 (外国人志願者のみ)	所定の様式 H に記入してください。
⑬住民票の写し (外国人志願者のみ)	<p>●日本国内居住の志願者 市区町村発行のもの。(在留資格または在留区分、在留期間、国籍・地域が記載されたもの、かつ個人番号(マイナンバー)が記載されていないもの) コピーは不可です。</p> <p>●海外在住の志願者 パスポートのコピーを提出してください。パスポートのコピーは、本人の氏名、生年月日、性別を表示する部分及び日本国査証があればその部分とします。</p>
⑭在学証明書 (ダブル・ディグリー・プログラムの志願者のみ)	現在の在籍大学(ダブル・ディグリー・プログラム協定締結大学)が作成したもの。

(5) 出願の際の留意事項等

- ① 出願書類に不備がある場合は、受理しません。
- ② **証明書類は、指定がない限り全て原本が基本です。**コピー、ファックスや公式でない印刷物は受理できません。また、一度受理した出願書類は、**いかなる理由があっても返却しません。**再発行されない原本を提出する場合、出願前に必ず志望するコースの担当係(目次頁の「問合せ先」を参照のこと。)に相談してください。
- ③ 婚姻等により証明書と入学願書等の氏名が異なる場合は、戸籍抄本(コピー可)を添付してください。
- ④ 出願書類 **C** ～ **H** を記入の際、ワープロソフト等を使用して記入してください。
(所定の様式に手書きで記入してもかまいません。)
- ⑤ 出願後の出願内容の変更は認めません。ただし、出願後の住所変更については書面(書式は自由)により届け出てください。
- ⑥ 入学願書等に虚偽の記載をした者は、入学後であっても入学の許可を取り消すことがあります。
- ⑦ 本選抜の過程で収集した個人情報(入学選抜の実施のほか、管理運営業務、修学指導業務、入学選抜方法等)における調査・研究に関する業務等を行うために利用します。

- ⑧ その他不明な点があるときは、志望するコースの担当係（目次頁の「問合せ先」を参照のこと。）へ問合せてください。

4 出願資格の認定手続について

出願資格（６），（７），（８）による志願者は、次の手続を行ってください。

本学府が審査の上、決定します。

志願者は、提出前にあらかじめ志望するコースの担当係（目次頁の「問合せ先」を参照のこと。）へ問合せってください。

（１）提出書類

本学所定の様式 **I** **E** **J** **H** は、本学府のホームページからダウンロードして使用してください。

(https://www.se.chiba-u.jp/admission/latter/2nd_dr.html)

提出書類	注意事項等
入学試験出願資格認定申請書	所定の様式 I に記入してください。
研究業績調書	所定の様式 E に記入してください。
成績証明書	最終出身学校の長が作成したもの。
卒業証明書	最終出身学校の長が作成したもの。
推薦書	所定の様式 J に記入してください。 有職者の場合、本人を熟知し、職場において指導的立場にある者が作成したものであってもよい。 その他の場合は、自己推薦書でもよい。その場合の様式は任意とします。
住所シール	すべてに記入してください。
その他	審査の参考となるもの。（学術論文及びそれに相当するもの）
履歴書（外国人志願者のみ）	所定の様式 H に記入してください。
住民票の写し （外国人志願者のみ）	<p>●日本国内居住の志願者 市区町村発行のもの（在留資格または在留区分、在留期間、国籍・地域が記載されたもの、かつ個人番号（マイナンバー）が記載されていないもの）。コピーは不可です。</p> <p>●海外在住の志願者 パスポートのコピーを提出してください。パスポートのコピーは、本人の氏名、生年月日、性別を表示する部分及び日本国査証があればその部分とします。</p>
在学証明書 （ダブル・ディグリー・プログラム の志願者のみ）	現在の在籍大学（ダブル・ディグリー・プログラム協定締結大学）が作成したもの。

（２）提出期間

2025年5月7日（水）から5月9日（金）まで（必着）

（３）提出方法

- ① 提出書類を郵送する場合は、海外から出願する場合はEMSで、日本国内から郵送する場合は

封筒の表に「博士後期課程 出願資格認定申請在中」と朱書きの上、志望するコースの担当係（目次頁の「問合せ先」を参照のこと。）宛に簡易書留郵便で送付してください。EMS又は郵送で出願する場合も2025年5月9日（金）17時までに必着とします。なお、書類に不備がある場合は受理できないことがあります。日本国外から直接出願する場合は、あらかじめ志望コースの担当係（目次頁の「問合せ先」を参照のこと。）へ連絡の上、提出してください。

② 窓口を持参する場合は、9時から17時の間に志望コースの担当係（目次頁の「問合せ先」を参照のこと。）へ持参してください。

（4）結果通知

審査の結果は、本人宛通知します。

（5）出願手続

出願資格を有すると認められた場合、願書受付期間に出願してください。その際、出願資格認定申請時に提出した書類については、改めて提出する必要はありません。

（6）入学者選抜

出願資格を有すると認められた志願者の選抜は、すべて一般志願者と同様に行います。

5 身体等に障害のある入学志願者の事前相談

身体等に障害があり、受験上（及び修学上）特別な配慮を必要とする場合は、出願に先立ち、次により志望するコースの担当係（目次頁の「問合せ先」を参照のこと。）へ事前相談の申請を行ってください。

（1）提出書類

- ① 事前相談申請書（用紙は、志望するコースの担当係（目次頁の「問合せ先」を参照のこと。）に請求してください。）
- ② 医師の診断書（障害の程度及び必要とする具体的な措置等を記載したもの）

（2）事前相談の締切日

2025年5月9日（金）17時まで

（3）書類提出先

志望コースの担当係（目次頁の「問合せ先」を参照のこと。）に提出してください。

（4）相談内容の検討

提出された書類に基づき、本学関係者で検討を行います。ただし、検討の過程において、本人、保護者又は出身大学関係者へ照会する場合があります。

6 入学者選抜

（1）選抜方法

入学者の選抜は学力検査及び成績証明書を総合して行います。

（2）学力検査

口頭試問：修士学位論文及び研究計画書 **□** 等について、パワーポイント等を用いて説明してもらい、それに関する質疑応答を行います。
詳細を必ず、志望する指導教員におたずねください。

（3）学力検査日時（**理学系と工学系で日程が異なりますのでご注意ください。**）

【理学系】

2025年8月5日（火）10時～

【工学系】

2025年8月6日（水）10時～

※学力検査日当日に来学できない場合には、事前学力検査の制度があります。詳細は、出願前に志望する指導教員へ問合せてください。

（４）学力検査場

千葉大学西千葉キャンパスで行います。詳細は、注意事項掲示で確認してください。

7 注意事項

- （１）試験に必要な注意事項、学力検査室の配置等を、理学系コースは2025年8月4日（月）10時に理学部1号館掲示板に、工学系コースは2025年8月5日（火）10時に工学部掲示板に掲示します。
（裏表紙地図を参照のこと。）
- （２）入学試験期間中は、受験票を必ず持参・携帯してください。
- （３）検査当日、最寄りの駅から検査場周辺にかけて合否電報等の勧誘や物品の販売等をしていることがあります。これらの行為は本学とは一切関係ありませんので、不当な料金を請求される等のトラブルに巻き込まれないよう充分注意してください。そのような事故が生じて本学は一切責任を負いません。

8 合格者発表

2025年9月3日（水）14時（予定）に融合理工学府ホームページ(<https://www.se.chiba-u.jp/admission/result.html>)に掲載します。（掲載期間：2025年9月3日（水）14時（予定）～9月9日（火）17時）

合格者には合格発表後速やかに合格通知書及び関係書類をEMS、レターパック、簡易書留郵便等で送付します。

なお、結果についての電話やEメールによる問合せには一切お答えできません。

9 入学手続

（１）入学手続日

入学時期	WEB 入学手続日	入学手続案内の発送
2025 年 10 月入学	2025 年 9 月 5 日（金）15 時 00 分から 9 月 12 日（金）15 時 00 分まで （日本時間）	合格通知書とともにEMS、レターパック、簡易書留郵便等で送付します。
2026 年 4 月入学	2026 年 3 月 11 日（水）15 時 00 分から 3 月 18 日（水）15 時 00 分まで （日本時間）	入学手続案内は、2 月中旬までにEMS、レターパック、簡易書留郵便等で送付します。

千葉大学では合格者の利便性を図るため、「WEB 入学手続システム」を導入しています。システムを利用することで、入学手続のために大学へ来校することが基本的には不要になります。また、入学料については、クレジットカード決済（国内、海外）やコンビニ支払い（国内のみ）等による納入となります。

なお、上記期間内に入学手続を完了しないと、入学を辞退したものと見なしますので、十分注意してください。

(2) 入学時の必要経費等

■入学料 282,000円（千葉大学大学院在籍者は、入学料は不要です。）

■授業料 半期321,480円 年額642,960円

(注) 1 国費外国人留学生及びダブル・ディグリー・プログラムによる外国人留学生は、入学料、授業料の納入は不要です。

2 納入した入学料は、いかなる理由があっても返還しません。

3 2026年4月入学者の前期分授業料は5月に、2025年10月入学者の後期分授業料は11月に口座振替により納入していただきます。翌期以降の授業料については、前期分授業料は4月、後期分授業料は10月が口座振替の月となります。口座振替手続についての詳細は入学手続案内時に改めてお知らせします。

4 入学料及び授業料等の改定が行われた場合には、改定時から新入学料及び新授業料等が適用されます。

5 入学料及び授業料が免除される制度があります。詳細は、千葉大学ホームページをご覧ください。

(<https://www.chiba-u.ac.jp/students/payment/exemption.html>)



■学生教育研究災害傷害保険料 3,620円（3年分・付帯賠償責任保険を含む）

※外国人留学生は、学生教育研究災害傷害保険料 2,600円（3年分）及び

外国人留学生向け学研災付帯学生生活総合保険（インバウンド付帯学総）

Aタイプ4,680円又はBタイプ28,780円 全員加入

保険料の改定が行われた場合には、改定時から新保険料が適用されます。

詳細は千葉大学ホームページをご覧ください。

(https://www.chiba-u.ac.jp/for_school-life/support.html)

10 修了要件

本学府博士後期課程の標準修業年限は3年です。修了要件は3年以上在学し、本学府で定めた単位を14単位以上修得し、博士論文の審査及び最終試験に合格することが条件となります。また、原則として在学中の留学あるいは留学と同等の教育効果のある国際経験も必須です。

11 修了期間短縮について

優れた業績をあげた者、あるいは社会人等で研究業績が3年間で修了するために必要な業績と同等以上と認められる場合には、1年以上3年未満の在学で早期修了することができます。

12 教育方法の特例について

本学府博士後期課程では、教育上特別の必要があると認めるときは、夜間その他の時間または適切な時期に講義を聴講し、研究を行うことができます。

希望者は、あらかじめ志望する指導教員に照会してください。

また、その旨入学願書に記入してください。

13 長期履修学生制度について

職業を有している等の社会人学生で、1年間または1学期間に修得可能な単位数や研究指導を受ける時間が制限されるため、本学府の標準修業年限（博士後期課程は3年間）を超えて在学しなければ課程を修了することができないと考える者に対して、申請に基づき、大学が審査し、最長6年間の修業年限で在学し、計画的に課程を修了することにより学位の取得を認める制度です。

なお、長期履修学生として認められた期間の授業料は、標準修業年限の3年間（6学期）の総額を在学学期で除した額を分割して支払うことになります。

本制度を希望する者は、あらかじめ志望する指導教員に照会してください。

また、その旨入学願書に記入してください。

14 千葉大学グローバル人材育成“ENGINE”について

千葉大学が2020年度から取り組む「千葉大学グローバル人材育成“ENGINE”」では、“学部・大学院生の全員留学”を目指して、留学プログラムや留学支援体制を強化するとともに、外国人教員の増員等による教育改革や留学中でも科目履修が継続出来る教育環境整備等を行っています。

詳細についてはこちらをご覧ください。 <https://www.chiba-u.ac.jp/engine/index.html>

千葉大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「国立大学法人千葉大学安全保障輸出管理規程」を定め、学生の受入れに際し、厳格な審査を実施しています。

規制事項に該当する場合は、希望する研究活動に制限がかかる場合がありますので、ご注意ください。

Chiba University
Graduate School of Science and Engineering
Doctoral Program

Admissions Guidelines and Application Forms
for 2nd Selection of October 2025 Admission and
1st Selection of April 2026 Admission

An applicant may not submit two or more applications to the graduate school at the same time.
Before applying, please contact directly a desired research supervisor in the education and research field that you wish to choose to confirm your choice.

<u>Science Fields</u>	<u>Engineering Fields</u>
<i>Department of</i>	<i>Department of</i>
Mathematics and Informatics	Environmental Remote Sensing
Earth Sciences	Urban Environment Systems
Physics	Materials Science
Chemistry	Applied Chemistry and Biotechnology
Biology	Architecture
Quantum Life Science	Design
	Mechanical Engineering
	Medical Engineering
	Electrical and Electronic Engineering

Contact & Destination of Admission Application Submission

SCIENCE FIELDS

The department of: Mathematics and Informatics
Earth Sciences
Physics
Chemistry
Biology
Quantum Life Science

Department in charge of admissions: Student Affairs Unit for Faculty of Science
Student Affairs Division for Science and Engineering
Nishi-Chiba Area Administration Office
Chiba University

Address: 1-33 Yayoi-cho, Inage-ku, Chiba City, Chiba 263-8522 Japan
TEL: 043-290-2880
Email: rigaku-nyushi@chiba-u.jp
Location: Faculty of Science Bldg. #1, 2nd floor

ENGINEERING FIELDS

The department of: Environmental Remote Sensing
Urban Environment Systems
Materials Science
Applied Chemistry and Biotechnology
Architecture
Design
Mechanical Engineering
Medical Engineering
Electrical and Electronic Engineering

Department in charge of admissions: Graduate Student Affairs Unit
Student Affairs Division for Science and Engineering
Nishi-Chiba Area Administration Office
Chiba University

Address: 1-33 Yayoi-cho, Inage-ku, Chiba City, Chiba 263-8522 Japan
TEL: 043-290-3885
Email: kougaku-daigakuin@office.chiba-u.jp
Location: Faculty of Engineering Bldg. #11, 1st floor

The Graduate School of Science and Engineering invites applications for its Doctoral Program as outlined in the table below. Potential applicants include students from the Chiba University Graduate School's Master's Program who wish to take the next step in their education. Before applying, please contact a desired supervisor in the education and research field that you wish to choose to confirm your choice.

Information of this booklet except Section 1, 2 and 9 is useful all in common for both April and October Admissions. And besides, it is available in common for the departments in both Science and Engineering fields as long as there is no statement of the words called 'the Science or Engineering fields' clearly.

You can view the Admission Policy of the Graduate School of Science and Engineering, and of Chiba University Graduate Schools on the webpages.

(<https://www.chiba-u.ac.jp/admissions/daigakuin/adpolicy.html>)

(<https://www.se.chiba-u.jp/admission/index.html>)

1. Applicable Divisions, Departments and Number of Students to Be Admitted to This Guidelines

(The number each department is a rough standard.)

Division	Department	Fields*	Number of Students to Be Admitted	
			October 2025 Admission 2nd Selection	April 2026 Admission 1st Selection
Mathematics and Informatics	Mathematics and Informatics	Sci.	A few	5 (5)
Earth and Environmental Sciences	Earth Sciences	Sci.	A few	15 (4)
	Environmental Remote Sensing	Eng.	A few	
	Urban Environment Systems	Eng.	A few	
Advanced Science and Engineering	Physics	Sci.	A few	32 (5)
	Materials Science	Eng.	A few	
	Chemistry	Sci.	A few	
	Applied Chemistry and Biotechnology	Eng.	A few	
	Biology	Sci.	A few	
	Quantum Life Science	Sci.	A few	
Creative Engineering	Architecture	Eng.	A few	16 (6)
	Design	Eng.	A few	
Fundamental Engineering	Mechanical Engineering	Eng.	A few	17 (6)
	Medical Engineering	Eng.	A few	
	Electrical and Electronic Engineering	Eng.	A few	

*Sci.: Science fields, Eng.: Engineering fields

Note: International applicants in Double Degree Program must submit application materials to this selection.

2. Qualifications for Admission Application

Applicants must meet one of the following qualifications.

The asterisked deadline of March 2026 in the following (1)-(8) concerns applicants who will enter the graduate school in April 2026. For applicants proposing to enter from October 2025, the deadline is September 2025.

- (1) The applicant has a master's degree or professional degree, or expects to obtain one by March 2026*.
- (2) In a foreign country, the applicant has been granted, or expects to be granted by March 2026*, a degree corresponding to a master's degree or a professional degree.
- (3) The applicant, by reviewing, in Japan, the subjects in the correspondence education conducted by a foreign school, has been granted, or expects to be granted by March 2026*, a degree corresponding to a master's degree or a professional degree.
- (4) The applicant has completed a foreign graduate school's course, conducted at an educational institution in Japan that is an accredited part of the educational system of the related foreign country and also recognized by Japan's Minister of Education, Culture, Sports Science and Technology, and has consequently been granted a degree corresponding to a master's degree or a professional degree or expects to receive such a degree by March 2026*.
- (5) The applicant has been granted, or expects to be granted by March 2026*, a degree corresponding to a master's degree, through course completion at the United Nations University as prescribed in Article 1-(2) of the Act on special Measures Incidental to Enforcement of the Agreement between the United Nations and Japan regarding the Headquarters of the United Nations University (Act No. 72 of 1976), which was established under the December 11, 1972 resolution of the General Assembly of the United Nations.
- (6) The applicant has completed a course study at a school outside of Japan, in an educational institution as designated above in (4) of the required qualifications, or in the United Nations University, has passed the examination and screening equivalent to those prescribed in Article 16-2 of the Standards for Establishment of Graduate Schools, and has been recognized as having academic abilities at least equivalent to that of a Master's degree holder, or is expected to be recognized by March 2026*, and has been recognized by this school as having academic abilities at least equivalent to that of a Master's degree holder.
- (7) The applicant meets either of the following qualifications designated in Ministry of Education Bulletin No. 118 of September 1, 1989.
 - ① After graduating from college, the applicant engaged in at least two years of research at a university, research center, etc. and, based on the resulting research achievements, etc., has been recognized, by the graduate school in question, as having scholarly attainments that are at least the equivalent of those of individuals who have a master's degree or a professional degree.
 - ② After completing a 16-year course of study in the educational institutions of a foreign country, or after reviewing, in Japan, the subjects in the correspondence education conducted by a foreign school and thereby completing a 16-year course of study in the educational institutions of the related foreign country, the applicant engaged in at least two years of research at a university, research center, etc., and, based on the resulting research achievements, etc., has been recognized, by the graduate school in question, as having scholarly attainments that are at least the equivalent of those of individuals who have a master's degree or a professional degree.
- (8) Based on an examination, conducted by this school, of the applicant's qualifications to enter this school, the applicant has been judged to have scholastic attainments that are at least the equivalent of those of individuals with a master's degree or a professional degree, and is also 24 years of age or will turn 24 by March 2026*.

Applicants who would meet the Qualifications (6), (7) or (8) above need another process in advance. Please view "4. Request for Judging Qualification for Admission Application" (p.18).

3. Application Procedures

(1) Period: **Tue., June 17—Thu., June 19, 2025 (without fail)**

(2) Time: 9:00 a.m. — 5:00 p.m. Japan time

(3) Venue: Engineering Research Bldg. #2, 2nd floor (called *Kogaku-kei Sogo Kenkyuto* #2)

Please prepare and submit application materials of Section (4) below in person. (See the back cover map of this booklet.)

If mailing your application of necessity, please send it to the department in charge of Science or Engineering fields (See the Contact & Destination of Admission Application Submission (colored page) of this booklet.) by a Letter Pack Plus or a simple registered express mail. (Address labels that are posted on the graduate school website are available to print out and paste on the envelope.) Mailed application materials must reach us by the same deadline as above. If applying from outside Japan, send them by EMS.

Incomplete documents may not be accepted. When application is to be made directly from abroad, applicants are strongly advised to contact the department in charge (See the front cover of this booklet.) before application submission.

(4) Application Materials

Regarding ①Application Form, and ②Admission Ticket for Examination and Photo ID Card, there is each different sheet of Form **A1** **A2** for April 2026 Admission, and **B1** **B2** for October 2025 Admission. You should use the correct forms depending on your desired application. Other documents are all in common.



You must fill in clearly in block letters with a black ballpoint pen in case of making a handwritten entry. **(Erasable ballpoint pen which is capable of altering something cannot be used.)** When you make a mistake in writing, you should erase with double lines and write down in the blank space.

You may download the documents of **C** to **H** from the website of the Graduate School of Science and Engineering. **A1** **A2** and **B1** **B2** should NOT be downloaded.

(https://www.se.chiba-u.jp/admission/latter/2nd_dr.html)

International applicants may prepare the documents for the application in English unless otherwise specified.

<i>Required Materials</i>	<i>Notes</i>
①Application Form	Fill in the prescribed form A1 or B1 .
②Admission Ticket for Examination and Photo ID Card	Fill in the prescribed forms A2 or B2 . (Do not separate these forms of Admission Ticket for Examination from Photo ID Card.) Admission Ticket for Examination will be needed for administrative process for the Student ID Card issuance after enrollment. Please keep it securely.
③Examination Fee: JPY30,000 The following applicants are not charged the fee; ➤ Current graduate students of Chiba University ➤ Current Japanese Government (Monbukagakusho/MEXT) Scholarship international students or Double Degree Program international students Contact the department in charge before applying.	Applicants must pay the examination fee by one of the following ways BEFORE APPLYING . (1) Payment period Sun., June 1 — Thu., June 19, 2025 (2) Payment method Please go to “ e-shiharai.net ” Payment on the Web . and make a payment by one of those payment options, through convenience store, Pay-easy, internet banking or credit card. *For details of payment procedure, please refer to: • Website of Graduate School of Science and Engineering • User’s Guide at “e-shiharai.net” Payment on the Web. (https://e-shiharai.net/) If you have any questions; —please refer to FAQ at “e-shiharai.net” Payment on the Web., and then, —contact “e-shiharai.net” Payment on the Web. Support Center.

	<p>*Handling charge must be on payer.</p> <p>(3) Process after payment You need to paste Certificate of Payment on the admission application form A1 or B1 for submission. Please refer to the below for receiving the Certificate of Payment.</p> <table><tr><td><i>Payment method</i></td><td>Payment at a convenience store</td><td>Pay-easy, Internet banking or Credit card</td></tr><tr><td><i>How to receive</i></td><td>Tell a cashier there so.</td><td>Access “View application details” at e-shiharai.net. to print out.</td></tr></table> <p>(4) Once paid, no refunds will be made. It will be, however, fully refunded to the applicants who paid it by mistake, and besides, didn’t apply for the admission, if they finish the prescribed procedure for the refund by Tue., March 31, 2026, 5:00 p.m. Japan time. For more details, please contact the department in charge of Science or Engineering fields (See the Contact & Destination of Admission Application Submission (colored page) of this booklet.).</p> <p>■ “e-shiharai.net” Payment on the Web. (https://e-shiharai.net/) You can pay the Examination Fees for University/Educational Institution by one of those payment options, through convenience store, Pay-easy, internet banking or credit card.</p>  <p>■ For applicants residing outside Japan Payment is possible only by credit card.</p> <table><tr><td><i>Payment method</i></td><td>Credit card</td></tr><tr><td><i>How to receive</i></td><td>Click “Print this page” button and print out “Result” page at e-shiharai.net.</td></tr></table> <p>Please make your payment via the following website. (https://e-shiharai.net/ecard/) Payment is possible only by credit card. After payment, you need to submit us the printed Result page with other admission application materials.</p> 	<i>Payment method</i>	Payment at a convenience store	Pay-easy, Internet banking or Credit card	<i>How to receive</i>	Tell a cashier there so.	Access “View application details” at e-shiharai.net. to print out.	<i>Payment method</i>	Credit card	<i>How to receive</i>	Click “Print this page” button and print out “Result” page at e-shiharai.net.
<i>Payment method</i>	Payment at a convenience store	Pay-easy, Internet banking or Credit card									
<i>How to receive</i>	Tell a cashier there so.	Access “View application details” at e-shiharai.net. to print out.									
<i>Payment method</i>	Credit card										
<i>How to receive</i>	Click “Print this page” button and print out “Result” page at e-shiharai.net.										
④ Official Transcripts	Both of those below should be provided; 1. An official transcript of the master’s program and 2. An official transcript of undergraduate program. (Either English or Japanese version is acceptable for both.)										
⑤ 3 Photographs	Paste 3 identical-frontal photographs from the waist up of yourself, without a hat, taken in the 3 months prior on the applications; one to the prescribed place on Application Form A1 or B1 and the others on Admission Ticket for Examination and Photo ID Card A2 or B2 . (Photo size: 4 cm long x 3 cm wide)										
⑥ Master’s Degree Certificate or Expected Master’s Degree Certificate	An officially certified copy certificate prepared by the president or dean of the graduate school of the last university attended is available. Applicants who submit a prospective Master’s Degree Certificate must submit a Master’s Degree Certificate following completion of their master’s program. (Either English or Japanese version is acceptable.)										

⑦Master's Thesis and Others	<p>●Applicants with a master's degree Both of those below should be provided; 1. A copy set of the master's thesis and 2. An Abstract [C] in 1,000 words or less.</p> <p>●Applicants without a master's degree Those should be provided as below. 1. A Report on Research Activities [D] in 1,000 words or less 2. A List of Research Achievement [E]. If they have any research publications or other such documents to their credit, it should be also attached.</p>
⑧Research Proposal	Applicants should submit their research proposal on the form prescribed by this school [F] .
⑨ Prescribed Return Envelope for Admission Ticket for Examination to Applicant	<p>1. Postage stamp ●Applicants residing in Japan Paste a 110-yen postage stamp on a return envelope enclosed in this pamphlet. ※If the rate increase is implemented, please affix stamps for the revised rate.</p> <p>●Applicants residing outside Japan No postage stamp is required. It will arrive by EMS.</p> <p>2. Full name and address Write those on the return envelope is to be sent, and then submit the envelope along with the application documents.</p>
⑩Address Stickers	<p>Fill in all stickers with full name, zip code and address. ●Applicants of October admission One will be used for receiving in early Sept. 2025 and the others are extra.</p> <p>●Applicants of April admission One will be used for receiving in early Sept. 2025. Another will be around by mid-Feb. 2026 and the other is extra.</p>
⑪Miscellaneous	For applicants who wish to remain employed in Japan while participating in the Doctoral Program, it is desirable that they submit an Admission form of examination [G] from the head of their unit at work.
⑫Curriculum Vitae (For international applicants available)	Use the form prescribed by this school [H] .
⑬Certificate of Residence (<i>Juminhyo-no-Utsushi</i>) (For international applicants available)	<p>●Applicants residing in Japan This document must be obtained at the city, ward, town or village office in which the applicant resides. Photocopy is not accepted. This must include information as below. 1. Visa status (<i>Zairyu-shikaku</i> or <i>Zairyu-kubun</i>) 2. Authorized period of stay (<i>Zairyu-kan</i>) in Japan 3. Nationality However, we are not allowed to accept the one written the code of the Social Security and Tax Number System (called "My Number" System).</p> <p>●Applicants residing outside Japan Please submit a photocopy of the applicant's passport that indicates name, date of birth, sex, and if applicable, a copy of Japanese visa page.</p>

⑭ Enrollment Certificate (For international applicants in Double Degree Program: DDP available)	An official certificate prepared by the president or dean of the home university that you are currently enrolled at. (overseas sister university of the DDP agreement)
---	--

(5) Points of Concern Regarding Application Submission

- ① Incomplete applications may not be accepted.
- ② **All official and original copies are required unless otherwise specified.** Photocopies, faxes and unofficial printouts CANNOT be accepted. **Submitted documents for application will not be returned under any circumstances.** In case you wish to submit an original copy which cannot be reissued, be sure to consult the department in charge (See the Contact & Destination of Admission Application Submission (colored page) of this booklet.) in advance.
- ③ An Abstract of the Family Register (Certification of Individual Registration called *Koseki-shohon*) may be required when the current name written on the applications differs from the name written on other application materials for marriage or others. (A photocopy is acceptable in this case.)
- ④ A word processing software may be used to fill in the forms **[C]** to **[H]** prescribed by this school, that are to be submitted. (You can also make a handwritten entry to submit the prescribed forms above.)
- ⑤ Changing the contents of submitted documents will not be allowed once the application procedures are completed. However, if you change your address after the application, please provide written notification to that effect (the form to be used is optional).
- ⑥ Entrance permission may be revoked at any time, even after enrollment, if the application documents are found to be invalid or containing any false information.
- ⑦ In addition to being used for selecting applicants, personal information collected in the applicant selection process may be used for such purposes as managerial and administrative activities, academic guidance activities, and activities related to research and study on applicant selection methods
- ⑧ If anything in the application process is unclear, please contact us at the department in charge (See the Contact & Destination of Admission Application Submission (colored page) of this booklet.).

4. Request for Judging Qualification for Admission Application

Applicants who would meet the Qualifications for Admission Application (6), (7) or (8) need another procedure in advance as follows. Documents listed below are required to submit so that applicants are judged whether they are qualified to take the entrance examination by this graduate school.

The applicable applicants should contact the department in charge (See the Contact & Destination of Admission Application Submission (colored page) of this booklet.) before applying.

(1) Filling of Documents

If they wish, they may download and use the documents of **[I]** **[E]** **[J]** and **[H]** from the website of the Graduate School of Science and Engineering. (https://www.se.chiba-u.jp/admission/latter/2nd_dr.html)

<i>Required Materials</i>	<i>Notes</i>
Request for Judging Qualification for Admission Application for Doctoral Program	Use the form prescribed by this school [I] .
List of Research Achievements	Use the form prescribed by this school [E] .
Official Transcripts	An official transcript prepared by the president at the last university you attended is available.
Certificate of Graduation	An officially certified copy certificate prepared by the president at the last university you attended is available.

Letter of Recommendation	Use the form J prescribed by this school. If the applicant is employed, a letter from an individual who is in a supervisory position at the workplace and knows the applicant well may be used. Otherwise, a letter of self-recommendation is acceptable.
Address Stickers	<p>Fill in all stickers with full name, zip code and address.</p> <p>● Applicants of October admission One may be used for receiving in June 2025. Another may be in Sept. 2025 and the other is extra. (Promptly notify us if the address is changed.)</p> <p>● Applicants of April admission One may be used for receiving in June 2025. Another will be in Sept. 2025 and the other may be around by mid-Feb. 2026. (Promptly notify us if the address is changed.)</p>
Others	Treatises which are useful for the examination are accepted.
Curriculum Vitae (For international applicants available)	Use the form prescribed by this school H .
Certificate of Residence (<i>Juminhyo-no-Utsushi</i>) (For international applicants available)	<p>● Applicants residing in Japan This document must be obtained at the city, ward, town or village office in which the applicant resides. Photocopy is not accepted. This must include information as below.</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Visa status (<i>Zairyu-shikaku</i> or <i>Zairyu-kubun</i>) 2. Authorized period of stay (<i>Zairyu-kan</i>) in Japan 3. Nationality <p>However, we are not allowed to accept the one written the code of the Social Security and Tax Number System (called “My Number” System).</p> <p>● Applicants residing outside Japan Please submit a photocopy of the applicant’s passport that indicates name, date of birth, sex, and if applicable, a copy of Japanese visa page.</p>
Enrollment Certificate (For international applicants in Double Degree Program: DDP available)	An official certificate prepared by the president or dean of the home university that you are currently enrolled at. (overseas sister university of the DDP agreement)

(2) Submission Period

Wed., May 7 – Fri., May 9, 2025 (without fail)

(3) Submission Method

- ① If mailing your application, please send it to the department in charge (See the Contact & Destination of Admission Application Submission (colored page) of this booklet.) by a simple registered mail, writing “Request for Judging Qualification for Admission Application, Doctoral Program” in red on the envelope. If applying from outside Japan, send them by EMS. Mailed application materials must reach by the same deadline as above at 5:00 p.m. Incomplete documents may not be accepted. When application is to be made directly from abroad, applicants are strongly advised to contact the department in charge (See the Contact & Destination of Admission Application Submission (colored page) of this booklet.) before application submission.
- ② If submitting in person, please submit it to the department in charge of Science or Engineering fields (See the Contact & Destination of Admission Application Submission (colored page) of this booklet.).
Time: 9:00 a.m.-5:00 p.m.

(4) Notification of Results

Applicants will be notified of the decision whether to recognize their qualification by mail.

(5) Admission Application Procedures

The applicants who are approved that they are qualified to take the entrance examination by this graduate school, still need to submit the rest of the admission application documents during the admission application period, though the documents already submitted in this recognition process are not necessary to be resubmitted for that.

(6) Entrants Selection Process

The admission's selection of the applicants approved in this recognition process, is conducted in the same manner as general applicants.

5. Advance Consultation for Applicants with Physical or Other Disabilities

If applicants with physical or other disabilities need their condition to be taken into consideration for taking the entrance examination or for taking courses and study after enrollment, please apply for advance consultation to the department in charge (See the Contact & Destination of Admission Application Submission (colored page) of this booklet.) before the admission application.

(1) What to Submit

① Application form for advance consultation;

which is obtainable from the department in charge (See the Contact & Destination of Admission Application Submission (colored page) of this booklet.).

② Medical certificate issued by a medical doctor;

explaining, the type and degree of their disabilities, and also any specific treatment that they need.

(2) When to Submit

Fri., May 9, 2025, 5:00 p.m.

(3) Where to Submit

You should submit to the department in charge of Science or Engineering Fields. (See the Contact & Destination of Admission Application Submission (colored page) of this booklet.)

(4) Consideration for Advance Consultation

We, the staffs at this university will consider based on the documents submitted above. We might contact the applicants, their parents or guardians, or the last university attended regarding the application.

6. Entrants Selection Process

(1) Selection Method

Applicants will be selected based on an examination and the transcripts.

(2) Examination

Oral interview: The applicants are required the PowerPoint presentation and others, about the master's thesis, the research proposal **[F]** and others, and besides are given an oral interview on them.

Be sure to discuss in detail with the prospective supervisor.

(3) Examination Date and Time (**Please note that the date differs between Science and Engineering fields.**)

Science Fields

Tue., August 5, 2025, 10:00 a.m.

Engineering Fields

Wed., August 6, 2025, 10:00 a.m.

Note: There is an advance examination system for those who cannot take the examination in person on the above exam date for some reason. Please directly contact the prospective supervisor for more information or questions before applying.

(4) Examination Location

It will be held at Nishi-Chiba Campus, Chiba University. The detailed information will be posted on the bulletin board. (See Section 7-(1).)

7. Precautions

- (1) Necessary information about the examination and assignment of examination rooms will be posted on each bulletin board as below. (See the back cover map of this booklet.)

<i>Fields of</i>	<i>Science</i>	<i>Engineering</i>
<i>Date and Time</i>	Mon., Aug. 4, 2025, 10:00 a.m.	Tue., Aug. 5, 2025, 10:00 a.m.
<i>Location</i>	Faculty of Science Bldg. #1	Faculty of Engineering Bldg.

- (2) Please be sure to bring and have your Admission Ticket for Examination with you during examination period.
- (3) On the entrance examination day, there happen to be some traders concerned with soliciting for notice of the exam results by telegram or the sales of goods at the nearby station or campus around. Those acts bear no relation to Chiba University. You must be careful not to be in trouble by being charged unreasonably for them. Chiba University will take no responsibility for it even if such an accident happens.

8. Announcement of Examination Results

Successful applicants' application codes will be posted on the Graduate School website as below.

<i>Graduate School Website</i>	<i>Viewing Period</i>
https://www.se.chiba-u.jp/en/admission/result.html	Wed., Sept. 3, 2:00 p.m. (scheduled) – Tue., Sept. 9, 2025, 5:00 p.m.

Successful applicants will receive a Notification of Acceptance (*Gokaku Tsuchi-sho*) and related documents which should be sent to the address written on the Address Stickers (See Section 3, (4)-(10)) by a EMS, Letter Pack, Registered Mail, etc right after the announcement of examination results.

However, any questions concerning results by telephone or email are not available.

9. Entrance Procedures

- (1) Period

<i>Admission Type</i>	<i>Period of Online Entrance Procedures</i>	<i>Delivery of Entrance Procedures Guidebook</i>
October 2025 Admission	Fri., Sep. 5, 3:00 p.m. to Fri., Sep. 12, 2025, 3:00 p.m. (Japan time)	It will be sent to the successful applicants by mail (EMS, Letter Pack, Registered Mail, etc.) with the Notification of Acceptance.
April 2026 Admission	Wed., Mar. 11, 3:00 p.m. to Wed., Mar. 18, 2026, 3:00 p.m. (Japan time)	It will be sent to the successful applicants by mail (EMS, Letter Pack, Registered Mail, etc.) around by mid-February 2026.

The Online Entrance Procedure System is introduced to Chiba University (CU) to improve usefulness for the successful applicants.

You can complete the entrance procedures through the System and besides, can pay the admission fee by credit card (available for domestic and overseas applicants), at the convenience store (for domestic only) or others.

The successful applicants who have not been completed the entrance procedures within the prescribed entrance procedures period mentioned above, will be regarded as enrollment declining.

(2) Expenses

■ Admission Fee: JPY282,000 (Once at matriculation. Current Chiba University graduate students do not need to pay the admission fee.)

■ Tuition Fee: JPY321,480 half year (annual total tuition: JPY642,960)

Note: 1. Those international students of Japanese Government (Monbukagakusho/MEXT) Scholarship and Double Degree Program are not charged the admission fee nor tuition fees.

2. The admission fee once paid will not be refunded under any circumstances.

3. Applicants of April 2026 Admission should pay the tuition for Spring semester (from April to September) in May, and those of October 2025 Admission should pay it for Fall semester (from October to March) in November, by direct debit. But from the following semester, it should be paid in April for every Spring semester, and in October for every Fall semester, by direct debit. The detailed information on the direct debit will be informed with the Entrance Procedures Guidebook .

4. If the admission fee, the tuition or others be revised, the new amount will be applied as of the time of the revision.

5. There is a system by which the enrollment fee and tuition may be waived.

For details, please refer to the webpage of Chiba University below:

<https://www.chiba-u.ac.jp/students/payment/exemption.html>

Or please inquire at the Student Support Division in the Department of Student Affairs.

Phone: (043) 290-2178



■ Insurance for Injuries from Accidents (called “*Gakkensai*”) and

Comprehensive Insurance for Students Lives Coupled with “*Gakkensai*” (called “*Futai*”)

[Students except international students]

All the students except the below international students are required to get below insurance.

JPY3,620 (for 3 years including “*Gakkensai*” and “*Futai*”)

[International students]

All the international students with a visa status of “Student” are required to get both insurances of i and ii as below.

i) Insurance for Injuries from Accidents (“*Gakkensai*”)

JPY2,600 (for 3 years), and besides,

ii) Comprehensive Insurance for Students Lives Coupled with “*Gakkensai*” (“*Futai*”)

JPY4,680 for Type A (for 3 years), or

JPY28,780 for Type B (for 3 years)

The new insurance premiums will go into effect as of the time of the revision if the insurance premiums have been revised.

Further details will be informed with the Entrance Procedures Guidebook.

https://www.chiba-u.ac.jp/for_school-life/supoort.html

10. Completion Conditions

The standard residence period in the doctoral program at the Graduate School of Science and Engineering is three years. It is the necessary conditions to complete the doctoral program that you must be registered for three years or more, and also take fourteen credits or more which are provided by this graduate school, and besides, pass

successfully both the dissertation evaluation and the final examination. In addition to these requirements, studying abroad or gaining international experience with the same educational effect as studying abroad while you are at graduate school is also compulsory in principle.

11. Early Completion

A student may complete the doctoral program in more than a year and less than three years if the graduate school accept that the student has achieved exceptional research results or the student, through his/her employment, etc., already possesses research achievements that are at least the equivalent of those required to complete the program in three years.

12. Special Exception of Educational Method

In the doctoral program at the Graduate School of Science and Engineering, students may, if it is deemed especially necessary for their education, take lectures and conduct research at night or at other appropriate times.

Applicants wishing such an arrangement should consult in advance with a supervisor in their educational field and then expressly state those wishes in their application for admission.

13. System of Completion of Curricula in Longer Term

For individuals who, because they are employed, etc., will be restricted in the number of units they can obtain, and in the time that they can devote to receiving research guidance, over the course of a year or a semester, and who therefore believe that they cannot complete this program unless they remain in it for longer than the standard number of years required to complete it (three years), there is a system whereby they can obtain a degree if they apply for an extension, are judged by the university to merit it, and then methodically complete the program over a period of up to six years.

As for the tuition of individuals thus recognized as long-term students, the total amount of tuition for the three years (six semesters) usually required to complete the program will be divided by the number of years that the student will remain in the program and then paid in yearly installments.

Applicants wishing to avail themselves of this system should consult in advance with a supervisor in their educational field and then expressly state those wishes in their application for admission.

Based on “the Foreign Exchange and Foreign Trade Act”, Chiba University established “the Security Export Control Regulations of National University Corporation Chiba University” and is conducting rigid examinations before accepting students.

Desired research activities may be restricted when they are applicable to the regulations.

2026年4月入学第2回・2026年10月入学第1回学生募集要項

大学院融合理工学府博士後期課程では、2026年4月入学及び2026年10月入学の学生を以下のとおり募集します。「募集人員」には、千葉大学大学院博士前期課程（修士課程）からの進学者も含まれます。また、出願に際しては、あらかじめ志望する指導教員に教育研究内容等について確認の上、出願してください。

本募集要項は、募集人員、出願資格及び入学手続き日等以外は、入学時期に関わらず共通の内容となっています。また、理学系、工学系の記載がないものについては、両分野どちらのコースにも共通の内容となっています。

本学大学院及び本学府の入学者受入れ方針は、それぞれホームページをご覧ください。

（本学大学院：<https://www.chiba-u.ac.jp/admissions/daigakuin/adpolicy.html>）

（本学府：<https://www.se.chiba-u.jp/admission/index.html>）

1 この募集要項で出願できる専攻・コース及び募集人員

専攻名	コース名	系	募集人員	
			2026年 4月入学 第2回	2026年 10月入学 第1回
数学情報科学	数学・情報数理学	理学	若干名	若干名
地球環境科学	地球科学	理学	若干名	若干名
	リモートセンシング	工学	若干名	若干名
	都市環境システム	工学	若干名	若干名
先進理化学	物理学	理学	若干名	若干名
	物質科学	工学	若干名	若干名
	化学	理学	若干名	若干名
	共生応用化学	工学	若干名	若干名
	生物学	理学	若干名	若干名
	量子生命科学	理学	若干名	若干名
創成工学	建築学	工学	若干名	若干名
	デザイン	工学	若干名	若干名
基幹工学	機械工学	工学	若干名	若干名
	医工学	工学	若干名	若干名
	電気電子工学	工学	若干名	若干名

※ダブル・ディグリー・プログラムにより入学を希望する外国人留学生は、この選抜に出願してください。

2 出願資格

次のいずれかに該当する者

注意：以下の（１）～（８）の中の※が付いた年月（2026年3月※）は2026年4月入学の場合です。

2026年10月入学は2026年9月に読み替えてください。

- （１）修士の学位又は専門職学位を有する者及び2026年3月※に修士の学位又は専門職学位を取得見込みの者
- （２）外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び2026年3月※までに授与される見込みの者
- （３）外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び2026年3月※までに授与される見込みの者
- （４）我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び2026年3月※までに授与される見込みの者
- （５）国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法（昭和51年法律第72号）第1条第2項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び2026年3月※までに授与される見込みの者
- （６）外国の学校、上記出願資格（４）の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者及び2026年3月※までに認められる見込みの者で、本学府において修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
- （７）文部科学大臣の指定した者（平成元年9月1日文部省告示第118号）
 - ① 大学を卒業した後、大学、研究所等において、2年以上の研究に従事した者で、本学府において、当該研究の成果等により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
 - ② 外国において学校教育における16年の課程を修了し、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上の研究に従事した者で、本学府において、当該研究の成果等により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
- （８）本学府において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、24歳に達したものと及び2026年3月※までに24歳に達するもの

出願資格（６），（７），（８）による志願者は、事前に出願資格の認定審査が必要となりますので、32ページ「4 出願資格の認定手続について」を参照してください。

3 出願手続等

(1) 受付期間 **2025年12月9日（火）から12月10日（水）まで（必着）**

(2) 受付時間 9時から17時まで

(3) 受付場所 理学系コース：理学系学務係（理学部1号館2階）

工学系コース：工学系大学院学務係（工学部11号棟1階）

次の（4）の出願書類を取り揃えて、直接持参してください。（裏表紙地図を参照のこと。）

なお、やむを得ず郵送する場合は、（1）の出願受付期間までに必着するように、志望するコースの担当係宛（目次頁の「問合せ先」を参照のこと。）にレターパックプラスまたは簡易書留速達で郵送してください。（出願用封筒に貼るラベルを融合理工学府ホームページに掲載しています。印刷して封筒に貼付してください。）日本国外から出願する場合は、EMSで送付してください。

また、書類に不備がある場合は受理できないことがあります。日本国外から直接出願する場合は、あらかじめ志望するコースの担当係（目次頁の「問合せ先」を参照のこと。）へ連絡してください。

(4) 出願書類

①入学願書、②受験票・写真票のみ、2026年4月入学者用 **A1** **A2** 及び2026年10月入学者用 **B1** **B2** に分かれています。ほかの提出書類は2026年4月入学と2026年10月入学共に全て共通です。

記入に際しては、黒のボールペンを用いて自筆、楷書でていねいに記入してください。（消せるボールペンなど改ざん可能なものは使用しないでください。）誤って記入した場合は、二重線で消し、余白に記入してください。



本学所定の様式 **C** ～ **H** は、本学府のホームページからダウンロードして使用してください。

(https://www.se.chiba-u.jp/admission/latter/2nd_dr.html)

ただし **A1** **A2** 及び **B1** **B2** は、この募集要項にとじ込みのものを必ず使用してください。

（外国人志願者は、指定がない限り以下の出願書類を英語で作成しても差し支えありません。）

出 願 書 類	注 意 事 項 等
①入学願書	本学所定の様式 A1 または B1 に記入してください。
②受験票・写真票	本学所定の様式 A2 または B2 に記入してください。 （受験票と写真票は切り離さないでください。） 受験票は、入学後の学生証交付時にも使用しますので、それまで大切に保管しておいてください。
③検定料 30,000円 ※千葉大学大学院在籍者は、検定料は不要です。 ※現在国費外国人留学生及びダブル・ディグリー・プログラムによる外国人留学生の場合は、検定料は不要です。事前にお問合せ願います。	下記により、 必ず出願前に 、検定料を払い込んでください。 (1) 検定料払込期間： 2025年12月1日（月）から12月10日（水）まで (2) 払込方法： 「E-支払いサービス」 を利用し、コンビニエンスストア、ペイジー、ネットバンキング、クレジットカードのいずれかにより払い込んでください。 ※払込手順等は、大学院融合理工学府ホームページやE-支払いサービスWebサイトの「利用ガイド」を参照してください。ご不明な点は、同サイトの「よくある質問」を確認の上、E-支払いサービスサポートセンターに問合せてください。 ※事務手数料は各自で負担してください。

出 願 書 類	注 意 事 項 等
	<p>(3) 払込後の手続： 収納証明書を入学願書 A1 または B1 に貼付し提出してください。収納証明書の取得方法については次のとおりです。 ・ コンビニエンスストア決済の場合→店舗で受け取ってください。 ・ ペイジー、ネットバンキング、クレジットカード決済の場合 →E-支払いサービス Web サイトの「申込内容照会」から印刷してください。</p> <p>(4) 一旦納入された検定料は、原則返還しません。ただし、検定料を誤って振込み、出願しなかった者が、所定の返還手続を行った場合は返還します。返還手続の詳細は、志望するコースの担当係（目次頁の「問合せ先」を参照のこと。）に確認してください。なお、返還手続期限は 2026 年 3 月 31 日（火）となります。</p> <p>■ E-支払いサービス (https://e-shiharai.net/) インターネット上から、コンビニエンスストア、ペイジー、ネットバンキング、クレジットカードから希望の払込方法を選択の上、検定料の払込等ができるサービスです。 ※当サイトへの事前申込が必要です。</p> <p>■ 海外から志願される方へ 日本国外在住の志願者についてはクレジットカードのみ利用できます。 クレジットカードでの払込後、E-支払いサービス Web サイトの「申込内容照会」から収納証明書を印刷し、入学願書 A1 または B1 に貼付してください。</p> <p>※英語版サイト (https://e-shiharai.net/ecard/) 外国人留学生向けの英語版サイトです。こちらはクレジットカード決済のみの案内となります。決済後、印刷した「Result Page」を出願書類と併せて提出してください。</p>  
④成績証明書 各 1 通	1. 大学院 修士 課程（博士前期課程）の成績証明書 2. 大学 学部 の成績証明書 （いずれも和文か英文に限る。）
⑤写真 3 枚	出願前 3 か月以内に撮影した上半身・正面向き・脱帽の同じ写真（縦 4 cm × 横 3 cm）を入学願書 A1 又は B1 ，受験票・写真票 A2 又は B2 の写真欄に貼り付けてください。
⑥修士課程修了証明書 又は修了見込証明書	最終出身学校の長又は研究科長が作成したもの。 「修了見込証明書」を提出する者は、入学手続きの際、「修了証明書」を提出してください。（和文か英文に限る。）
⑦修士の学位論文等	<p>●修士の学位を有する者</p> 1. 学位論文のコピー 2. 学位論文の要旨（本学所定の様式 C により 2,000 字以内） <p>●修士の学位を有しない者</p> 1. 研究経過報告書（本学所定の様式 D により 2,000 字以内） 2. 研究業績調書（本学所定の様式 E ）は、研究経過報告書以外に研究発表等の業績、資料があれば提出してください。
⑧研究計画書	本学所定の様式 F に記入してください。

出 願 書 類	注 意 事 項 等
⑨返信用封筒 (受験票等送付用)	<p>●日本国内居住の志願者 本募集要項に添付してある返信用封筒を提出してください。封筒には志願者の郵便番号、住所及び氏名を明記し、郵便切手110円分*を貼付してください。※値上げが実施された場合には改定後の料金分の切手を貼付してください。</p> <p>●海外在住の志願者 封筒には志願者の郵便番号、住所及び氏名を明記してください。海外から出願する場合は、郵便切手は不要です。EMSで送付します。</p>
⑩住所シール	すべてに記入してください。
⑪その他	在職のまま在学しようとする志願者は、所属長の受験許可書（本学所定の様式 G ）による）を提出することが望まれます。
⑫履歴書 (外国人志願者のみ)	本学所定の様式 H に記入してください。
⑬住民票の写し (外国人志願者のみ)	<p>●日本国内居住の志願者 市区町村発行のもの（在留資格又は在留区分、在留期間、国籍・地域が記載されたもの、かつ個人番号（マイナンバー）が記載されていないもの）。コピーは不可です。</p> <p>●海外在住の志願者 パスポートのコピーを提出してください。パスポートのコピーは、本人の氏名、生年月日、性別を表示する部分及び日本国査証があればその部分とします。</p>
⑭在学証明書 (ダブル・ディグリー・プログラムの志願者のみ)	現在の在籍大学（ダブル・ディグリー・プログラム協定締結大学）が作成したもの。

(5) 出願の際の留意事項等

- ① 出願書類に不備がある場合は、受理しません。
- ② 証明書類は、指定がない限り全て原本が基本です。コピー、ファックスや公式でない印刷物は受理できません。また、一度受理した出願書類は、いかなる理由があっても返却しません。再発行されない原本を提出する場合、出願前に必ず志望するコースの担当係に（目次頁の「問合せ先」を参照のこと。）相談してください。
- ③ 婚姻等により証明書と入学願書等の氏名が異なる場合は、戸籍抄本（コピー可）を添付してください。
- ④ 出願書類 **C** ～ **H** を記入の際、ワープロソフト等を使用して記入してください。（所定の様式に手書きで記入しても構いません。）
- ⑤ 出願後の出願内容の変更は認めません。ただし、出願後の住所変更については書面（書式は自由）により届け出てください。
- ⑥ 入学願書等に虚偽の記載をした者は、入学後であっても入学の許可を取り消すことがあります。
- ⑦ 本選抜の過程で収集した個人情報は入学者選抜の実施のほか、管理運営業務、修学指導業務、入学者選抜方法等における調査・研究に関する業務等を行うために利用します。
- ⑧ その他不明な点があるときは、志望するコースの担当係（目次頁の「問合せ先」を参照のこと。）へ問合せってください。

4 出願資格の認定手続について

出願資格（６），（７），（８）による志願者は、次の手続を行ってください。

本学府が審査の上、決定します。

志願者は、提出前にあらかじめ志望するコースの担当係（目次頁の「問合せ先」を参照のこと。）へ問合せしてください。

（１）提出書類

本学所定の様式 **I** **E** **J** **H** は、本学府のホームページからダウンロードして使用してください。
(https://www.se.chiba-u.jp/admission/latter/2nd_dr.html)

提出書類	注意事項等
入学試験出願資格認定申請書	本学所定の様式 I に記入してください。
研究業績調書	本学所定の様式 E に記入してください。
成績証明書	最終出身学校の長が作成したもの。
卒業証明書	最終出身学校の長が作成したもの。
推薦書	本学所定の様式 J に記入してください。 有職者の場合、本人を熟知し、職場において指導的立場にある者が作成したものであってもよい。 その他の場合は、自己推薦書でもよい。その場合の様式は任意とします。
住所シール	すべてに記入してください。
その他	審査の参考となるもの。（学術論文及びそれに相当するもの）
履歴書 （外国人志願者のみ）	本学所定の様式 H に記入してください。
住民票の写し （外国人志願者のみ）	<p>●日本国内居住の志願者 市区町村発行のもの（在留資格又は在留区分、在留期間、国籍・地域が記載されたもの、かつ個人番号（マイナンバー）が記載されていないもの）。コピーは不可です。</p> <p>●海外在住の志願者 パスポートのコピーを提出してください。パスポートのコピーは、本人の氏名、生年月日、性別を表示する部分及び日本国査証があればその部分とします。</p>
在学証明書 （ダブル・ディグリー・プログラムの志願者のみ）	現在の在籍大学（ダブル・ディグリー・プログラム協定締結大学）が作成したもの。

（２）提出期間

2025年11月6日（木）から11月7日（金）まで（必着）

（３）提出方法

- ① 提出書類を郵送する場合は、海外から出願する場合はEMSで、日本国内から郵送する場合は封筒の表に「博士後期課程 出願資格認定申請在中」と朱書きの上、志望するコースの担当係（目次頁の「問合せ先」を参照のこと。）宛に簡易書留郵便で送付してください。EMS又は郵送

で出願する場合も2025年11月7日（金）17時までに必着とします。なお、書類に不備がある場合は受理できないことがあります。日本国外から直接出願する場合は、あらかじめ志望コースの担当係（目次頁の「問合せ先」を参照のこと。）へ連絡の上、提出してください。

- ② 窓口を持参する場合は、9時から17時までに志望コースの担当係（目次頁の「問合せ先」を参照のこと。）へ持参してください。

（4）結果通知

審査の結果は、本人宛通知します。

（5）出願手続

出願資格を有すると認められた場合、願書受付期間に出願してください。その際、出願資格認定申請時に提出した書類については、改めて提出する必要はありません。

（6）入学者選抜

出願資格を有すると認められた志願者の選抜は、すべて一般志願者と同様に行います。

5 身体等に障害のある入学志願者の事前相談

身体等に障害があり、受験上（及び修学上）特別な配慮を必要とする場合は、出願に先立ち、次により志望するコースの担当係（目次頁の「問合せ先」を参照のこと。）へ事前相談の申請を行ってください。

（1）提出書類

- ① 事前相談申請書（用紙は、志望するコースの担当係（目次頁の「問合せ先」を参照のこと。）に請求してください。）
② 医師の診断書（障害の程度及び必要とする具体的な措置等を記載したもの）

（2）事前相談の締切日

2025年11月7日（金）17時まで

（3）書類提出先

志望コースの担当係（目次頁の「問合せ先」を参照のこと。）に提出してください。

（4）相談内容の検討

提出された書類に基づき、本学関係者で検討を行います。ただし、検討の過程において、本人、保護者又は出身大学関係者へ照会する場合があります。

6 入学者選抜

（1）選抜方法

入学者の選抜は学力検査及び成績証明書を総合して行います。

（2）学力検査

口頭試問：修士学位論文及び研究計画書 **[F]** 等について、パワーポイント等を用いて説明してもらい、それに関する質疑応答を行います。
詳細を必ず、志望する指導教員におたずねください。

（3）学力検査日時

2026年2月2日（月）10時～

※学力検査日当日に来学できない場合には、事前学力検査の制度があります。詳細は、出願前に志望する指導教員へ問合せってください。

(4) 学力検査場

千葉大学西千葉キャンパスで行います。詳細は、注意事項掲示で確認してください。

7 注意事項

- (1) 試験に必要な注意事項、学力検査室の配置等を2026年1月30日(金)10時に理学系コースは理学部1号館掲示板に、工学系コースは工学部掲示板に掲示します。(裏表紙地図を参照のこと。)
- (2) 入学試験期間中は、受験票を必ず持参・携帯してください。
- (3) 検査当日、最寄りの駅から検査場周辺にかけて合否電報等の勧誘や物品の販売等をしていることがあります。これらの行為は本学とは一切関係ありませんので、不当な料金を請求される等のトラブルに巻き込まれないよう充分注意してください。そのような事故が生じて本学は一切責任を負いません。

8 合格者発表

2026年2月20日(金)14時(予定)に融合理工学府ホームページ(<https://www.se.chiba-u.jp/admission/result.html>)に掲載します。(掲載期間:2026年2月20日(金)14時(予定)～2月24日(火)17時)

合格者には合格発表後速やかに合格通知書及び関係書類をEMS、レターパック、簡易書留郵便等で送付します。

なお、結果についての電話やEメールによる問合せには一切お答えできません。

9 入学手続

(1) 入学手続日

入学時期	WEB 入学手続日	入学手続案内の発送
2026 年 4 月 入学	2026 年 3 月 11 日 (水) 15 時 00 分から 3 月 18 日 (水) 15 時 00 分まで (日本時間)	合格通知書とともに EMS またはレターパック、簡易書留郵便等で送付します。
2026 年 10 月 入学	2026 年 9 月 4 日 (金) 15 時 00 分から 9 月 11 日 (金) 15 時 00 分まで (日本時間)	入学手続案内は、9 月上旬までに EMS またはレターパック、簡易書留郵便等で送付します。

千葉大学では合格者の利便性を図るため、「WEB 入学手続システム」を導入しています。システムを利用することで、入学手続のために大学へ来校することが基本的には不要になります。また、入学料については、クレジットカード決済(国内、海外)やコンビニ支払い(国内のみ)等による納入となります。

なお、上記期間内に入学手続を完了しないと、入学を辞退したものと見なしますので、十分注意してください。

(2) 入学時の必要経費等

■ 入学料 282,000円 (千葉大学大学院在籍者は、入学料は不要です。)

■ 授業料 半期321,480円 年額642,960円

(注) 1 国費外国人留学生及びダブル・ディグリー・プログラムによる外国人留学生は、入学料、授業料の納入は不要です。

2 納入した入学料は、いかなる理由があっても返還しません。

3 2026年4月入学者の前期分授業料は5月に、2026年10月入学者の後期分授業料は11月に口座振替により納入していただきます。翌期以降の授業料については、前期分授業料は4月、後期分授業料は10月が口座振替の月となります。口座振替手続についての詳細は入学手続案内時に改めてお知らせします。

4 入学料及び授業料等の改定が行われた場合には、改定時から新入学料及び新授業料等が適用されます。

5 入学料及び授業料が免除される制度があります。詳細は、千葉大学ホームページをご覧ください。

(<https://www.chiba-u.ac.jp/students/payment/exemption.html>)



■ 学生教育研究災害傷害保険料 3,620円（3年分・付帯賠償責任保険を含む）

※外国人留学生は、学生教育研究災害傷害保険料 2,600円（3年分）及び
外国人留学生向け学研災付帯学生生活総合保険（インバウンド付帯学総）

Aタイプ4,680円又はBタイプ28,780円

全員加入（郵便局またはゆうちょ銀行で払込）

保険料の改定が行われた場合には、改定時から新保険料が適用されます。

詳細は千葉大学ホームページをご覧ください。

(https://www.chiba-u.ac.jp/for_school-life/support.html)

10 修了要件

本学府博士後期課程の標準修業年限は3年です。修了要件は3年以上在学し、本学府で定めた単位を14単位以上修得し、博士論文の審査及び最終試験に合格することが条件となります。また、原則として在学中の留学あるいは留学と同等の教育効果のある国際経験も必須です。

11 修了期間短縮について

優れた業績をあげた者、あるいは社会人等で研究業績が3年間で修了するために必要な業績と同等以上と認められる場合には、1年以上3年未満の在学で早期修了することができます。

12 教育方法の特例について

本学府博士後期課程では、教育上特別の必要があると認めるときは、夜間その他の時間または適切な時期に講義を聴講し、研究を行うことができます。

希望者は、あらかじめ志望する指導教員に照会してください。

また、その旨入学願書に記入してください。

13 長期履修学生制度について

職業を有している等の社会人学生で、1年間または1学期間に修得可能な単位数や研究指導を受ける時間が制限されるため、本学府の標準修業年限（博士後期課程は3年間）を超えて在学しなければ課程を修了することができないと考える者に対して、申請に基づき、大学が審査し、最長6年間の修業年限で在学し、計画的に課程を修了することにより学位の取得を認める制度です。

なお、長期履修学生として認められた期間の授業料は、標準修業年限の3年間（6学期）の総額を

在学学期で除した額を分割して支払うことになります。

本制度を希望する者は、あらかじめ志望する指導教員に照会してください。

また、その旨入学願書に記入してください。

14 千葉大学グローバル人材育成“ENGINE”について

千葉大学が2020年度から取り組む「千葉大学グローバル人材育成“ENGINE”」では、“学部・大学院生の全員留学”を目指して、留学プログラムや留学支援体制を強化するとともに、外国人教員の増員等による教育改革や留学中でも科目履修が継続出来る教育環境整備等を行っています。

詳細についてはこちらをご覧ください。<https://www.chiba-u.ac.jp/engine/index.html>

千葉大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「国立大学法人千葉大学安全保障輸出管理規程」を定め、学生の受入れに際し、厳格な審査を実施しています。

規制事項に該当する場合は、希望する研究活動に制限がかかる場合がありますので、ご注意ください。

Chiba University
Graduate School of Science and Engineering
Doctoral Program

Admissions Guidelines and Application Forms
for 2nd Selection of April 2026 Admission and
1st Selection of October 2026 Admission

An applicant may not submit two or more applications to the graduate school at the same time.
Before applying, please contact directly a desired research supervisor in the education and research field that you wish to choose to confirm your choice.

<u>Science Fields</u>	<u>Engineering Fields</u>
<i>Department of</i>	<i>Department of</i>
Mathematics and Informatics	Environmental Remote Sensing
Earth Sciences	Urban Environment Systems
Physics	Materials Science
Chemistry	Applied Chemistry and Biotechnology
Biology	Architecture
Quantum Life Science	Design
	Mechanical Engineering
	Medical Engineering
	Electrical and Electronic Engineering

Contact & Destination of Admission Application Submission

SCIENCE FIELDS

The department of: Mathematics and Informatics
Earth Sciences
Physics
Chemistry
Biology
Quantum Life Science

Department in charge of admissions: Student Affairs Unit for Faculty of Science
Student Affairs Division for Science and Engineering
Nishi-Chiba Area Administration Office
Chiba University

Address: 1-33 Yayoi-cho, Inage-ku, Chiba City, Chiba 263-8522 Japan
TEL: 043-290-2880
Email: rigaku-nyushi@chiba-u.jp
Location: Faculty of Science Bldg. #1, 2nd floor

ENGINEERING FIELDS

The department of: Environmental Remote Sensing
Urban Environment Systems
Materials Science
Applied Chemistry and Biotechnology
Architecture
Design
Mechanical Engineering
Medical Engineering
Electrical and Electronic Engineering

Department in charge of admissions: Graduate Student Affairs Unit
Student Affairs Division for Science and Engineering
Nishi-Chiba Area Administration Office
Chiba University

Address: 1-33 Yayoi-cho, Inage-ku, Chiba City, Chiba 263-8522 Japan
TEL: 043-290-3885
Email: kougaku-daigakuin@office.chiba-u.jp
Location: Faculty of Engineering Bldg. #11, 1st floor

The Graduate School of Science and Engineering invites applications for its Doctoral Program as outlined in the table below. Potential applicants include students from the Chiba University Graduate School's Master's Program who wish to take the next step in their education. Before applying, please contact a desired supervisor in the education and research field that you wish to choose to confirm your choice.

Information of this booklet except Section 1, 2 and 9 is useful all in common for both April and October Admissions. And besides, it is available in common for the departments in both Science and Engineering fields as long as there is no statement of the words called 'the Science or Engineering fields' clearly.

You can view the Admission Policy of the Graduate School of Science and Engineering, and of Chiba University Graduate Schools on the webpages.

(<https://www.chiba-u.ac.jp/admissions/daigakuin/adpolicy.html>)

(<https://www.se.chiba-u.jp/admission/index.html>)

1. Applicable Divisions, Departments and Number of Students to Be Admitted to This Guidelines

Division	Department	Fields*	Number of Students to Be Admitted	
			April 2026 Admission 2nd Selection	October 2026 Admission 1st Selection
Mathematics and Informatics	Mathematics and Informatics	Sci.	A few	A few
Earth and Environmental Sciences	Earth Sciences	Sci.	A few	A few
	Environmental Remote Sensing	Eng.	A few	A few
	Urban Environment Systems	Eng.	A few	A few
Advanced Science and Engineering	Physics	Sci.	A few	A few
	Materials Science	Eng.	A few	A few
	Chemistry	Sci.	A few	A few
	Applied Chemistry and Biotechnology	Eng.	A few	A few
	Biology	Sci.	A few	A few
	Quantum Life Science	Sci.	A few	A few
Creative Engineering	Architecture	Eng.	A few	A few
	Design	Eng.	A few	A few
Fundamental Engineering	Mechanical Engineering	Eng.	A few	A few
	Medical Engineering	Eng.	A few	A few
	Electrical and Electronic Engineering	Eng.	A few	A few

*Sci.: Science fields, Eng.: Engineering field

Note: International applicants in Double Degree Program must submit application materials to this selection.

2. Qualifications for Admission Application

Applicants must meet one of the following qualifications.

The asterisked deadline of March 2026 in the following (1)-(8) concerns applicants who will enter the graduate school in April 2026. For applicants proposing to enter from October 2026, the deadline is September 2026.

- (1) The applicant has a master's degree or professional degree, or expects to obtain one by March 2026*.
- (2) In a foreign country, the applicant has been granted, or expects to be granted by March 2026*, a degree corresponding to a master's degree or a professional degree.
- (3) The applicant, by reviewing, in Japan, the subjects in the correspondence education conducted by a foreign school, has been granted, or expects to be granted by March 2026*, a degree corresponding to a master's degree or a professional degree.
- (4) The applicant has completed a foreign graduate school's course, conducted at an educational institution in Japan that is an accredited part of the educational system of the related foreign country and also recognized by Japan's Minister of Education, Culture, Sports Science and Technology, and has consequently been granted a degree corresponding to a master's degree or a professional degree or expects to receive such a degree by March 2026*.
- (5) The applicant has been granted, or expects to be granted by March 2026*, a degree corresponding to a master's degree, through course completion at the United Nations University as prescribed in Article 1-(2) of the Act on special Measures Incidental to Enforcement of the Agreement between the United Nations and Japan regarding the Headquarters of the United Nations University (Act No. 72 of 1976), which was established under the December 11, 1972 resolution of the General Assembly of the United Nations.
- (6) The applicant has completed a course study at a school outside of Japan, in an educational institution as designated above in (4) of the required qualifications, or in the United Nations University, has passed the examination and screening equivalent to those prescribed in Article 16-2 of the Standards for Establishment of Graduate Schools, and has been recognized as having academic abilities at least equivalent to that of a Master's degree holder, or is expected to be recognized by March 2026*, and has been recognized by this school as having academic abilities at least equivalent to that of a Master's degree holder.
- (7) The applicant meets either of the following qualifications designated in Ministry of Education Bulletin No. 118 of September 1, 1989.
 - ① After graduating from college, the applicant engaged in at least two years of research at a university, research center, etc. and, based on the resulting research achievements, etc., has been recognized, by the graduate school in question, as having scholarly attainments that are at least the equivalent of those of individuals who have a master's degree or a professional degree.
 - ② After completing a 16-year course of study in the educational institutions of a foreign country, or after reviewing, in Japan, the subjects in the correspondence education conducted by a foreign school and thereby completing a 16-year course of study in the educational institutions of the related foreign country, the applicant engaged in at least two years of research at a university, research center, etc., and, based on the resulting research achievements, etc., has been recognized, by the graduate school in question, as having scholarly attainments that are at least the equivalent of those of individuals who have a master's degree or a professional degree.
- (8) Based on an examination, conducted by this school, of the applicant's qualifications to enter this school, the applicant has been judged to have scholastic attainments that are at least the equivalent of those of individuals with a master's degree or a professional degree, and is also 24 years of age or will turn 24 by March 2026*.

Applicants who would meet the Qualifications (6), (7) or (8) above need another process in advance. Please view "4. Request for Judging Qualification for Admission Application" (p.44).

3. Application Procedures

(1) Period: **Tue., December 9—Wed., December 10, 2025 (without fail)**

(2) Time: 9:00 a.m.—5:00 p.m.

(3) Venue:

<i>Science Fields</i>	<i>Engineering Fields</i>
Student Affairs Unit for Faculty of Science Faculty of Science Bldg. #1, 2 nd floor	Graduate Student Affairs Unit Faculty of Engineering Bldg. #11, 1 st floor

Please prepare and submit application materials of Section (4) below in person. (See the back cover map of this booklet.)

If mailing your application of necessity, please send it to the department in charge of Science or Engineering fields (See the Contact & Destination of Admission Application Submission (colored page) of this booklet.) by a Letter Pack Plus or a simple registered express mail. (Address labels that are posted on the graduate school website are available to print out and paste on the envelope.) Mailed application materials must reach us by the same deadline as above. If applying from outside Japan, send them by EMS.

Incomplete documents may not be accepted. When application is to be made directly from abroad, applicants are strongly advised to contact the department in charge before application submission.

(4) Application Materials



Regarding ①Application Form, and ②Admission Ticket for Examination and Photo ID Card, there is each different sheet of Form **A1** **A2** for April 2026 Admission, and **B1** **B2** for October 2026 Admission. You should use the correct forms depending on your desired application. Other documents are all in common.

You must fill in clearly in block letters with a black ballpoint pen in case of making a handwritten entry. **(Erasable ballpoint pen which is capable of altering something cannot be used.)** When you make a mistake in writing, you should erase with double lines and write down in the blank space.

You may download the documents of **C** to **H** from the website of the Graduate School of Science and Engineering. **A1** **A2** and **B1** **B2** should NOT be downloaded.

International applicants may prepare the documents for the application in English unless otherwise specified.

<i>Required Materials</i>	<i>Notes</i>
①Application Form	Fill in the prescribed form A1 or B1 .
②Admission Ticket for Examination and Photo ID Card	Fill in the prescribed forms A2 or B2 . (Do not separate these forms of Admission Ticket for Examination from Photo ID Card.)
③Examination Fee: JPY30,000 The following applicants are not charged the fee; ➤ Current graduate students of Chiba University ➤ Current Japanese Government (Monbukagakusho/MEXT) Scholarship international students or Double Degree Program international students Contact the department in charge	Applicants must pay the examination fee by one of the following ways BEFORE APPLYING . (1) Payment period Mon., December 1 — Wed., December 10, 2025 (2) Payment method Please go to “ e-shiharai.net ” Payment on the Web. and make a payment by one of those payment options, through convenience store, Pay-easy, internet banking or credit card. *For details of payment procedure, please refer to: • Website of Graduate School of Science and Engineering • User’s Guide at “e-shiharai.net” Payment on the Web. (https://e-shiharai.net/) If you have any questions; _ please refer to FAQ at “e-shiharai.net” Payment on the Web.,

before applying.	<p>and then, _ contact “e-shiharai.net” Payment on the Web. Support Center. *Handling charge must be on payer.</p> <p>(3) Process after payment You need to paste Certificate of Payment on the admission application form [A1] or [B1] for submission. Please refer to the below for receiving the Certificate of Payment.</p> <table><tr><td>Payment method</td><td>Payment at a convenience store</td><td>Pay-easy, Internet banking or Credit card</td></tr><tr><td>How to receive</td><td>Tell a cashier there so.</td><td>Access “View application details” at e-shiharai.net. to print out.</td></tr></table> <p>(4) Once paid, no refunds will be made. It will be, however, fully refunded to the applicants who paid it by mistake, and besides, didn’t apply for the admission, if they finish the prescribed procedure for the refund by Tue., March 31, 2026, 5:00 p.m. Japan time. For more details, please contact the department in charge of Science or Engineering fields (See the Contact & Destination of Admission Application Submission (colored page) of this booklet.).</p> <p>■ “e-shiharai.net” Payment on the Web. (https://e-shiharai.net/) You can pay the Examination Fees for University/Educational Institution by one of those payment options, through convenience store, Pay-easy, internet banking or credit card.</p>  <p>■ For applicants residing outside Japan Payment is possible only by credit card.</p> <table><tr><td>Payment method</td><td>Credit card</td></tr><tr><td>How to receive</td><td>Click “Print this page” button and print out “Result” page at e-shiharai.net.</td></tr></table> <p>Please make your payment via the following website. (https://e-shiharai.net/ecard/) Payment is possible only by credit card. After payment, you need to submit us the printed Result page with other admission application materials.</p> 	Payment method	Payment at a convenience store	Pay-easy, Internet banking or Credit card	How to receive	Tell a cashier there so.	Access “View application details” at e-shiharai.net. to print out.	Payment method	Credit card	How to receive	Click “Print this page” button and print out “Result” page at e-shiharai.net.
Payment method	Payment at a convenience store	Pay-easy, Internet banking or Credit card									
How to receive	Tell a cashier there so.	Access “View application details” at e-shiharai.net. to print out.									
Payment method	Credit card										
How to receive	Click “Print this page” button and print out “Result” page at e-shiharai.net.										
④ Official Transcripts	Both of those below should be provided; 1. An official transcript of the master’s program and 2. An official transcript of undergraduate program. (Either English or Japanese version is acceptable for both.)										
⑤ 3 Photographs	Paste 3 identical-frontal photographs from the waist up of yourself, without a hat, taken in the 3 months prior to application with glue; one to the prescribed place on Application Form [A1] or [B1] and the others on Admission Ticket for Examination and Photo ID Card [A2] or [B2]. (Photo size: 4 cm long x 3 cm wide)										

⑥Master's Degree Certificate or Expected Master's Degree Certificate	An officially certified copy certificate prepared by the president or dean of the graduate school of the last university attended is available. Applicants who submit a prospective Master's Degree Certificate must submit a Master's Degree Certificate following completion of their master's program. (Either English or Japanese version is acceptable.)
⑦Master's Thesis and Others	<p>●Applicants with a master's degree Both of those below should be provided; 1. A copy set of the master's thesis and 2. An Abstract [C] in 1,000 words or less.</p> <p>●Applicants without a master's degree Those should be provided as below. 1. A Report on Research Activities [D] in 1,000 words or less 2. A List of Research Achievement [E]. If they have any research publications or other such documents to their credit, it should be also attached.</p>
⑧Research Proposal	Applicants should submit their research proposal on the form prescribed by this school [F].
⑨ Prescribed Return Envelope for Admission Ticket for Examination to Applicant	<p>1. <u>Postage stamp</u> ●Applicants residing in Japan Paste a 110-yen postage stamp※ on a return envelope enclosed in this pamphlet. ※If the rate increase is implemented, please affix stamps for the revised rate.</p> <p>●Applicants residing outside Japan No postage stamp is required. It will arrive by EMS.</p> <p>2. <u>Full name and address</u> Write those on the return envelope is to be sent, and then submit the envelope along with the application documents.</p>
⑩Address Stickers	<p>Fill in all stickers with full name, zip code and address.</p> <p>●Applicants of April admission Two of them may be used for receiving in Dec. 2025. The other will be in Feb. 2026. (Promptly notify us if the address is changed.)</p> <p>●Applicants of October admission One of them may be used for receiving in Dec. 2025. Another will be in Feb. 2026 and the other may be in around late Aug. 2026. (Promptly notify us if the address is changed.)</p>
⑪Miscellaneous	For applicants who wish to remain employed in Japan while participating in the Doctoral Program, it is desirable that they submit an Admission form of examination [G] from the head of their unit at work.
⑫Curriculum Vitae (For international applicants available)	Use the form prescribed by this school [H].
⑬Certificate of Residence (<i>Juminhyo-no-Utsushi</i>) (For international applicants available)	<p>●Applicants residing in Japan This document must be obtained at the city, ward, town or village office in which the applicant resides. Photocopy is not accepted. This must include the following information.</p> <p>1. Visa status (<i>Zairyu-shikaku</i> or <i>Zairyu-kubun</i>) 2. Authorized period of stay (<i>Zairyu-kan</i>) in Japan</p>

	<p>3. Nationality However, we are not allowed to accept the one written the code of the Social Security and Tax Number System (called “My Number” System).</p> <p>●Applicants residing outside Japan Please submit a photocopy of the applicant’s passport that indicates name, date of birth, sex, and if applicable, a copy of Japanese visa page.</p>
⑭ Enrollment Certificate (For international applicants in Double Degree Program: DDP available)	An official certificate prepared by the president or dean of the home university that you are currently enrolled at. (overseas sister university of the DDP agreement)

(5) Points of Concern Regarding Application Submission

- ① Incomplete applications may not be accepted.
- ② **All official and original copies are required unless otherwise specified.** Photocopies, faxes and unofficial printouts CANNOT be accepted. **Submitted documents for application will not be returned under any circumstances.** In case you wish to submit an original copy which cannot be reissued, be sure to consult the department in charge fields (See the Contact & Destination of Admission Application Submission (colored page) of this booklet.) in advance.
- ③ An Abstract of the Family Register (Certification of Individual Registration called *Koseki-shohon*) may be required when the current name written on the applications differs from the name written on other application materials for marriage or others. (A photocopy is acceptable in this case.)
- ④ A word processing software may be used to fill in the forms **[C]** to **[H]** prescribed by this school, that are to be submitted. (You can also make a handwritten entry to submit the prescribed forms above.)
- ⑤ Changing the contents of submitted documents will not be allowed once the application procedures are completed. However, if you change your address after the application, please provide written notification to that effect (the form to be used is optional).
- ⑥ Entrance permission may be revoked at any time, even after enrollment, if the application documents are found to be invalid or containing any false information.
- ⑦ In addition to being used for selecting applicants, personal information collected in the applicant selection process may be used for such purposes as managerial and administrative activities, academic guidance activities, and activities related to research and study on applicant selection methods
- ⑧ If anything in the application process is unclear, please contact us at the department in charge (See the Contact & Destination of Admission Application Submission (colored page) of this booklet.) .

4. Request for Judging Qualification for Admission Application

Applicants who would meet the Required Qualifications (6), (7) or (8) need another procedure in advance as follows. Documents listed below are required to submit so that applicants are judged whether they are qualified to take the entrance examination by this graduate school.

The applicable applicants should contact the department in charge fields (See the Contact & Destination of Admission Application Submission (colored page) of this booklet.) before applying.

(1) Filling of Documents

If they wish, they may download and use the documents of **[I]** **[E]** **[J]** and **[H]** from the website of the Graduate School of Science and Engineering. (https://www.se.chiba-u.jp/admission/latter/2nd_dr.html)

<i>Required Materials</i>	<i>Notes</i>
Request for Judging Qualification for Admission Application for Doctoral Program	Use the form prescribed by this school [I] .

List of Research Achievements	Use the form prescribed by this school [E] .
Official Transcripts	An official transcript prepared by the president at the last university you attended is available.
Certificate of Graduation	An officially certified copy certificate prepared by the president at the last university you attended is available.
Letter of Recommendation	Use the form [J] prescribed by this school. If the applicant is employed, a letter from an individual who is in a supervisory position at the workplace and knows the applicant well may be used. Otherwise, a letter of self-recommendation is acceptable.
Address Stickers	<p>Fill in all stickers with full name, zip code and address.</p> <p>●Applicants of April admission Two of them may be used for receiving in Dec. 2025. Other will be in Feb. 2026. (Promptly notify us if the address is changed.)</p> <p>●Applicants of October admission One of them may be used for receiving in Dec. 2025. Another will be in Feb. 2026 and the other may be in around late Aug. 2026. (Promptly notify us if the address is changed.)</p>
Others	Treatises which are useful for the examination are accepted.
Curriculum Vitae (For international applicants available)	Use the form prescribed by this school [H] .
Certificate of Residence (<i>Juminhyo-no-Utsushi</i>) (For international applicants available)	<p>●Applicants residing in Japan This document must be obtained at the city, ward, town or village office in which the applicant resides. Photocopy is not accepted. This must include information as below.</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Visa status (<i>Zairyu-shikaku</i> or <i>Zairyu-kubun</i>) 2. Authorized period of stay (<i>Zairyu-kan</i>) in Japan 3. Nationality <p>However, we are not allowed to accept the one written the code of the Social Security and Tax Number System (called “My Number” System).</p> <p>●Applicants residing outside Japan Please submit a photocopy of the applicant’s passport that indicates name, date of birth, sex, and if applicable, a copy of Japanese visa page.</p>
Enrollment Certificate (For international applicants in Double Degree Program: DDP available)	An official certificate prepared by the president or dean of the home university that you are currently enrolled at. (overseas sister university of the DDP agreement)

(2) Submission Period

Thu., November 6 – Fri., November 7, 2025 (without fail)

(3) Submission Method

- ① If mailing your application, please send it to the department in charge by a simple registered mail, writing “Request for Judging Qualification for Admission Application, Doctoral Program” in red on the envelope. If applying from outside Japan, send them by EMS. Mailed application materials must reach by the same deadline as above at 5:00 p.m. Incomplete documents may not be accepted. When application is to be made directly from abroad, applicants are strongly advised to contact the department in charge (See the Contact & Destination of Admission Application Submission (colored page) of this booklet.) before application submission.

- ② Location for submission in person: It will vary depending on the department in charge (See the Contact & Destination of Admission Application Submission (colored page) of this booklet.).
Time: 9:00 a.m.-5:00 p.m.
- (4) Notification of Results
Applicants will be notified of the decision whether to recognize their qualification by mail.
- (5) Admission Application Procedures
The applicants who are approved that they are qualified to take the entrance examination by this graduate school, still need to submit the rest of the admission application documents during the admission application period, though the documents already submitted in this recognition process are not necessary to be resubmitted for that.
- (6) Entrants Selection Process
The admission's selection of the applicants approved in this recognition process, is conducted in the same manner as general applicants.

5. Advance Consultation for Applicants with Physical or Other Disabilities

If applicants with physical or other disabilities need their condition to be taken into consideration for taking the entrance examination or for taking courses and study after enrollment, please apply for advance consultation to the department in charge (See the Contact & Destination of Admission Application Submission (colored page) of this booklet.) before the admission application.

- (1) What to Submit
 - ① Application form for advance consultation;
which is obtainable from the department in charge (See the Contact & Destination of Admission Application Submission (colored page) of this booklet.).
 - ② Medical certificate issued by a medical doctor;
explaining, the type and degree of their disabilities, and also any specific treatment that they need.
- (2) When to Submit
Fri., November 7, 2025, 5:00 p.m.
- (3) Where to Submit
You should submit to the department in charge of Science or Engineering Fields. (See the front cover of this booklet.)
- (4) Consideration for Advance Consultation
We, the staffs at this university will consider based on the documents submitted above. We might contact the applicants, their parents or guardians, or the last university attended regarding the application.

6. Entrants Selection Process

- (1) Selection Method
Applicants will be selected based on an examination and the transcripts.
- (2) Examination
Oral interview: The applicants are required the PowerPoint presentation and others, about their master's thesis, the research proposal **F** and others, and besides are given an oral interview on them.
Be sure to discuss in detail with the prospective supervisor.
- (3) Examination Date and Time
Mon., February 2, 2026, 10:00 a.m.
Note: There is an advance examination system for those who cannot take the examination in person on the

above exam date for some reason. Please directly contact the prospective supervisor for more information or questions before applying.

(4) Examination Location

It will be held at Nishi-Chiba Campus, Chiba University. The detailed information will be posted on the bulletin board. (See Section 7-(1).)

7. Precautions

- (1) Necessary information about the examination and assignment of examination rooms will be posted on each bulletin board as below. (See the back cover map of this booklet.)

<i>Fields of</i>	<i>Science</i>	<i>Engineering</i>
<i>Date and Time</i>	Fri., Jan. 30, 2026, 10:00 a.m.	
<i>Location</i>	Faculty of Science Bldg. #1	Faculty of Engineering Bldg.

- (2) Please be sure to bring and have your Admission Ticket for Examination with you during examination period.
- (3) On the entrance examination day, there happen to be some traders concerned with soliciting for notice of the exam results by telegram or the sales of goods at the nearby station or campus around. Those acts bear no relation to Chiba University. You must be careful not to be in trouble by being charged unreasonably for them. Chiba University will take no responsibility for it even if such an accident happens.

8. Announcement of Examination Results

Successful applicants' application codes will be posted on the Graduate School website as below.

<i>Graduate School Website</i>	<i>Viewing Period</i>
https://www.chiba-u.ac.jp/en/admission/result.html	Fri., Feb.20, 2:00p.m. (scheduled) – Tue., Feb. 24, 2026, 5:00 p.m.

Successful applicants will receive a Notification of Acceptance (*Gokaku Tsuchi-sho*) and related documents which should be sent to the address written on the Address Stickers (See Section 3, (4)-(10)) by a EMS, Letter Pack, Registered Mail, etc right after the announcement of examination results.

However, any questions concerning results by telephone or email are not available.

9. Entrance Procedures

(1) Period

<i>Admission Type</i>	<i>Period of Online Entrance Procedures</i>	<i>Delivery of Entrance Procedures Guidebook</i>
April 2026 Admission	Wed., Mar. 11, 3:00 p.m. to Wed., Mar. 18, 2026, 3:00 p.m. (Japan time)	It will be sent to the successful applicants by mail (EMS, Letter Pack, Registered Mail, etc.) with the Notification of Acceptance.
October 2026 Admission	Fri., Sep. 4, 3:00 p.m. to Fri., Sep. 11, 2026, 3:00 p.m. (Japan time)	It will be sent to the successful applicants by mail (EMS, Letter Pack, Registered Mail, etc.) around by early September 2026.

The Online Entrance Procedure System is introduced to Chiba University (CU) to improve usefulness for the successful applicants.

You can complete the entrance procedures through the System and besides, can pay the admission fee by credit card (available for domestic and overseas applicants), at the convenience store (for domestic only) or others.

The successful applicants who have not been completed the entrance procedures within the prescribed

entrance procedures period mentioned above, will be regarded as enrollment declining.

(2) Expenses

■ Admission Fee: JPY282,000 (Once at matriculation. Current Chiba University Graduate Students do not need to pay the admission fee.)

■ Tuition Fee: JPY321,480 half year (annual total tuition: JPY642,960)

Note: 1. Those international students of Japanese Government (Monbukagakusho/MEXT) Scholarship and Double Degree Program are not charged the admission fee nor tuition fees.

2. The admission fee once paid will not be refunded under any circumstances.

3. Applicants of April 2026 Admission should pay the tuition for Spring semester (from April to September) in May, and those of October 2026 Admission should pay it for Fall semester (from October to March) in November, by direct debit. But from the following semester, it should be paid in April for every Spring semester, and in October for every Fall semester, by direct debit. The detailed information on the direct debit will be informed with the Entrance Procedures Guidebook.

4. If the admission fee, the tuition or others be revised, the new amount will be applied as of the time of the revision.

5. There is a system by which the enrollment fee and tuition may be waived.

For details, please refer to the webpage below:

<https://www.chiba-u.ac.jp/students/payment/exemption.html>

Or please inquire at the Student Support Division in the Department of Student Affairs.

Phone: (043) 290-2178



■ Insurance for Injuries from Accidents (called “*Gakkensai*”) and Comprehensive Insurance for Students Lives Coupled with “*Gakkensai*” (called “*Futai*”)

[Students except international students]

All the students except the below international students are required to get below insurance.

JPY3,620 (for 3 years including “*Gakkensai*” and “*Futai*”)

[International students]

All the international students with a visa status of “Student” are required to get both insurances of i and ii as below.

i) Insurance for Injuries from Accidents (“*Gakkensai*”)

JPY2,600 (for 3 years), and besides,

ii) Comprehensive Insurance for Students Lives Coupled with “*Gakkensai*” (“*Futai*”)

JPY4,680 for Type A (for 3 years), or

JPY28,780 for Type B (for 3 years)

The new insurance premiums will go into effect as of the time of the revision if the insurance premiums have been revised.

Further details will be informed with the Entrance Procedures Guidebook.

https://www.chiba-u.ac.jp/for_school-life/support.html

10. Completion Conditions

The standard residence period in the doctoral program at the Graduate School of Science and Engineering is three years. It is the necessary conditions to complete the doctoral program that you must be registered for three years or more, and also take fourteen credits or more which are provided by this graduate school, and besides, pass successfully both the dissertation evaluation and the final examination. In addition to these requirements, studying abroad or gaining international experience with the same educational effect as studying abroad while you are at graduate school is also compulsory in principle.

11. Early Completion

A student may complete the doctoral program in more than a year and less than three years if the graduate school accept that the student has achieved exceptional research results or the student, through his/her employment, etc., already possesses research achievements that are at least the equivalent of those required to complete the program in three years.

12. Special Exception of Educational Method

In the doctoral program at the Graduate School of Science and Engineering, students may, if it is deemed especially necessary for their education, take lectures and conduct research at night or at other appropriate times.

Applicants wishing such an arrangement should consult in advance with a supervisor in their educational field and then expressly state those wishes in their application for admission.

13. System of Completion of Curricula in Longer Term

For individuals who, because they are employed, etc., will be restricted in the number of units they can obtain, and in the time that they can devote to receiving research guidance, over the course of a year or a semester, and who therefore believe that they cannot complete this program unless they remain in it for longer than the standard number of years required to complete it (three years), there is a system whereby they can obtain a degree if they apply for an extension, are judged by the university to merit it, and then methodically complete the program over a period of up to six years.

As for the tuition of individuals thus recognized as long-term students, the total amount of tuition for the three years (six semesters) usually required to complete the program will be divided by the number of years that the student will remain in the program and then paid in yearly installments.

Applicants wishing to avail themselves of this system should consult in advance with a supervisor in their educational field and then expressly state those wishes in their application for admission.

Based on “the Foreign Exchange and Foreign Trade Act”, Chiba University established “the Security Export Control Regulations of National University Corporation Chiba University” and is conducting rigid examinations before accepting students.

Desired research activities may be restricted when they are applicable to the regulations.

2026年4月入学第3回学生募集要項（理学系コースのみ）

大学院融合理工学府博士後期課程では、2026年4月入学の学生を以下のとおり募集します。なお、「募集人員」には、千葉大学大学院博士前期課程（修士課程）からの進学者も含まれます。また、出願に際しては、あらかじめ志望する指導教員に教育研究内容等について確認の上、出願してください。

本学大学院及び本学府の入学受入れ方針は、それぞれホームページをご覧ください。

1 この募集要項で出願できる専攻・コース及び募集人員

専攻名	コース名	募集人員
		2026年4月入学第3回
数学情報科学	数学・情報数理学	若干名
地球環境科学	地球科学	若干名
先進理化学	物理学	若干名
	化学	若干名
	生物学	若干名
	量子生命科学コース	若干名

2 出願資格

次のいずれかに該当する者

- （1）修士の学位又は専門職学位を有する者及び2026年3月に修士の学位又は専門職学位を取得見込みの者
- （2）外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び2026年3月までに授与される見込みの者
- （3）外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び2026年3月までに授与される見込みの者
- （4）我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び2026年3月までに授与される見込みの者
- （5）国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法（昭和51年法律第72号）第1条第2項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び2026年3月までに授与される見込みの者

- (6) 外国の学校、上記出願資格(4)の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者及び2026年3月までに認められる見込みの者で、本学府において修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
- (7) 文部科学大臣の指定した者(平成元年9月1日文部省告示第118号)
- ① 大学を卒業した後、大学、研究所等において、2年以上の研究に従事した者で、本学府において、当該研究の成果等により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
- ② 外国において学校教育における16年の課程を修了し、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上の研究に従事した者で、本学府において、当該研究の成果等により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
- (8) 本学府において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、24歳に達したもの及び2026年3月までに24歳に達するもの

出願資格(6)、(7)、(8)による志願者は、事前に出願資格の認定審査が必要となりますので、57ページ「4 出願資格の認定手続について」を参照してください。

3 出願手続等

- (1) 受付期間 **2026年2月3日(火)から2月4日(水)まで(必着)**
- (2) 受付時間 9時から17時まで
- (3) 受付場所 理学系学務係(理学部1号館2階)

次の(4)の出願書類を取り揃えて、直接持参してください。(裏表紙の地図を参照のこと)

なお、やむを得ず郵送する場合は、封筒の表に「大学院融合理工学府願書在中」と朱書きし、理学系学務係あてに簡易書留速達で郵送してください。(日本国外から出願する場合は、EMSで送付してください。)

また、書類に不備がある場合は受理できないことがあります。日本国外から直接出願する場合は、あらかじめ理学系学務係へ連絡してください。

(4) 出願書類

記入に際しては、黒のボールペンを用いて自筆、楷書でていねいに記入してください。(消せるボールペンなど改ざん可能なものは使用しないでください。)誤って記入した場合は、二重線で消し、余白に記入してください。

本学所定の様式 **C** ～ **H** は、本学府のホームページからダウンロードして使用してください。

ただし **A1** **A2** は、この募集要項にとじ込みのものを必ず使用してください。

(外国人志願者は、指定がない限り以下の出願書類を英語で作成しても差し支えありません。)

出 願 書 類	注 意 事 項 等
①入学願書	本学所定の様式 A 1 に記入してください。
②受験票・写真票	<p>本学所定の様式 A 2 に記入してください。 (受験票と写真票は切り離さないでください。)</p> <p>受験票は、入学後の学生証交付時にも使用しますので、それまで大切に保管しておいてください。</p>
<p>③検定料 30,000円</p> <p>※千葉大学大学院在籍者は、検定料は不要です。</p> <p>※現在国費外国人留学生の場合は、検定料は不要です。事前にお問合せ願います。</p>	<p>下記により、必ず出願前に、検定料を払い込んでください。</p> <p>(1) 検定料払込期間： 2026年1月1日（木）から2月4日（水）まで</p> <p>(2) 払込方法： 「E-支払いサービス」を利用し、コンビニエンスストア、ペイジー、ネットバンキング、クレジットカードのいずれかにより払い込んでください。 ※払込手順等は、大学院融合理工学府ホームページやE-支払いサービス Web サイトの「利用ガイド」を参照してください。ご不明な点は、同サイトの「よくある質問」を確認の上、E-支払いサービスサポートセンターに問合せてください。 ※事務手数料は各自で負担してください。</p> <p>(3) 払込後の手続： 収納証明書を入学願書 A 1 に貼付し提出してください。収納証明書の取得方法については以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンビニエンスストア決済の場合→店舗で受け取ってください。 ・ペイジー、ネットバンキング、クレジットカード決済の場合 →E-支払いサービス Web サイトの「申込内容照会」から印刷してください。 <p>(4) 一旦納入された検定料は、原則返還しません。ただし、検定料を誤って振込み、出願しなかった者が、所定の返還手続を行った場合は返還します。返還手続の詳細は、理工系学務課理工学系学務係に確認してください。なお、返還手続期限は2026年3月31日（火）となります。</p> <p>■ E-支払いサービス (https://e-shiharai.net/) インターネット上から、コンビニエンスストア、ペイジー、ネットバンキング、クレジットカードから希望の払込方法を選択の上、検定料の払込等ができるサービスです。 ※当サイトへの事前申込が必要です。</p> <p>■ 海外から志願される方へ 日本国外在住の志願者についてはクレジットカードのみ利用できます。 クレジットカードでの払込後、E-支払いサービス Web サイトの「申込内容照会」から収納証明書を印刷し、入学願書 A 1 B 1 に貼付してください。 ※英語版サイト (https://e-shiharai.net/ecard/) 外国人留学生向けの英語版サイトです。こちらはクレジットカード決済のみの案内となります。決済後、印刷した「Result Page」を出願書類と併せて提出してください。</p> <div data-bbox="1297 1467 1425 1592"></div> <div data-bbox="1297 1807 1425 1933"></div>

出 願 書 類	注 意 事 項 等
④成績証明書 各1通	1. 大学院 修士 課程（博士前期課程）の成績証明書 2. 大学 学部 の成績証明書 （いずれも和文か英文に限る。）
⑤写真3枚	出願前3か月以内に撮影した上半身・正面向き・脱帽の同じ写真（縦4cm×横3cm）を入学願書 A 1 , 受験票・写真票 A 2 の写真欄に貼付してください。
⑥修士課程修了証明書 又は修了見込証明書	最終出身学校の長又は研究科長が作成したもの。 「修了見込証明書」を提出する者は、入学手続きの際、「修了証明書」を提出してください。（和文か英文に限る。）
⑦修士の学位論文等	<p>●修士の学位を有する者</p> <p>1. 学位論文のコピー 2. 学位論文の要旨（本学所定の様式 C により2,000字以内）</p> <p>●修士の学位を有しない者</p> <p>1. 研究経過報告書（本学所定の様式 D により2,000字以内） 2. 研究業績調書（本学所定の様式 E ）は、研究経過報告書以外に研究発表等の業績、資料があれば提出してください。</p>
⑧研究計画書	本学所定の様式 F に記入してください。
⑨返信用封筒 （受験票等送付用）	<p>●日本国内居住の志願者 本募集要項に添付してある返信用封筒を提出してください。封筒には志願者の郵便番号、住所及び氏名を明記し、郵便切手110円分*を貼付してください。 ※値上げが実施された場合には改定後の料金分の切手を貼付してください。</p> <p>●海外在住の志願者 封筒には志願者の郵便番号、住所及び氏名を明記してください。海外から出願する場合は、郵便切手は不要です。EMSで送付します。</p>
⑩住所シール	すべてに記入してください。
⑪その他	在職のまま在学しようとする志願者は、所属長の受験許可書（本学所定の様式 G による）を提出することが望まれます。
⑫履歴書 （外国人志願者のみ）	本学所定の様式 H に記入してください。
⑬住民票の写し （外国人志願者のみ）	<p>●日本国内居住の志願者 市区町村発行のもの（在留資格又は在留区分、在留期間、国籍・地域が記載されたもの、かつ個人番号（マイナンバー）が記載されていないもの）。 コピーは不可です。</p> <p>●海外在住の志願者 パスポートのコピーを提出してください。パスポートのコピーは、本人の氏名、生年月日、性別を表示する部分及び日本国査証があればその部分とします。</p>

(5) 出願の際の留意事項等

- ① 出願書類に不備がある場合は、受理しません。
- ② 証明書類は、指定がない限り全て原本が基本です。コピー、ファックスや公式でない印刷物は受理できません。また、一度受理した出願書類は、いかなる理由があっても返却しません。再発行されない原本を提出する場合、出願前に必ず理学系学務係に相談してください。
- ③ 婚姻等により証明書と入学願書等の氏名が異なる場合は、戸籍抄本（コピー可）を添付してください。
- ④ 出願書類 **C** ～ **H** を記入の際、ワープロソフト等を使用してください。（所定の用紙に手書きで記入してもかまいません。）
- ⑤ 出願後の出願内容の変更は認めません。ただし、出願後の住所変更については書面（書式は自由）により届け出てください。
- ⑥ 入学願書等に虚偽の記載をした者は、入学後であっても入学の許可を取り消すことがあります。
- ⑦ 本選抜の過程で収集した個人情報 は入学者選抜の実施のほか、管理運営業務、修学指導業務、入学者選抜方法等における調査・研究に関する業務等を行うために利用します。
- ⑧ その他不明な点があるときは、理学系学務係へ問合せってください。

4 出願資格の認定手続について

出願資格（6），（7），（8）による志願者は、次の手続を行ってください。

本学府が審査の上、決定します。

志願者は、提出前にあらかじめ理学系学務係へ問合せってください。

(1) 提出書類

本学所定の様式 **I** **E** **J** **H** は、本学府のホームページからダウンロードして使用してください。

提出書類	注 意 事 項 等
入学試験出願資格認定申請書	本学所定の様式 I に記入してください。
研究業績調書	本学所定の様式 E に記入してください。
成績証明書	最終出身学校の長が作成したもの。
卒業証明書	最終出身学校の長が作成したもの。
推薦書	本学所定の様式 J に記入してください。 有職者の場合、本人を熟知し、職場において指導的立場にある者が作成したものであってもよい。 その他の場合は、自己推薦書でもよい。その場合の様式は任意とします。
住所シール	すべてに記入してください。
その他	審査の参考となるもの。（学術論文及びそれに相当するもの）
履歴書（外国人志願者のみ）	本学所定の様式 H に記入してください。
住民票の写し （外国人志願者のみ）	●日本国内居住の志願者 市区町村発行のもの（在留資格または在留区分、在留期間、国籍・地域が記載されたもの、かつ個人番号（マイナンバー）が記載されていないもの）。コピーは不可。

	<p>●海外在住の志願者</p> <p>パスポートのコピーを提出してください。パスポートのコピーは、本人の氏名、生年月日、性別を表示する部分及び日本国査証があればその部分とします。</p>
--	---

(2) 提出期間

2025年12月4日（木）から2025年12月5日（金）まで（必着）

(3) 提出方法

- ① 提出書類を郵送する場合は、海外から出願する場合はEMSで、日本国内から郵送する場合は封筒の表に「博士後期課程 出願資格認定申請在中」と朱書きの上、理学系学務係宛てに簡易書留郵便で送付してください。EMS又は郵送で出願する場合も2025年12月5日（金）17時までに必着とします。なお、書類に不備がある場合は受理できないことがあります。日本国外から直接出願する場合は、あらかじめ理学系学務係へ連絡の上、提出してください。
- ② 窓口を持参する場合は、9時から17時の間に理学系学務係へ持参してください。

(4) 結果通知

審査の結果は、本人宛通知します。

(5) 出願手続

出願資格を有すると認められた場合、願書受付期間に出願してください。その際、出願資格認定申請時に提出した書類については、改めて提出する必要はありません。

(6) 入学者選抜

出願資格を有すると認められた志願者の選抜は、すべて一般志願者と同様に行います。

5 身体等に障害のある入学志願者の事前相談

身体等に障害があり、受験上（及び修学上）特別な配慮を必要とする場合は、出願に先立ち、次により理学系学務係へ事前相談の申請を行ってください。

(1) 提出書類

- ① 事前相談申請書（用紙は、理学系学務係に請求してください。）
- ② 医師の診断書（障害の程度及び必要とする具体的な措置等を記載したもの）

(2) 事前相談の締切日

2025年12月5日（金）17時まで

(3) 書類提出先

理学系学務係に提出してください。（表紙参照）

(4) 相談内容の検討

提出された書類に基づき、本学関係者で検討を行います。ただし、検討の過程において、本人、保護者又は出身大学関係者へ照会する場合があります。

6 入学者選抜

(1) 選抜方法

入学者の選抜は学力検査及び成績証明書を総合して行います。

(2) 学力検査

口頭試問：修士学位論文及び研究計画書 **[F]** 等について、パワーポイント等を用いて説明してもらい、それに関する質疑応答を行います。

詳細を必ず、志望する指導教員におたずねください。

(3) 学力検査日時

2026年3月2日（月）10時～

※海外在住の志願者で、学力検査日当日に来学できない場合には、事前学力検査の制度があります。詳細は、出願前に志望する指導教員へお問合せしてください。

(4) 学力検査場

千葉大学西千葉キャンパスで行います。詳細は、注意事項掲示で確認してください。

7 注意事項

(1) 試験に必要な注意事項、学力検査室の配置等を2026年2月27日（金）10時に理学部1号館掲示板に掲示します。（裏表紙地図を参照のこと。）

(2) 入学試験期間中は、受験票を必ず持参・携帯してください。

(3) 検査当日、最寄りの駅から検査場周辺にかけて可否電報等の勧誘や物品の販売等をしていることがあります。これらの行為は本学とは一切関係ありませんので、不当な料金を請求される等のトラブルに巻き込まれないよう充分注意してください。そのような事故が生じて本学は一切責任を負いません。

8 合格者発表

2026年3月16日（月）14時（予定）に、融合理工学府ホームページ（<https://www.se.chiba-u.jp/admission/result.html>）に掲載します。（掲載期間：2026年3月16日（月）14時（予定）～3月23日（月）17時）

合格者には合格発表後速やかに合格通知書及び関係書類をEMS、レターパック、簡易書留郵便等で送付します。

なお、結果についての電話やEメールによる問合せには一切お答えできません。

9 入学手続

(1) 入学手続日

WEB 入学手続日	入学手続案内の発送
2026年3月19日（木）15時00分から 3月25日（水）15時00分まで （日本時間）	合格通知書とともにEMSまたはレターパック、簡易書留郵便等で送付します。

千葉大学では合格者の利便性を図るため、「WEB入学手続システム」を導入しています。システムを利用することで、入学手続のために大学へ来校することが基本的には不要になります。また、入学料については、クレジットカード決済（国内、海外）やコンビニ支払い（国内のみ）等による納入となります。

なお、上記期間内に入学手続を完了しないと、入学を辞退したものと見なしますので、十分注意してください。

(2) 入学時の必要経費等

■入学料 282,000円（千葉大学大学院在籍者は、入学料は不要です。）

■授業料 半期321,480円 年額642,960円

- (注) 1 国費外国人留学生は、入学料、授業料の納入は不要です。
2 納入した入学料は、いかなる理由があっても返還しません。
3 2026年4月入学者の前期分授業料は5月に口座振替により納入していただきます。翌期以降の授業料については、前期分授業料は4月、後期分授業料は10月が口座振替の月となります。口座振替手続についての詳細は入学手続案内時に改めてお知らせします。
4 入学料及び授業料等の改定が行われた場合には、改定時から新入学料及び新授業料等が適用されます。
5 入学料及び授業料が免除される制度があります。詳細は、千葉大学ホームページをご覧ください。

(<https://www.chiba-u.ac.jp/students/payment/exemption.html>)



■学生教育研究災害傷害保険料 3,620円（3年分・付帯賠償責任保険を含む）

※外国人留学生は、学生教育研究災害傷害保険料 2,600円（3年分）及び

外国人留学生向け学研災付帯学生生活総合保険（インバウンド付帯学総）

Aタイプ4,680円又はBタイプ28,780円 全員加入

保険料の改定が行われた場合には、改定時から新保険料が適用されます。

詳細は千葉大学ホームページをご覧ください。

(https://www.chiba-u.ac.jp/for_school-life/support.html)

10 修了要件

本学府博士後期課程の標準修業年限は3年です。修了要件は3年以上在学し、本学府で定めた単位を14単位以上修得し、博士論文の審査及び最終試験に合格することが条件となります。

11 修了期間短縮について

在学中の研究業績が特別に優れている場合、あるいは社会人等で研究業績が3年間で修了するために必要な業績と同等以上と認められる場合、修了期間を最短で1年間まで短縮できます。

12 教育方法の特例について

本学府博士後期課程では、教育上特別の必要があると認めるときは、夜間その他の時間または適切な時期に講義を聴講し、研究を行うことができます。

希望者は、あらかじめ志望する指導教員に照会してください。

また、その旨入学願書に記入してください。

13 長期履修学生制度について

職業を有している等の社会人学生で、1年間または1学期間に修得可能な単位数や研究指導を受ける時間が制限されるため、本学府の標準修業年限（博士後期課程は3年間）を超えて在学しなければ課程を修了することができないと考える者に対して、申請に基づき、大学が審査し、最長6年間の修業年限で在学し、計画的に課程を修了することにより学位の取得を認める制度です。

なお、長期履修学生として認められた期間の授業料は、標準修業年限の3年間（6学期）の総額を在学学期で除した額を分割して支払うことになります。

本制度を希望する者は、あらかじめ志望する指導教員に照会してください。

また、その旨入学願書に記入してください。

14 千葉大学グローバル人材育成“ENGINE”について

千葉大学が2020年度から取り組む「千葉大学グローバル人材育成“ENGINE”」では、“学部・大学院生の全員留学”を目指して、留学プログラムや留学支援体制を強化するとともに、外国人教員の増員等による教育改革や留学中でも科目履修が継続出来る教育環境整備等を行っています。

詳細についてはこちらをご覧ください。 <https://www.chiba-u.ac.jp/engine/index.html>

千葉大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「国立大学法人千葉大学安全保障輸出管理規程」を定め、学生の受入れに際し、厳格な審査を実施しています。

規制事項に該当する場合は、希望する研究活動に制限がかかる場合がありますので、ご注意ください。

Chiba University
Graduate School of Science and Engineering
Doctoral Program

Admission Guidelines and Application Forms
for 3rd Selection of April 2026 Admission

An applicant may not submit two or more applications to the graduate school at the same time.
Before applying, please contact directly a desired research supervisor in the education and research field that you wish to choose to confirm your choice.

Science Fields

Department of

Mathematics and Informatics
Earth Sciences
Physics
Chemistry
Biology
Quantum Life Science

Contact & Destination of Admission Application Submission

SCIENCE FIELDS

The department of: Mathematics and Informatics
Earth Sciences
Physics
Chemistry
Biology
Quantum Life Science

Department in charge of admissions: Student Affairs Unit for Faculty of Science
Student Affairs Division for Science and Engineering
Chiba University

Address: 1-33 Yayoi-cho, Inage-ku, Chiba City, Chiba 263-8522 Japan

TEL: 043-290-2880

Email: rigaku-nyushi@chiba-u.jp

Location: Faculty of Science Bldg. #1, 2nd floor

The Graduate School of Science and Engineering invites applications for its Doctoral Program as outlined in the table below. For number of students to be admitted in the table below, some potential applicants include students from the Chiba University Graduate School's Master's Program who wish to take the next step in their education. Before applying, please contact a desired supervisor in the education and research field that you wish to choose, to confirm your choice.

You can view the Admission Policy of the Graduate School of Science and Engineering, and of Chiba University Graduate Schools on the webpages.

1. Applicable Divisions, Departments and Number of Students to Be Admitted for this Guidelines

<i>Division</i>	<i>Department</i>	<i>Number of Students to Be Admitted April 2026 Admission 3rd Selection</i>
Mathematics and Informatics	Mathematics and Informatics	A few
Earth and Environmental Sciences	Earth Sciences	A few
Advanced Science and Engineering	Physics	A few
	Chemistry	A few
	Biology	A few
	Quantum Life Science	A few

2. Qualifications for Admission Application

Applicants must meet one of the following qualifications.

- (1) The applicant has a master's degree or professional degree, or expects to obtain one by March 2026.
- (2) In a foreign country, the applicant has been granted, or expects to be granted by March 2026, a degree corresponding to a master's degree or a professional degree.
- (3) The applicant, by reviewing, in Japan, the subjects in the correspondence education conducted by a foreign school, has been granted, or expects to be granted by March 2026, a degree corresponding to a master's degree or a professional degree.
- (4) The applicant has completed a foreign graduate school's course, conducted at an educational institution in Japan that is an accredited part of the educational system of the related foreign country and also recognized by Japan's Minister of Education, Culture, Sports Science and Technology, and has consequently been granted a degree corresponding to a master's degree or a professional degree or expects to receive such a degree by March 2026.
- (5) The applicant has been granted, or expects to be granted by March 2026, a degree corresponding to a master's degree, through course completion at the United Nations University as prescribed in Article 1-(2) of the Act on special Measures Incidental to Enforcement of the Agreement between the United Nations and Japan regarding the Headquarters of the United Nations University (Act No. 72 of 1976), which was established under the December 11, 1972 resolution of the General Assembly of the United Nations.
- (6) The applicant has completed a course study at a school outside of Japan, in an educational institution as

designated above in (4) of the required qualifications, or in the United Nations University, has passed the examination and screening equivalent to those prescribed in Article 16-2 of the Standards for Establishment of Graduate Schools, and has been recognized as having academic abilities at least equivalent to that of a Master's degree holder, or is expected to be recognized by March 2026, and has been recognized by this school as having academic abilities at least equivalent to that of a Master's degree holder.

- (7) The applicant meets either of the following qualifications designated in Ministry of Education Bulletin No. 118 of September 1, 1989.
- ① After graduating from college, the applicant engaged in at least two years of research at a university, research center, etc. and, based on the resulting research achievements, etc., has been recognized, by the graduate school in question, as having scholarly attainments that are at least the equivalent of those of individuals who have a master's degree or a professional degree.
 - ② After completing a 16-year course of study in the educational institutions of a foreign country, or after reviewing, in Japan, the subjects in the correspondence education conducted by a foreign school and thereby completing a 16-year course of study in the educational institutions of the related foreign country, the applicant engaged in at least two years of research at a university, research center, etc., and, based on the resulting research achievements, etc., has been recognized, by the graduate school in question, as having scholarly attainments that are at least the equivalent of those of individuals who have a master's degree or a professional degree.
- (8) Based on an examination, conducted by this school, of the applicant's qualifications to enter this school, the applicant has been judged to have scholastic attainments that are at least the equivalent of those of individuals with a master's degree or a professional degree, and is also 24 years of age or will turn 24 by March 2026.

Applicants who would meet the Qualifications (6), (7) or (8) above need another process in advance. Please view "4. Request for Judging Qualification for Admission Application" (p.70).

3. Application Procedures

- (1) Period: **Tue., February 3—Wed., February 4, 2026 (without fail)**
- (2) Time: 9:00 a.m. — 5:00 p.m.
- (3) Venue: Student Affairs Unit for Faculty of Science
(See the back cover map of this booklet.)

Please prepare and **submit** application materials of Section (4) below to us **in person**.

If mailing your application of necessity, please send it by a simple registered express mail, writing "Application for admission to Graduate School of Science and Engineering" in red on the envelope. Mailed application materials must reach us by the same deadline as above. If applying from outside Japan, send them by EMS.

Incomplete documents may not be accepted. When application is to be made directly from abroad, applicants are strongly advised to contact the Student Affairs Unit for Faculty of Science before application submission.

(4) Application Materials

You must fill in clearly in block letters with a black ballpoint pen in case of making a handwritten entry. **(Erasable ballpoint pen which is capable of altering something cannot be used.)** When you make a mistake in writing, you should erase with double lines and write down in the blank space.

If you wish, you may download the documents of

C

 to

H

 from the website of the Graduate School of Science and Engineering. Be sure to use the original prescribed forms

A1


A2

 should

NOT be downloaded.

International applicants may prepare the documents for the application in English unless otherwise specified.

Required Materials	Notes						
①Application Form	Fill in the prescribed form A1						
②Admission Ticket for Examination and Photo ID Card	Fill in the prescribed forms A2 (Do not separate these forms of Admission Ticket for Examination from Photo ID Card.)						
③Examination Fee: JPY30,000 The following applicants are not charged the fee; ➤Current graduate students of Chiba University ➤Current Japanese Government (Monbukagakusho/MEXT) Scholarship international students Contact the department in charge before applying.	Applicants must pay the examination fee by one of the following ways BEFORE APPLYING. (1) Payment period Thu., January 1 — Wed., February 4, 2026 (2) Payment method Please go to “e-shiharai.net” Payment on the Web. and make a payment by one of those payment options, through convenience store, Pay-easy, internet banking or credit card. *For details of payment procedure, please refer to: • Website of Graduate School of Science and Engineering • User’s Guide at “e-shiharai.net” Payment on the Web. (https://e-shiharai.net/) If you have any questions; _ please refer to FAQ at “e-shiharai.net” Payment on the Web., and then, _ contact “e-shiharai.net” Payment on the Web. Support Center. *Handling charge must be on payer. (3) Process after payment You need to affix Certificate of Payment on the admission application form A1 for submission. Please refer to the below for receiving the Certificate of Payment. <table><tr><td>Payment method</td><td>Payment at a convenience store</td><td>Pay-easy, Internet banking or Credit card</td></tr><tr><td>How to receive</td><td>Tell a cashier there so.</td><td>Access “View application details” at e-shiharai.net. to print out.</td></tr></table> (4) Once paid, no refunds will be made. It will be, however, fully refunded to the applicants who paid it by mistake, and besides, didn’t apply for the admission, if they finish the prescribed procedure for the refund by Tue., March 31, 2026, 5:00 p.m. Japan time. For more details, please contact the Student Affairs Unit for Faculty of Science of Student Affairs Division for Science and Engineering. ■ “e-shiharai.net” Payment on the Web. (https://e-shiharai.net/) You can pay the Examination Fees for University/Educational Institution by one of those payment options, through convenience store, Pay-easy, internet banking or credit card. * Advance Web Application should be required. * Each university has each payment option.	Payment method	Payment at a convenience store	Pay-easy, Internet banking or Credit card	How to receive	Tell a cashier there so.	Access “View application details” at e-shiharai.net. to print out.
Payment method	Payment at a convenience store	Pay-easy, Internet banking or Credit card					
How to receive	Tell a cashier there so.	Access “View application details” at e-shiharai.net. to print out.					

	<p>■ For applicants residing outside Japan Payment is possible only by credit card.</p> <table border="1"> <tr> <td><i>Payment method</i></td><td>Credit card</td></tr> <tr> <td><i>How to receive</i></td><td>Click “Print this page” button and print out “Result” page at e-shiharai.net.</td></tr> </table> <p>Please make your payment via the following website. (https://e-shiharai.net/ecard/) Payment is possible only by credit card. After payment, you need to submit us the printed Result page with other admission application materials.</p> 	<i>Payment method</i>	Credit card	<i>How to receive</i>	Click “Print this page” button and print out “Result” page at e-shiharai.net.
<i>Payment method</i>	Credit card				
<i>How to receive</i>	Click “Print this page” button and print out “Result” page at e-shiharai.net.				
④ Official Transcripts	<p>Both of those below should be provided; (Only in Japanese or in English acceptable)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. An official transcript of the master’s program 2. An official transcript of undergraduate courses. <p>(Either English or Japanese version is acceptable for both.)</p>				
⑤ 3 Photographs	<p>Affix 3 identical-frontal photographs from the waist up of yourself, without a hat, taken in the 3 months prior to application with glue; one to the prescribed place on Application Form [A1] and the others on Admission Ticket for Examination and Photo ID Card [A2]. (Photo size: 4 cm long x 3 cm wide)</p>				
⑥ Master’s Degree Certificate or Expected Master’s Degree Certificate	<p>Officially certified copy prepared by the president or dean of the graduate school of the last university attended. Applicants who submit a prospective Master’s Degree Certificate must submit a Master’s Degree Certificate following completion of their master’s program. (Either English or Japanese version is acceptable for both.)</p>				
⑦ Master’s Thesis and Others	<p>● Applicants with a master’s degree Both of those below should be provided; <ol style="list-style-type: none"> 1. A copy set of the master’s thesis 2. An Abstract [C] in 1,000 words or less. </p> <p>● Applicants without a master’s degree Those should be provided as below. <ol style="list-style-type: none"> 1. A Report on Research Activities [D] in 1,000 words or less 2. A List of Research Achievements [E] <p>If they have any research publications or other such documents to their credit, it should be also attached.</p> </p>				
⑧ Research Proposal	<p>Applicants should submit a Research Proposal on the form prescribed by this school [F].</p>				
⑨ Prescribed Return Envelope for Admission Ticket for Examination to Applicant	<p>1. <u>Postage stamp</u> ● Applicants residing in Japan Affix a 110-yen postage stamp※ on a return envelope enclosed in this pamphlet. ※If the rate increase is implemented, please affix stamps for the revised rate.</p> <p>● Applicants residing outside Japan No postage stamp is required. It will arrive by EMS.</p> <p>2. <u>Full name and address</u> Write those on the return envelope is to be sent, and then submit the envelope along with the application documents.</p>				

⑩ Address Stickers	Fill in all stickers with full name, zip code and address. One will be used for receiving in around late Mar. 2026 and the others are extra.
⑪ Miscellaneous	For applicants who wish to remain employed while participating in the Doctoral Program, it is desirable that they submit an Admission form of examination [G] from the head of their unit at work.
⑫ Curriculum Vitae (For international applicants available)	Use the form prescribed by this school [H] .
⑬ Certificate of Residence (<i>Juminhyo-no-Utsushi</i>) (For international applicants available)	<p>● Applicants residing in Japan This document must be obtained at the city, ward, town or village office in which the applicant resides. Photocopy is not accepted. This must include the following information. 1. Visa status (<i>Zairyu-shikaku</i> or <i>Zairyu-kubun</i>) 2. Authorized period of stay (<i>Zairyu-kan</i>) in Japan 3. Nationality However, we are not allowed to accept the one written the code of the Social Security and Tax Number System (called “My Number” System).</p> <p>● Applicants residing outside Japan Please submit a photocopy of the applicant’s passport that indicates name, date of birth, sex, and if applicable, a copy of Japanese visa page.</p>

(5) Points of Concern Regarding Application Submission

- ① Incomplete applications may not be accepted.
- ② **All official and original copies are required unless otherwise specified.** Photocopies, faxes and unofficial printouts CANNOT be accepted. **Submitted documents for application will not be returned under any circumstances.** In case you wish to submit an original copy which cannot be reissued, be sure to consult the Student Affairs for Faculty of Science, in advance.
- ③ An Abstract of the Family Register (Certification of Individual Registration called *Koseki-shohon*) may be required when the current name written on the applications differs from the name written on other application materials for marriage or others. (A photocopy is acceptable in this case.)
- ④ A word processing software may be used to fill in the forms **[C]** to **[H]** prescribed by this school, that are to be submitted. (You can also make a handwritten entry to submit the prescribed forms above.)
- ⑤ Changing the contents of submitted documents will not be allowed once the application procedures are completed. However, if you change your address after the application, please provide written notification to that effect (the form to be used is optional).
- ⑥ Entrance permission may be revoked at any time, even after enrollment, if the application documents are found to be invalid or containing any false information.
- ⑦ In addition to being used for selecting applicants, personal information collected in the applicant selection process may be used for such purposes as managerial and administrative activities, academic guidance activities, and activities related to research and study on applicant selection methods
- ⑧ If anything in the application process is unclear, please contact us, the Student Affairs Unit for the Faculty of Science.

4. Request for Judging Qualification for Admission Application

Applicants who would meet the Required Qualifications (6), (7) or (8) need another procedure in advance as follows. Documents listed below are required to submit so that applicants are judged whether they are qualified to take the entrance examination by this graduate school.

The applicable applicants should contact the Student Affairs Unit for the Faculty of Science before applying.

(1) Filling of Documents

If they wish, they may download and use the documents of **I** **E** **J** and **H** from the website of the Graduate School of Science and Engineering.

<i>Required Materials</i>	<i>Notes</i>
Request for Judging Qualification for Admission Application for Doctoral Program	Use the form prescribed by this school I .
List of Research Achievements	Use the form prescribed by this school E .
Official Transcripts	An official transcript prepared by the president at the last university you attended.
Certificate of Graduation	An officially certified copy prepared by the president at the last university you attended.
Letter of Recommendation	Use the form J prescribed by this school. If the applicant is employed, a letter from an individual who is in a supervisory position at the workplace and knows the applicant well may be used. Otherwise, a letter of self-recommendation is acceptable.
Address Stickers	Fill in all stickers with full name, zip code and address. (Promptly notify us if the address is changed.)
Others	Treatise which is useful for the examination.
Curriculum Vitae (For international applicants available)	Use the form prescribed by this school H .
Certificate of Residence (<i>Juminhyo-no-Utsushi</i>) (For international applicants available)	<p>● Applicants residing in Japan</p> <p>This document must be obtained at the city, ward, town or village office in which the applicant resides. Photocopy is not accepted. This must include information as below.</p> <ol style="list-style-type: none">1. Visa status (<i>Zairyu-shikaku</i> or <i>Zairyu-kubun</i>)2. Authorized period of stay (<i>Zairyu-kan</i>) in Japan3. Nationality <p>However, we are not allowed to accept the one written the code of the Social Security and Tax Number System (called “My Number” System).</p> <p>● Applicants residing outside Japan</p> <p>Please submit a photocopy of the applicant’s passport that indicates name, date of birth, sex, and if applicable, a copy of Japanese visa page.</p>

(2) Submission Period

Thu., December 4 — Fri., December 5, 2025 (without fail)

(3) Submission Method

- ① If mailing your application, please send it by a simple registered mail, writing “Request for Judging Qualification for Admission Application” in red on the envelope. If applying from outside Japan, send them by EMS. Mailed application materials must reach by the same deadline as above at 5:00 p.m.

Address for submission by mail: Student Affairs Unit for Faculty of Science

Student Affairs Division for Science and Engineering

Chiba University

1-33 Yayoi-cho, Inage-ku, Chiba City, Chiba 263-8522 Japan

Incomplete documents may not be accepted. When application is to be made directly from abroad, applicants are strongly advised to contact the Student Affairs Unit for Faculty of Science before application submission.

② Location for submission in person: Student Affairs Unit for Faculty of Science

(See the back cover map of this booklet.)

Time: 9:00 a.m.-5:00 p.m.

(4) Notification of Results

Applicants will be notified of the decision whether to recognize their qualification by mail.

(5) Admission Application Procedures

The applicants who are approved that they are qualified to take the entrance examination by this graduate school, still need to submit the rest of the admission application documents during the admission application period though the documents already submitted in this recognition process are not necessary to be resubmitted for that.

(6) Entrants Selection Process

The admission's selection of the applicants approved in this recognition process, is conducted in the same manner as general applicants.

5. Advance Consultation for Applicants with Physical or Other Disabilities

If applicants with physical or other disabilities need their condition to be taken into consideration for taking the entrance examination or for taking courses and study after enrollment, they need to apply for advance consultation before the admission application.

(1) What to Submit

① Application form for advance consultation;

which is obtainable from the department in charge.

② Medical certificate issued by a medical doctor;

explaining, the type and degree of their disabilities, and also any specific treatment that they need.

(2) When to Submit

Fri., December 5, 2025, 5:00 p.m.

(3) Where to Submit

Student Affairs Unit for Faculty of Science

(4) Consideration for Advance Consultation

We, the staffs at this university will consider based on the documents submitted above. We might contact the applicants, their parents or guardians, or the last university attended regarding the application.

6. Entrants Selection Process

(1) Selection Method

Applicants will be selected based on an examination and the transcripts.

(2) Examination

Oral interview: The applicants are required the PowerPoint presentation and others, about the master's thesis, the research proposal **[F]** and others, and besides are given an oral interview on them.

Be sure to discuss in detail with the prospective supervisor.

(3) Examination Date and Time

Mon, March 2, 2026, 10:00 a.m.

Note: There is an advance examination system for those who cannot take the examination in person on the above exam date for some reason. Please directly contact the prospective supervisor for more information or questions before applying.

(4) Examination Location

It will be held at Nishi-Chiba Campus, Chiba University. The detailed information will be posted on the bulletin board. (See Section 7-(1).)

7. Precautions

- (1) Necessary information about the examination and assignment of examination rooms will be posted on the bulletin board of the Faculty of Science at 10:00 a.m. the day before the examination. (See the back cover map of this booklet.)
- (2) Please be sure to bring and have your Admission Ticket for Examination with you during examination period.
- (3) On the entrance examination day, there happen to be some traders concerned with soliciting for notice of the exam results by telegram or the sales of goods at the nearby station or campus around. Those acts bear no relation to Chiba University. You must be careful not to be in troubled by being charged unreasonably for them. Chiba University will take no responsibility for it even if such an accident happens.

8. Announcement of Examination Results

Successful applicants' application codes will be posted on the Graduate School website as below.

<i>Graduate School Website</i>	<i>Viewing Period</i>
https://www.chiba-u.ac.jp/en/admission/result.html	Mon., Mar. 16, 2:00 p.m. (scheduled) – Mon., Mar. 23, 2026, 5:00 p.m.

Successful applicants will receive a Notification of Acceptance (*Gokaku Tsuchi-sho*) and related documents which should be sent to the address written on the Address Stickers (See Section 3, (4)-(10)) by a EMS, Letter Pack, Registered Mail, etc right after the announcement of examination results.

However, any questions concerning results by telephone or email are not available.

9. Entrance Procedures

(1) Period

<i>Admission Type</i>	<i>Period of Online Entrance Procedures</i>	<i>Delivery of Entrance Procedures Guidebook</i>
April 2026 Admission	Thu., Mar. 19, 3:00 p.m. to Wed., Mar. 25, 2026, 3:00 p.m. (Japan time)	It will be sent to the successful applicants by mail (EMS, Letter Pack, Registered Mail, etc.) with the Notification of Acceptance.

The Online Entrance Procedure System is introduced to Chiba University (CU) to improve usefulness for the successful applicants.

You can complete the entrance procedures through the System and besides, can pay the admission fee by credit card (available for domestic and overseas applicants), at the convenience store (for domestic only) or others.

The successful applicants who have not been completed the entrance procedures within the prescribed entrance procedures period mentioned above, will be regarded as enrollment declining.

(2) Expenses

■ Admission Fee: JPY282,000 (Once at matriculation. Current Chiba University Graduate Students do not need to pay the admission fee.)

■ Tuition Fee: JPY321,480 half year (annual total tuition: JPY642,960)

Note: 1. Those international students of Japanese Government (Monbukagakusho/MEXT) Scholarship are not charged the admission fee nor tuition fees.

2. The admission fee once paid will not be refunded under any circumstances.

3. Applicants should pay the tuition for Spring semester (from April to September) in May by direct debit. But from the following semester, it should be paid in April for every Spring semester, and in October for every Fall semester, by direct debit. The detailed information on the direct debit will be given with the Entrance Procedures Guidebook.

4. If the admission fee, the tuition or others be revised, the new amount will be applied as of the time of the revision.

5. There is a system by which the enrollment fee and tuition may be waived.

For details, please refer to the webpage below:

<https://www.chiba-u.ac.jp/students/payment/exemption.html>

Or please inquire at the Student Support Division in the Department of Student Affairs.

TEL: (043) 290-2178



■ Insurance for Injuries from Accidents (called “*Gakkensai*”) and

Comprehensive Insurance for Students Lives Coupled with “*Gakkensai*” (called “*Futai*”)

[Students except international students]

All the students except the below international students are required to get below insurance.

JPY3,620 (for 3 years including “*Gakkensai*” and “*Futai*”)

[International students]

All the international students with a visa status of “Student” are required to get both insurances of i and ii as below.

i) Insurance for Injuries from Accidents (“*Gakkensai*”)

JPY2,600 (for 3 years), and besides,

ii) Comprehensive Insurance for Students Lives Coupled with “*Gakkensai*” (“*Futai*”)

JPY4,680 for Type A (for 3 years), or

JPY28,780 for Type B (for 3 years)

The new insurance premiums will go into effect as of the time of the revision if the insurance premiums have been revised.

Further details will be informed with the Entrance Procedures Guidebook.

https://www.chiba-u.ac.jp/for_school-life/support.html

10. Completion Conditions

The standard residence period in the doctoral program at the Graduate School of Science and Engineering is three years. It is the necessary conditions to complete the doctoral program that you must be registered for three years or more, and also take fourteen credits or more which are provided by this graduate school, and besides, pass successfully both the dissertation evaluation and the final examination.

11. Early Completion

A student may shorten the period required to complete the doctoral program to a minimum of one year if the student has achieved exceptional research results while enrolled in the program or if the student, through his/her employment, etc., already possesses research achievements that are at least the equivalent of those required to complete the program in three years.

12. Day/Evening Course System

In the doctoral program at the Graduate School of Science and Engineering, students may, if it is deemed especially necessary for their education, take lectures and conduct research at night or at other appropriate times.

Applicants wishing such an arrangement should consult in advance with a supervisor in their educational field and then expressly state those wishes in their application for admission.

13. System of Completion of Curricula in Longer Term

For individuals who, because they are employed, etc., will be restricted in the number of units they can obtain, and in the time that they can devote to receiving research guidance, over the course of a year or a semester, and who therefore believe that they cannot complete this program unless they remain in it for longer than the standard number of years required to complete it (three years), there is a system whereby they can obtain a degree if they apply for an extension, are judged by the university to merit it, and then methodically complete the program over a period of up to six years.

As for the tuition of individuals thus recognized as long-term students, the total amount of tuition for the three years (six semesters) usually required to complete the program will be divided by the number of years that the student will remain in the program and then paid in yearly installments.

Applicants wishing to avail themselves of this system should consult in advance with a supervisor in their educational field and then expressly state those wishes in their application for admission.

Based on “the Foreign Exchange and Foreign Trade Act”, Chiba University established “the Security Export Control Regulations of National University Corporation Chiba University” and is conducting rigid examinations before accepting students.

Desired research activities may be restricted when they are applicable to the regulations.

大学院融合理工学府案内

1. 入学受入の方針 Admissions Policy

博士後期課程においては、各専攻分野の深い専門性に根ざし、論理的で先端的な方法論・解析能力などを身に付ける意欲をもつ人、高度な知識と研究能力を礎として、基礎分野のみならず、新領域・応用分野での独創的・国際的な研究の開拓を行うことができる人の入学を求めています。また、理工系分野の多様な研究・教育組織の中核を担う研究者・教員を目指す人材として、社会の発展に貢献する意欲をもつ人の入学を求めています。

2. 教育課程 Systematic Curricula

● 数学情報科学専攻 Division of Mathematics and Informatics

○ 数学・情報数理学コース Department of Mathematics and Informatics 《理学系コース》

博士前期課程では、数学・情報数理学の幅広い知識の修得と基礎力を養成するため、基盤代数学特論、応用代数学特論、微分幾何学特論、位相幾何学特論、基礎解析学特論、応用解析学特論、確率統計学特論、応用数理学特論、基盤情報数理学特論、応用情報数理学特論が開講されている。これらは選択必修科目であり、原則として1年次に3科目以上履修する。この他の授業科目は、選択必修科目の理解の上に立ち、各教育研究領域を深く学ぶことを目的として、開講されている。さらに進度の早い学生は、博士後期課程用の授業を履修することができる。学生は修士論文の指導教員と相談し、これらの授業科目の効果的な履修計画をたてることができる。

博士後期課程では、専門的な習熟度を高める目的で講義科目を選択して履修する。

In the master's program, in order to impart broad knowledge and cultivate basic abilities in mathematics and informatics, numerous courses have been established. These include Fundamental Algebra, Applied Algebra, Differential Geometry, Topology, Analysis, Applied Analysis, Probability theory and Statistics, Applied Mathematics, Fundamental Informatics, Applied Informatics. These are compulsory elective courses; as a rule, students take at least three of them in the first year. Predicated on the knowledge gained in these courses, other courses have been created for purposes of enabling students to study particular areas in depth. Students who make quick progress may also take courses for the doctoral program. Moreover, students may consult with the academic advisors for their master's thesis and devise an effective plan for taking these courses.

In the doctoral program, students take elective courses to raise their level of specialized expertise.

● 地球環境科学専攻 Division of Earth and Environmental Sciences

○ 地球科学コース Department of Earth Sciences 《理学系コース》

博士前期課程では、岩石鉱物学特論－1, 2, 地球ダイナミクス特論－1, 2, 層序学特論－1, 2, 地表動態学特論－1, 2のうち3科目以上を、原則として1年次に履修する。これらの科目の履修により地球科学全般の基礎を理解した上で、各教育研究領域を深く学ぶことを目的として、選択科目を履修する。さらに、実践的な特別演習と特別研究を通して、地球科学に関する諸問題を検討・解決できる能力を育成する。

博士後期課程では、博士前期課程で上記の選択必修科目を履修していない場合には、これらの科目を履修して地球科学全般の基礎を修得することを推奨する。また、専門領域の選択科目を履修して高度な専門知識を修得する。さらに、実践的な特別演習と特別研究を通して、地球科学の諸現象を解明できる能力を育成する。

In the master's program, there are 4 compulsory elective earth science courses below: Basic Mineralogy and Petrology-1, 2, Basic Geodynamics-1, 2, Basic Stratigraphy-1, 2, and Basic Earth Surface Dynamics-1, 2. As a rule, students take at least three of these courses in the first year. Building on the fundamental understanding of earth science as a whole that they gain from these courses, students take elective courses for purposes of studying particular areas in depth. Moreover, an ability to investigate and solve earth science-related problems is cultivated by means of special, practical seminars and research.

In the doctoral program, students who didn't take the abovementioned courses take them at the outset to acquire a basic understanding of earth science as a whole. Students also acquire advanced, specialized knowledge by taking electives in specialized areas. Moreover, an ability to elucidate earth science-related phenomena is cultivated by means of special, practical seminars and research.

○ リモートセンシングコース Department of Environmental Remote Sensing 《工学系コース》

博士前期課程では、地球表層観測学、地球環境計測学の2科目を、原則として1年次に履修する。これらの科目の履修により地球環境を対象とするリモートセンシングの基礎を理解した上で、各教育研究領域を深く学ぶことを目的として、選択科目を履修する。さらに、実践的な特別演習と特別研究を通じて、リモートセンシングに関わる諸問題を検討・解決できる能力を育成する。

博士後期課程では、博士前期課程で上記の選択必修科目を履修していない場合には、これらの2科目を履修して環境リモートセンシング全般の基礎を修得することを推奨する。また、専門領域の選択科目を履修して高度な専門知識を修得する。さらに、実践的な特別演習と特別研究を通して、リモートセンシングに関わる環境観測分野にお

ける能力を育成する。

In the master's program, the following two subjects are compulsory: Observation of Earth Surface Environment and Measurement of Earth Environment. Students of the Department of Environmental Remote Sensing should in principle take these subjects in the first school year. After learning fundamental aspects of the science and technology of remote sensing in these subjects, students should take elective courses for studying various disciplines as well as applications in depth. Practical Advanced seminar and Graduate Research will nurture the ability of students in investigating phenomena and solving problems in the framework of environmental remote sensing from both space-based and ground-based observations.

In the doctoral program, students who did not have chances to take the abovementioned compulsory subjects in master's program should take them for acquiring a basic understanding of the methodology and applicability of remote sensing. Subsequently, students can acquire advanced and specialized knowledge on various aspects of environmental remote sensing by taking electives in each specialized area. Practical Advanced seminar and Graduate Research will cultivate the student's ability in the field of remote sensing investigation of the Earth's environment.

○ 都市環境システムコース Department of Urban Environment Systems 《工学系コース》

博士前期課程では、以下の3点を骨子としたカリキュラム構成とする。1) 6年一貫教育体制：博士前期（修士）課程修了後に就職するニーズに応え6年間で体系化した教育を重視、2) 学際的・総合的教育の実践：教育研究分野に対応した基幹科目の習得と専門性の深化と同時に、複数教員が連携して運営する複合的科目によって学際性の高い内容を提供、3) 国内外の最新の社会的ニーズに対応：社会的関心が高いテーマ（少子高齢化、防災安全安心、省資源、最新ICT技術）を選定する。また、講義で習得した知識を実践する場として「国際研究実習」を推奨し、グローバルかつ、広い視野を備えた人材育成をめざす。

博士後期課程では、博士前期課程修了者、および国内外から優秀な人材を求め、高度な研究遂行・計画実践能力をバランスよく運用できる総合力を育成することを主眼に教育を行う。

In the master's program, the curriculum is comprised of the following three points: 1) Emphasizes the 6-year program from undergraduate to the Master's program; Given the strong trend for students to seek employment after completing the Master's program, the department emphasizes the integrity of the 6-year academic program. 2) Practices interdisciplinary and comprehensive education; While furthering specialized knowledge with core subjects for the main themes in the academic research field, the program simultaneously offers a highly interdisciplinary education through composite subjects taught by multiple faculty members in collaboration to cultivate students with a comprehensive perspective. 3) Introducing the advanced research issues on human society; Themes that are of high social interest (declining birthrate and aging population, disaster prevention, safety, conserving resources, and advanced information communication technologies etc.) are provided, and multiple faculty members give lectures from the perspective of their specialty, followed by programs designed to further research.

In the doctoral program, this portion of the program is centered on students who have continued on from the Master's program, students who have continued on from other universities, and excellent students, with a focus on cultivating students with a well-balanced ability to conduct advanced research and execute plans as well as comprehensive knowledge.

● 先進理化学専攻 Division of Advanced Science and Engineering

○ 物理学コース Department of Physics 《理学系コース》

博士前期課程では、教育研究領域にとらわれず、物理学の幅広い知識の修得と基礎力を養成するため、解析力学、物性実験物理学、一般相対論、相対論的量子力学、ゲージ場の理論、凝縮系の場の理論Ⅰ、宇宙物理学概論、物性理論物理学を選択必修科目として、原則として1年次に2科目以上履修する。これらの選択必修科目の理解の上に立ち、各教育研究領域を深く学ぶことを目的として、選択科目を履修する。更に、学生の理解度に応じて、指導教員は博士後期課程用講義科目の履修を指導する。

博士後期課程では、専門的な習熟度を高める目的で講義科目を選択して履修する。

In the master's program, so that students can obtain a wide-ranging knowledge of and basic abilities in physics as a whole rather than becoming narrowly focused on a particular area, the following compulsory elective courses have been created: Analytical Dynamics, Experimental Solid State Physics, General Relativity, Relativistic Quantum Mechanics, Gauge Theories, Field Theory of Condensed Matter Physics I, Introduction to Astrophysics, and Theory of Condensed Matter Physics. As a rule, students take at least three of two courses in the first year. Building on the knowledge gained in the compulsory elective courses, students take elective courses for purposes of studying particular areas in depth. Moreover, in accordance with each student's level of progress, the student's academic advisors guide the student on taking seminars for the doctoral program.

In the doctoral program, students take elective courses for purposes of improving their specialized expertise.

○ 物質科学コース Department of Materials Science 《工学系コース》

共通基盤となる分子物理学特論（Ⅰ・Ⅱ）、表面物性特論、光物性科学特論といった基礎物性系科目の修得とともに、物理学的な専門性を目指す学生は磁性物質科学特論、量子多体物理学特論、量子輸送科学特論、先端光計測特論といった応用物理学系科目を、また化学的な専門性を目指す学生はディスプレイ工学、エネルギー変換物質科学、光機能性材料、分子光科学といった応用化学系科目を中心に履修し、物質科学・先端的光科学にまたがる広い研究分野を横断的に履修することを推奨する。物質科学を広い視野で俯瞰することで、優れた問題解決能力を有する人材を育成する。

博士後期課程では、物質科学に関する高度な研究の基盤となる学生参加型の講義を中心とし、特に国際的活動を強化する科目の履修を行う。多様な領域を融合した教育を行い、物質科学とそれを支える分野における高い課題発見能力と応用展開力、研究遂行能力をもつ人材を育成する。

In this master's program, the students acquire fundamental knowledge in the fields of Molecular Physics, Surface Physics and Optical Properties of Molecules. They may specialize in either the physical or chemical aspects, by choosing from a broad range of lectures including Magnetic Materials, Quantum Many-Body Physics, Quantum Transport in Nanostructure Systems, Advanced Optical Metrology, as well as Display Engineering, Materials Science on Energy Conversion, Photo-functional Materials and Molecular Photoscience. The program aims at creating talents with advanced capabilities in problem solving and application skills, who are able to carry out research in a material-related field.

The doctoral program covers the same research fields as the master's program. In the lectures, emphasis is put on student presentation and discussion which lay the foundation for advanced research in physics, physical chemistry and basic electronics engineering. Teaching units designed to enhance international activities are also offered. The program is designed for education and research in diversified and integrated engineering areas related to materials science, devices and systems. It aims at creating talents with advanced capabilities in problem solving, application skills and in producing research achievements in a material-related field.

○ 化学コース Department of Chemistry 《理学系コース》

博士前期課程では、教育研究領域にとらわれず、化学の幅広い学問的教育分野への関心と理解を促すため、比較入門的な授業（基礎物理化学－1, 2, 基礎無機・分析化学－1, 2, 基礎有機化学－1, 2, 基礎生化学－1, 2）と先進理化学専攻特別講義Ⅲa, Ⅲbが選択科目として開講されている。これらの専門的基礎科目の理解の上に立ち、各教育研究領域を深く学ぶことを目的として、上記以外の39科目の選択科目を履修する。また、多様な物質に接する機会をより多く得るために、特別演習Ⅰ、特別研究Ⅰを必修科目として履修する。

博士後期課程では、複数の領域における専門的基礎を習得できるように、1年次に博士前期課程との共通科目である基礎物理化学－1, 2, 基礎無機・分析化学－1, 2, 基礎有機化学－1, 2, 基礎生化学－1, 2と先進理化学専攻特別講義Ⅲa, Ⅲbを選択科目として設定してある。さらに専門的な習熟度を高める目的で他の31科目の専門科目（選択科目）を履修する。

In the master's program, in order to promote an interest in and understanding of chemistry as a whole rather than narrowly focusing on a particular area, Special Lecture on Advanced Science and Engineering -IIIa, -IIIb, and various relatively introductory courses have been established as electives: Basic Physical Chemistry-1, 2, Basic Inorganic and Analytical Chemistry-1, 2, Basic Organic Chemistry-1, 2, and Basic Biochemistry-1, 2. Building on the knowledge gained from these introductory courses, students take another 39 elective courses for purposes of studying particular areas in depth. So that students will have the opportunity to come in contact with diverse materials, they take Advanced Seminar I and Graduate Research I as compulsory courses.

In the doctoral program, so that students can master the fundamentals in multiple areas of chemistry, the following courses are offered, jointly with the master's program, in the first year: Basic Physical Chemistry-1, 2, Basic Inorganic and Analytical Chemistry-1, 2, Basic Organic Chemistry-1, 2, Basic Biochemistry-1, 2, and Special Lecture on Advanced Science and Engineering -IIIa, -IIIb. Moreover, students take 31 other specialized courses (electives) for purposes of improving their specialized expertise.

○ 共生応用化学コース Department of Applied Chemistry and Biotechnology 《工学系コース》

博士前期課程では、学部で修得した無機化学、有機化学、分析化学、そして物理化学についての基礎的かつ体系的な知識や考え方を一層深めるとともに、社会の課題へ具体的に適用し解決する能力を育成するための専門科目を設定している。これらの専門科目の理解のもと、各教育研究領域を深く学ぶことを目的として、特別演習Ⅰ、特別研究Ⅰを必修科目として履修する。また、研究成果を社会に還元する知識を養うための「実践知的財産権」という授業科目を設定している。

博士後期課程は、博士前期課程からの進学者のほか、社会人など、学外からの進学者にも門戸を開いている。本課程では、高度な研究遂行能力を有し、自立した研究者、技術者の育成を目指した教育を受けることができる。学生は所属する教育研究領域での専門性を深めるとともに、他の領域との連携により、広い視野を身につけることが可能となる。

In the master's program, in addition to further developing the fundamental and systematic knowledge and ways of thinking about organic chemistry, inorganic chemistry, analytical chemistry, and physical chemistry acquired in

the undergraduate program, courses are offered to cultivate the ability to specifically apply and resolve social issues. Based on understanding these courses, students take more specialized courses, Advanced Seminar I and Graduate Research I as compulsory courses, for purposes of studying particular areas in depth. In addition, the program also offers a course titled “Advanced Seminar in Intellectual Property Rights” intended to cultivate the knowledge necessary to soundly give back the results of their research to society.

In the doctoral program, in addition to students continuing on from the Master’s program, the program also welcomes students from outside the university, such as adult students. This course of study provides education with the aim of cultivating independent researchers and engineers with a high level of ability to pursue their research. In addition to furthering their specialized knowledge in the academic research area they are affiliated with, students have the opportunity to acquire broad perspectives through ties and collaboration with other areas.

○ 生物学コース Department of Biology 《理学系コース》

博士前期課程では、教育研究領域にとらわれず、生物学の幅広い分野への関心と理解を促し、知識の習得と基礎力を養成するため、分子生物学、生理化学、細胞生物学、発生生物学、生態学、系統学等の授業が開講されている。これらの専門的基礎科目の理解の上に立ち、各教育研究領域を深く学ぶことを目的として、その他の専門科目を履修すると共に、特別演習 I、特別研究 I を必修科目として履修する。

博士後期課程では、複数の領域における専門的な基盤を習得できるように、1 年次に博士前期課程との共通科目を選択科目として設定してある。さらに、専門的な習熟度を高める目的で、他の専門科目を選択して履修する。

In the master’s program, to promote an interest in and understanding of biology as a whole rather than focusing narrowly on a particular area, and to urge the acquisition of knowledge, various relatively introductory courses are offered, including Molecular Biology, Physiological Chemistry, Cell Biology, Developmental Biology, Ecology, and Phylogenetics. Based on the knowledge gained in these courses, students take more specialized courses for purposes of studying particular areas in depth. They also take Advanced Seminar I and Graduate Research I as compulsory courses.

In the doctoral program, so that students can learn the fundamentals in multiple areas of biology, various electives are offered in the first year as courses conducted jointly with the master’s program. Students also take other specialized electives for purposes of improving their specialized expertise.

○ 量子生命科学コース Department of Quantum Life Science 《理学系コース》

博士前期課程では、最新の量子技術と医学・薬学・生命科学・情報科学に関する幅広い知識の習得と基礎力を養成するため、量子センサー特論、量子神経科学、量子再生医工学、代謝診断治療学、量子認知脳科学、量子生命情報科学、量子生命計算科学、計算構造生命科学特論、物質変換特論、量子構造生物学、組織微細構造論、生体分子計測学特論、タンパク質機能学、抗体工学特論、放射光電子物性生命科学、基礎有機化学、生化学特論などの授業が開講されている。

これらの専門的基礎科目の理解の上に立ち、各教育研究領域を深く学ぶことを目的として、特別演習 I、特別研究 I を必修科目として履修する。

博士後期課程では、複数の領域における専門的な基盤を習得できるように、1 年次に博士前期課程との共通科目を選択科目として設定している。さらに、専門的な習熟度を高める目的で、他の専門科目を選択して履修する。

In the master’s program, students will acquire a wide range of knowledge and develop basic skills in the latest quantum technologies, medicine, pharmacy, life science, and information science. For that purpose, the following lectures are given: Advanced Study for Quantum Sensor, Quantum Neuroscience, Quantum Regenerative and Biomedical Engineering, Metabolotheanotics, Quantum Cognitive Neuroscience, Quantum Life Informatics, Quantum Life Computational Science, Computational Structure Life Science, Material Transformation Chemistry, Quantum Structural Biology, Advanced Lecture on Cell Biology, Advanced Lecture on Biomolecule Observation, Protein Functional Science, Advanced Lecture of Antibody Engineering, Electronic Properties of Biomolecules and Life Science Using Synchrotron Radiation, Basic Organic Chemistry, Advanced Biochemistry, and so on.

For further learning of each research area, students must take Graduate Seminar I and Graduate Research I as compulsory subjects based on an understanding of these specialized basic subjects.

In the doctoral program, elective subjects common to the master’s program are offered in the first year to enable students to acquire specialized knowledge in multiple fields. In addition, students select and take other specialized subjects to improve their professional proficiency.

● 創成工学専攻 Division of Creative Engineering

○ 建築学コース Department of Architecture 《工学系コース》

博士前期課程では、建築および都市の歴史、デザイン・プランニング、建築の構造および防災、環境・設備、生産（構法）などの総合的な学問および技術である建築学に関する幅広い視点を有し、総合的な技術・学問を実社会で応用できる高度専門技術者を養成するため、専門科目（建築・都市と人間の歴史、建築環境計画理論、構造信頼性理論、等）が開講されており 1 科目以上（2 単位以上）を履修する。これらの専門的基礎科目の理解の上に立ち、各教育研究領域を深く学ぶことを目的として、上記以外の専門科目を履修する。また、多様な社会的課題に接する機会をより多く得るために、特別演習 I、特別研究 I を必修科目として履修する。科目構成は学部 4 年生との連続

性を密にし、6年一貫教育を目指している。

博士後期課程では、主として建築学の専門研究者・技術者を養成する教育を行うため、講義としては教員が自己の専門領域について、専門性の高い講義を特論として行い、原則として隔年で開講する。なお、博士後期課程の教育は、指導教員個人あるいはグループによる研究指導が中心になる。

In the master's program, the purpose of this portion of the program is to nurture highly specialized engineers with broad perspectives on architecture, which is a comprehensive academic discipline and technology. Subject areas include the history of architecture and cities, design/planning, the structure of buildings and disaster prevention, environment and facilities, and production (methods of construction.) The program also provides a context of the education of students who are capable of applying their comprehensive skills and academic knowledge in real-world settings. Common specialized lectures (Architecture, Settlement and Human History, Building Physics & Environmental Planning and Structural Reliability, etc.) are being offered and one or more courses (2 credits or more) will be taken. Building on the knowledge gained from these introductory courses, students take another 9 or more elective courses for purposes of studying particular areas in depth. So that students will have the opportunity to come in contact with social issues, they take Advanced Seminar I and Graduate Research I as compulsory courses. The course structure is closely tied to the 4th year of the undergraduate program, with the aim of providing a 6-year integrated program together with the undergraduate program.

In the doctoral program, in order to educate mainly specialist researchers and engineers in the field of architecture, as a lecture, faculty members hold a special lecture on their own specialized areas, special lecture as a special thesis, which are held every other year in principle. The academic work is centered on individual research supervised by professor (s).

○ デザインコース Department of Design 《工学系コース》

博士前期課程では、幅広いデザイン領域を理解するために「人間－生活環境論、材料計画論」などの基盤科目群と、「文化計画論、デザインマネジメント論、生活環境デザイン論」などの応用科目群、さらに「海外大学アライアンスプログラム、デザイン・インターンシップ・プログラム、デザインPBL」などのグローバル展開科目群が開講されている。これらの科目の理解の上に立ち、各領域を深く学ぶことを目的として、その他の専門科目を履修すると共に、特別演習 I、特別研究 I を必修科目として履修する。

博士後期課程では、高度な専門性を修得するために、「人工物感性論、行動科学特論、行動環境デザイン論、人間情報科学特論、生理人類学、ケアデザイン論」などの専門科目群が開講されている。さらに、専門的な習熟度を高める目的で、他の専門科目を選択して履修する。

The master's program offers the core subjects of Human-Living Environment System, Theory of Materials Planning, the applied subjects of International Culture, Design Management, and Theory of Living Environmental Design, as well as the global expansion subjects of Design Alliance Program, Design Internship Program, Design PBL aiming for the acquisition of a high level of specialization in the field of design. Based on the knowledge gained in these courses, students take more specialized courses for purposes of studying particular areas in depth. They also take Advanced Seminar I and Graduate Research I as compulsory courses.

In the doctoral program, in order to acquire a higher level of specialization, students take the specialized subjects of Material Science in Artifact and Kansei, Topics in Behavioral Science, Behavioral Environment Design, Human Informatics, Physiological Anthropology, and Theory of Care Design. Students also take other specialized electives for purposes of improving their specialized expertise.

● 基幹工学専攻 Division of Fundamental Engineering

○ 機械工学コース Department of Mechanical Engineering 《工学系コース》

博士前期課程では、機械工学の基盤となる基礎知識と専門領域の学問を修得するため、「機械を構成する部材の材料・強度・変形」、「生産技術、加工システム・機械要素」、「輸送機器・ロボットなどのシステム制御、生物・生体の特性や機構を模倣した機器設計」、「最小エネルギーによる最大効率のための環境・熱流体エネルギー」に関する授業科目が開講されている。さらに、総括的に特別演習と特別研究を行い、問題発見能力と問題解決能力を養成する。

博士後期課程では、専門的な習熟度を高める目的で講義科目を選択して履修する。

In the master's program, in order to master the basic knowledge that serves as the foundation of mechanical engineering as well as their areas of specialization, the following courses have been created: "Materials/strength/deformation for the components that compose machines", "Production technology and processing systems/machine elements", "System control for transport machinery and autonomous robots, equipment design that imitates the characteristics and mechanisms of organisms and life forms" and "Environment/energy related thermos-fluid engineering for maximum efficiency with minimal energy". Special exercises and special research are conducted throughout the program to cultivate the ability to identify and resolve issues.

In the doctoral program, students take elective courses to raise their level of specialized expertise.

○ **医工学コース** **Department of Medical Engineering** 《工学系コース》

博士前期課程では、医工学の幅広い知識の修得と基礎力を養成するため、機械工学、電気電子工学、情報工学の基礎を修得したうえで、これらの工学的知識をさらに深めるとともに、医学・生物学を理解し、医工連携による臨床に役立つ機器開発のための講義科目を選択して履修することができる。また、生体医工学に関する実践的な教育研究を、フロンティア医工学センター医学研究院および附属病院等と緊密な連携により、必修科目の特別演習Ⅰ、特別研究Ⅰとして履修することができる。

博士後期課程では、専門的な習熟度を高める目的で講義科目を選択して履修する。

In the master's program, in order to impart broad knowledge and cultivate basic abilities in medial engineering, upon mastering the fundamentals of mechanical engineering, electrical and electronic engineering, and information engineering, students will learn to understand anatomical and biological functions, receiving education on the development of equipment with clinical uses through the collaboration between medicine and engineering. In addition, students take Advanced Seminar I and Graduate Research I as compulsory courses by close works with Center for Frontier Medical Engineering, Graduate School of medicine, University Hospital and other.

In the doctoral program, students take elective courses to raise their level of specialized expertise.

○ **電気電子工学コース** **Department of Electrical and Electronic Engineering** 《工学系コース》

学部での基礎的電気電子工学、および関連する機械工学、情報工学分野の学問領域を修得した上で、博士前期課程（修士）では電気システム工学、電子システム工学、情報通信工学の各領域に関係する専門科目をより深く理解し、幅広く社会で活躍できる人材の教育を行う。

博士後期課程では、主に電気電子工学コース博士前期課程（修士）からの進学者や学内外からの当該分野の志願者を中心に、電気電子工学を基盤とした研究開発を担う人材を育成するために、高度な課題解決能力と応用展開力、研究遂行能力を持つ人材を育成する。

Upon mastering the fundamentals of electrical and electronic engineering as well as the related disciplines of mechanical engineering and information engineering through undergraduate course work, students in the Master's program will gain a deeper understanding of specialized subjects related to electrical system engineering, electronic system engineering, and information and communication system engineering, becoming people capable of succeeding broadly within the society.

In the doctoral program, centered on students continuing on from the Master's program in Electrical and Electronic Engineering as well as students transferring into the program from both within the university and from other universities, the program will cultivate people with a high level of problem solving ability and the ability to apply their knowledge, as well as the ability to pursue their research in order to cultivate people who will undertake research and development based on electrical and electronic engineering.

教員一覧
(理学系コース)

List of Faculty Members in
Science Fields

教員の教育研究領域及び内容 Research areas and contents of faculty members

注 △は2029年3月31日定年退職となる教員である。Faculty members with mark △ will retire on March 31st, 2029.

○は2028年3月31日定年退職となる教員である。Faculty members with mark ○ will retire on March 31st, 2028.

◎は2027年3月31日定年退職となる教員である。Faculty members with mark ◎ will retire on March 31st, 2027.

AP : Associate Professor

AtP : Assistant Professor

VP : Visiting Professor

VAP : Visiting Associate Professor

数学情報科学専攻

Division of Mathematics and Informatics

数学・情報数理学コース Department of Mathematics and Informatics

コース Department	教育研究 領域 Area	職名 Title	氏 名 Name	専門分野・キーワード Keywords in Research Field
Mathematics and Informatics 数学・情報数理学	Algebra 代数	教授 Professor	大坪 紀之 OTSUBO Noriyuki	数論幾何学, モチーフ, 代数的サイクル, レギュレーター, ゼータ関数 Arithmetic Geometry, Motives, Algebraic Cycles, Regulators, Zeta Functions
		准教授 AP	松田 茂樹 MATSUDA Shigeki	整数論, 数論幾何学, 代数多様体, p 進解析, 分岐理論 Number Theory, Arithmetic Geometry, Algebraic Variety, p-adic Analysis, Ramification Theory
		准教授 AP	小寺 諒介 KODERA Ryosuke (情報戦略機構)	表現論, 量子群, 無限次元リー代数 Representation Theory, Quantum Groups, Infinite-dimensional Lie Algebras
		准教授 AP	佐藤 謙太 SATO Kenta	代数幾何学, 可換環論, 特異点, 正標数 Algebraic Geometry, Commutative Ring Theory, Singularity, Positive Characteristic
	Geometry 幾何	教授 Professor	○今井 淳 IMAI Jun	大域幾何, メビウス幾何, 結び目 Global Geometry and Integral Geometry, Geometric Knot Theory, Möbius Geometry
		教授 Professor	梶浦 宏成 KAJIURA Hiroshige	代数トポロジー, ホモトピー代数, 導来圏, 弦理論 Algebraic Topology, Homotopy Algebras, Derived Categories, String Theory
		准教授 AP	二木 昌宏 FUTAKI Masahiro	微分トポロジー, シンプレクティック幾何, 深谷圏, ミラー対称性 Differential Topology, Symplectic Geometry, Fukaya Category, Mirror Symmetry
		准教授 AP	前田 瞬 MAETA Shun (教育学部)	微分幾何学, 幾何解析, 情報幾何学 Differential Geometry, Geometric Analysis, Information Geometry
	Analysis 基礎解析	教授 Professor	△岡田 靖則 OKADA Yasunori	代数解析学, 超局所解析, 超関数論, カップリング理論 Algebraic Analysis, Microlocal Analysis, Generalized Functions, Theory of Couplings
		准教授 AP	廣恵 一希 HIROE Kazuki	代数的微分方程式, 表現論 Algebraic Differential Equations, Representation Theory
	Applied Analysis 応用解析	教授 Professor	前田 昌也 MAEDA Masaya	非線形偏微分方程式, ソリトン, 作用素論, 調和解析 Nonlinear Partial Differential Equations
		教授 Professor	白川 健 SHIRAKAWA Ken (教育学部)	非線形解析学, 変分学, 劣微分作用素方程式論, 安定性解析 Nonlinear Analysis, Calculus of Variations, Theory of Evolution Equations governed by Subdifferentials, Stability Analysis
		准教授 AP	佐々木 浩宣 SASAKI Hironobu	非線形偏微分方程式, 初期値問題, 散乱理論, 調和解析 Nonlinear Partial Differential Equations, Harmonic Analysis, Nonlinear Scattering Problems
		准教授 AP	安藤 浩志 ANDO Hiroshi	作用素環論, 作用素論 Operator Algebra Theory, Operator Theory
		准教授 AP	石田 祥子 ISHIDA Sachiko	非線形偏微分方程式, 初期値問題 Nonlinear Partial Differential Equation, Initial Value Problem

コース Department	教育研究 領域 Area	職名 Title	氏 名 Name	専門分野・キーワード Keywords in Research Field
数学・情報数理学 Mathematics and Mathematical Informatics	確率・統計 Probability and Statistics	教授 Professor	井上 玲 INOUE Rei	数理物理学, 可積分系, 代数幾何, クラスター代数 Mathematical Physics, Integrable Systems, Algebraic Geometry, Cluster Algebra
		教授 Professor	今村 卓史 IMAMURA Takashi	確率論, 数理物理学 Probability Theory, Mathematical Physics
		教授 Professor	丸山 祐造 MARUYAMA Yuzo	数理統計学, データサイエンス Mathematical Statistics, Data Science
	情報数理 Mathematical Informatics	教授 Professor	山本 光晴 YAMAMOTO Mitsuharu	形式的検証, 数理的技法, 証明検証系, モデル検査, 検証における抽象化 Formal Verification, Proof Assistants, Model Checking, Abstraction in Verification
		教授 Professor	萩原 学 HAGIWARA Manabu	符号理論, 情報理論, 誤り訂正, 数え上げ, 組合せ論 Coding Theory, Information Theory, Error-Correction, Enumeration, Combinatorics
		教授 Professor	多田 充 TADA Mitsuru (情報戦略機構)	計算量理論, 代数的アルゴリズム, 離散数学, 暗号理論, 情報セキュリティ Theory of Computational Complexity, Algebraic Algorithm, Discrete Mathematics, Cryptography, Information Security
		教授 Professor	塚田 武志 TSUKADA Takeshi	プログラム意味論, 型システム, プログラム検証 Program Semantics, Type System, Program Verification

コース Department	教育研究 領域 Area	職名 Title	氏 名 Name	専門分野・キーワード Keywords in Research Field
Earth Sciences 地球科学	Earth Interior Sciences 地球内部科学	教授 Professor	◎佐藤 利典 SATO Toshinori	地震学, 海底地震学, 地震発生論, 沈み込み帯, 地震波速度構造, 地震サイクルモデル Seismology, Ocean bottom seismology, Earthquake generation process, Subduction zones, Seismic velocity structures, Earthquake cycle model
		教授 Professor	服部 克巳 HATTORI Katsumi	地球物理学, 地球電磁気学, 自然災害科学, 電磁気による地殻変動監視・予測, 信号処理 Geophysics, Geoelectromagnetism, Natural Hazards, Crustal Activity Monitoring/Forecast using Electromagnetic Approaches, Lithosphere-Atmosphere-Ionosphere Coupling, Signal and Image Processing on Geophysical data
		教授 Professor	○中西 正男 NAKANISHI Masao	地球物理学, 海洋底地球科学, 海底地形, 地磁気, 重力, 西太平洋, プレートテクトニクス Geophysics, Ocean floor geoscience, Bathymetry, Geomagnetism, Gravity, Western Pacific Ocean, Plate tectonics
		准教授 AP	津村 紀子 TSUMURA Noriko	地球物理学, 地震学, 地震波減衰構造, 反射法地震探査, 沈み込み帯, 衝突帯 Geophysics, Seismology, Seismic attenuation structure, Seismic reflection survey, Subduction zone, Collision zone
		准教授 AP	市山 祐司 ICHIYAMA Yuji	岩石学, 地質学, 火成岩, マントル, オフィオライト, マグマの発生 Petrology, Geology, Igneous rocks, Mantle, Ophiolite, Magma genesis
		客員教授 VP	阿部 信太郎 ABE Shintaro (産業技術総合研究所)	反射法地震探査, 地殻構造 Seismic reflection survey, Crustal structure
		客員教授 VP	伊藤 久敏 ITO Hisatoshi (電力中央研究所)	放射年代測定, 同位体地球化学, 第四紀 Radiometric dating, Isotope geochemistry, Quaternary
		客員教授 VP	石塚 治 ISHIZUKA Osamu (産業技術総合研究所)	火山岩, 年代測定, 海洋調査, 地球化学, テクトニクス Volcanic rocks, dating, marine geological survey, geochemistry, tectonics

コース Department	教育研究 領域 Area	職名 Title	氏 名 Name	専門分野・キーワード Keywords in Research Field
Earth Sciences 地球科学	Earth Surface Sciences 地球表層科学	教授 Professor	竹内 望 TAKEUCHI Nozomu	雪氷生物, 氷河, アイスコア, 生命地球相互作用, 極限環境生物, 地球環境問題 Glacial biology, Glaciology, Ice core study, Biogeochemistry, Environmental science
		教授 Professor	○亀尾 浩司 KAMEO Koji	微化石層序学, 古海洋学, 石灰質ナノ化石, ナンノプランクトン, 地質年代 Microfossil biostratigraphy and paleontology, Paleocceanography, Calcareous nannofossils, Geologic age
		准教授 AP	戸丸 仁 TOMARU Hitoshi	地球化学, 同位体, 物質環境, 間隙水, ガス, ヨウ素, メタンハイドレード Geochemistry, Isotope, Material cycle, Interstitial water, Gas, Iodine, Methane hydrate
		准教授 AP	石田 章純 ISHIDA Akizumi	アストロバイオロジー, 生命起源地球化学, 鉱床生命進化学, Astrobiology, Precambrian Geology
		准教授 AP	石村 大輔 ISHIMURA Daisuke	変動地形学, 第四紀地質学, 古地震, 活断層, 津波, テフラ Tectonic geomorphology, Quaternary geology, Paleoseismology, Active fault, Tsunami, Tephra
		客員教授 VP	森川 徳敏 MORIKAWA Noritoshi (産業技術総合研究所)	地下水, 深部流体, 地球化学, 地下水年代, 希ガス Groundwater, Deep fluid, Geochemistry, Groundwater age, Noble Gas
		客員教授 VP	高野 修 TAKANO Osamu (石油資源開発株式会社)	堆積学, シーケンス層序学, 堆積盆解析, 堆積盆テクトニクス, 石油地質学, 堆積物モデリング Sedimentology, Sequence stratigraphy, Sedimentary basin analysis, Tectonics of sedimentary basins, Petroleum geology, Sediment body modeling

先進理化学専攻 Division of Advanced Science and Engineering

物理学コース Department of Physics

本コースでは教育研究領域を以下の10分野に細分し、それらを機能的に運営することで、物理学の多彩な分野に対応しています。

教育研究領域 AREA	分野 SUBAREA
素粒子宇宙物理学 Elementary Particle Physics and Astrophysics	素粒子理論, 素粒子実験, ニュートリノ天文学, 加速器・医学物理学, 宇宙物理学 Theoretical Particle Physics, Experimental Particle Physics, High Energy Neutrino Astrophysics, Accelerator and Medical Physics, Astrophysics
量子多体系物理学 Quantum Many-Body Physics	原子核物理学, 物性理論 Nuclear Physics, Condensed-matter Theory
凝縮系物理学 Condensed Matter Physics	電子物性物理学, 光物性・量子伝導物理学, 非線形・ソフトマター物理学 Materials Physics, Solid State Spectroscopy and Quantum Transport, Nonlinear Physics and Soft Matter Physics

教育研究領域：素粒子宇宙物理学

AREA : Elementary Particle Physics and Astrophysics

コース Department	分野 Subarea	職名 Title	氏 名 Name	専門分野・キーワード Keywords in Research Field
物理学 Physics	素粒子理論 Theoretical Particle Physics	准教授 AP	山田 篤志 YAMADA Atsushi	場の理論, 格子場の理論, くりこみ Quantum Field Theory, Lattice field theory, renormalization
		准教授 AP	北原 鉄平 KITAHARA Teppei	素粒子理論, 素粒子現象論, フレーバー物理, CP対称性の破れ Elementary particle theory, Particle physics phenomenology, Flavor physics, CP violation
	素粒子実験 Experimental Particle Physics	准教授 AP	有賀 昭貴 ARIGA Akitaka	素粒子, ニュートリノ実験, 高エネルギー物理学, 新物理探索 Elementary particle physics, neutrino experiment, high energy physics, new physics searches
	宇宙観測実験 Experimental Astrophysics	教授 Professor	吉田 滋 YOSHIDA Shigeru (ハドロン宇宙国際研究センター)	ニュートリノ天文学, 宇宙線, 天体物理学, 素粒子, 光検出器 neutrino astronomy, cosmic ray, astrophysics, elementary particle, photodetector
		教授 Professor	石原 安野 ISHIHARA Aya (国際高等研究基幹)	ニュートリノ天文学, 宇宙線, 天文物理学, 素粒子, 光検出器 neutrino astronomy, cosmic ray, astrophysics, elementary particle, photodetector
		准教授 AP	野田 浩司 NODA Koji (国際高等研究基幹)	ニュートリノ天文学, 宇宙線, 天文物理学, 素粒子, 光検出器, ガンマ線天文学 neutrino astronomy, cosmic ray, astrophysics, elementary particle, photodetector, Gamma-ray astronomy
	加速器・医学物理学 Accelerator and Medical Physics※	客員教授 VP	福田 茂一 FUKUDA Shigekazu (量子科学技術研究開発機構)	重イオン加速器, 重粒子線がん治療, 放射線計測 heavy ion accelerator, heavy ion cancer treatment, radiation measurement
		客員准教授 VAP	田中 創大 TANAKA Sodai (量子科学技術研究開発機構)	陽子線イメージング, 重粒子線治療, 放射線計測 proton computed tomography, heavy ion treatment, radiation measurement
	宇宙物理学 Astrophysics	教授 Professor	大栗 真宗 OGURI Masamune (先進科学センター)	宇宙物理学, 宇宙論, ダークマター, ダークエネルギー, 重力レンズ astrophysics, cosmology, dark matter, dark energy, gravitational lensing
		教授 Professor	久徳 浩太郎 KYUTOKU Koutarou	宇宙物理学, 重力波, 中性子星, ブラックホール, 一般相対論 astrophysics, gravitational waves, neutron star, black hole, general relativity
		准教授 AP	松本 洋介 MATSUMOTO Yosuke (国際高等研究基幹)	宇宙・天体プラズマ物理学, 粒子加速, 大規模数値シミュレーション astrophysical plasma, particle acceleration, numerical simulation

※素粒子実験研究室と連携指導 (Cotutelle with experimental particle physics)

教育研究領域：量子多体系物理学

AREA :Quantum Many-Body Physics

コース Department	分野 Subarea	職名 Title	氏 名 Name	専門分野・キーワード Keywords in Research Field
Physics 物理学	Nuclear 原子核物理学	教授 Professor	○中田 仁 NAKADA Hitoshi	原子核構造論, 原子核反応論, 不安定原子核, 有効相互作用 nuclear structure theory, nuclear reaction theory, unstable nuclei, effective interaction
	Condensed-matter 物性理論	教授 Professor	佐藤 正寛 SATO Masahiro	スピントロニクス, 光物性科学, 熱輸送, 非平衡物理学, 量子磁性, トポロジカル量子系, 場の理論 spintronics, optical physics, thermal transport, non-equilibrium physics, quantum magnetism, topological matter, field theories
		准教授 AP	星野 晋太郎 HOSHINO Shintaro	強相関電子系, 超伝導, 相対論的量子論, 多軌道系・多極子, 重い電子系 strongly correlated electron systems, superconductivity, relativistic quantum theory, multiorbital/multipole, heavy electron systems

教育研究領域：凝縮系物理学

AREA :Condensed Matter Physics

コース Department	分野 Subarea	職名 Title	氏 名 Name	専門分野・キーワード Keywords in Research Field
Physics 物理学	Materials 電子物性物理学	准教授 AP	△大濱 哲夫 OHAMA Tetsuo	電子相関, NMR, 量子情報 electron correlations, NMR, quantum information
		准教授 AP	深澤 英人 FUKAZAWA Hideto	超伝導, 金属磁性, NMR, μ SR, 低温, 高圧 superconductivity, magnetism, NMR, μ SR, low temperature, High Pressure

コース Department	分野 Subarea	職名 Title	氏 名 Name	専門分野・キーワード Keywords in Research Field
物理学 Physics	Solid State Spectroscopy and Quantum Transport 光物性・量子伝導物理学	教授 Professor	音 賢一 OTO Kenichi	量子伝導, 半導体物理学, 極低温, 強磁場, 光渦, 量子ホール効果 Quantum transport, Semiconductor physics, Low temperatures below 1 K, High magnetic fields
		教授 Professor	山田 泰裕 YAMADA Yasuhiro	光物性, 超高速レーザー分光, ナノ構造, キャリア多体効果, 光電変換 Spectroscopy, Ultrafast laser spectroscopy, Nanostructure, Multiple carrier interaction, Photon-electron conversion, Metal halide perovskites
		教授 Professor	三野 弘文 MINO Hirofumi (国際学術研究院)	半導体光物性, 非線形分光, 超高速分光, 極低温, 強磁場, 励起子, スピン Optical Properties and Spectroscopy of Semiconductors, Nonlinear spectroscopy, Ultrafast spectroscopy, Low temperature, High magnetic fields, Exciton, Spin
	Nonlinear Physics and Soft Matter Physics 非線形・ソフトマター物理	教授 Professor	北畑 裕之 KITAHATA Hiroyuki	非線形・非平衡物理学・ソフトマター物理学, パターン形成, アクティブマター nonlinear nonequilibrium physics, softmatter, pattern formation, active matter

先進理化学専攻 Division of Advanced Science and Engineering

化学コース Department of Chemistry

教育研究領域：基盤物質化学

AREA : Basic Materials Science

コース Department	分野 Subarea	職名 Title	氏 名 Name	専門分野・キーワード Keywords in Research Field
Chemistry 化学	Physical Chemistry 物理化学	教授 Professor	泉 康雄 IZUMI Yasuo	光触媒, CO ₂ 光還元, X線分光, 持続可能化学 Photocatalysis, CO ₂ Photoreduction, X-ray spectroscopy, sustainable chemistry
		教授 Professor	城田 秀明 SHIROTA Hideaki	レーザー分光, 振動分光, 溶液化学, イオン液体, 機能性液体 laser spectroscopy, vibrational spectroscopy, solution chemistry, ionic liquid, functional fluid
		准教授 AP	大場 友則 OHBA Tomonori	ナノ空間・界面科学・小分子集団構造と挙動, 分子シミュレーション molecular nanochemistry, molecular structure and dynamics, molecular simulation
		准教授 AP	小西 健久 KONISHI Takehisa	X線吸収分光, 光電子分光, 固体物性, 物理化学 X-ray absorption spectroscopy, photoelectron spectroscopy, solid state physics, physical chemistry
		准教授 AP	森田 剛 MORITA Takeshi	構造のゆらぎ, 小角散乱, 超臨界流体, 液体 structural fluctuation, small-angle scattering, supercritical fluid, liquid
		准教授 AP	二木 かおり NIKI Kaori	表面科学理論, 固体物性理論, 電子状態計算 surface science, solid state physics, electronic structure calculation
	Inorganic and Analytical Chemistry 無機・分析化学	教授 Professor	勝田 正一 KATSUTA Shoichi	ホスト・ゲスト化学, 錯形成反応, 溶媒抽出, 分離・分析化学, 機能性錯体, イオン液体 Host-Guest Chemistry, Complex Formation, Solvent Extraction, Separation & Analytical Chemistry, Functional Complex, Ionic Liquid
		准教授 AP	沼子 千弥 NUMAKO Chiya	X線分析, 環境物質, 非破壊状態分析, 生体鉱物, 無機固体化学 X-ray Analyses, Environmental Materials, Non-destructive Analysis, Biominerals, Inorganic Solid State Chemistry

教育研究領域：機能物質化学

AREA : Basic Materials Science

コース Department	分野 Subarea	職名 Title	氏 名 Name	専門分野・キーワード Keywords in Research Field
Chemistry 化学	Organic Chemistry 有機化学	教授 Professor	荒井 孝義 ARAI Takayoshi	有機合成化学, 触媒的不斉反応, 動的立体化学, 分子認識, コンビナトリアル化学 Synthetic Organic Chemistry, Catalytic Asymmetric Reaction, Dynamic Stereochemistry, Molecular Recognition, Combinatorial Chemistry
		教授 Professor	吉田 和弘 YOSHIDA Kazuhiro	有機合成化学, 有機金属化学, 遷移金属化学, 不斉合成 Synthetic Organic Chemistry, Organometallic Chemistry, Transition Metal Chemistry, Asymmetric Synthesis
		准教授 AP	森山 克彦 MORIYAMA Katsuhiko	有機合成化学, 有機ヨウ素化学, 環境低負荷型反応, 不斉触媒反応 Synthetic Organic Chemistry, Organic Iodine Chemistry, Environmentally Benign Synthetic Organic Chemistry, Asymmetric Catalytic Reaction
		准教授 AP	飯田 圭介 IIDA Keisuke	有機合成化学, 触媒化学, ケミカルバイオロジー Synthetic Organic Chemistry, Catalytic Chemistry, Chemical Biology
	Biochemistry 生命化学	教授 Professor	村田 武士 MURATA Takeshi	膜タンパク質, 超分子複合体, X線結晶構造解析, 創薬 Transmembrane protein, Supramolecular complex, X-ray crystallography, Drug discovery
		准教授 AP	○米澤 直人 YONEZAWA Naoto	糖タンパク質, タンパク質複合体, 細胞外マトリックス, 受精, 生殖生化学 Glycoprotein, Protein complex, Extracellular matrix, Fertilization, Biochemistry of Reproduction
		准教授 AP	小笠原 諭 OGASAWARA Satoshi (国際高等研究基幹)	タンパク質構造・機能, 抗体工学 Protein structure & function, Antibody engineering
		特任准教授 AP	安田 賢司 YASUDA Satoshi	タンパク質の折り畳み・安定性, 溶媒和エントロピー, 水素結合 Protein folding & stability, Solvation entropy, Hydrogen bond

先進理化学専攻 Division of Advanced Science and Engineering
生物学コース Department of Biology

コース Department	教育研究 領域 Area	職名 Title	氏 名 Name	専門分野・キーワード Keywords in Research Field
Biology 生物	分子細胞生物学 Molecular Cell Biology	教授 Professor	△浦 聖恵 URA Kiyoe	染色体, クロマチン, ヒストン, DNA代謝, 転写制御, DNA損傷修復 Chromosome, Chromatin, Histon, DNA metabolism, Transcriptional regulation, Repair of DNA damage
		教授 Professor	松浦 彰 MATSUURA Akira	分子細胞生物学, ゲノム動態, 染色体構造, テロメア, がん, 老化, 細胞周期制御 Molecular Cell Biology, Genome dynamics, Chromosome structure, Telomere, Cancer, Senescence, Cell cycle regulation
		教授 Professor	伊藤 光二 ITO Kohji	モータータンパク質, ミオシン, キネシン, 酵素キネティクス, 生化学, 遺伝子工学, 細胞骨格 Motor protein, Myosin, Kinesin, Kinetics, Biochemistry, Molecular Biology, Cytoskeleton
		教授 Professor	板倉 英祐 ITAKURA Eisuke	オートファジー, タンパク質品質管理, タンパク質分解, リソソーム Autophagy, Protein quality control system, Protein degradation, Lysosome
		准教授 AP	石川 裕之 ISHIKAWA Hiroyuki	細胞生物学, 発生遺伝学, 成長, 細胞極性, 細胞間シグナル伝達, ゴルジ体キナーゼ, ショウジョウバエ Cell Biology, Developmental Genetics, Growth, Cell polarity, Intercellular signaling, Golgi kinase, Drosophila
		准教授 AP	小笠原 道生 OGASAWARA Michio	進化発生, 脊索動物, 咽頭, 遺伝子発現, ポストゲノム, オルガノジェネシス Evolutionary Developmental Biology, Pharynx, Gene expression, Post-genome, Organogenesis
		准教授 AP	佐藤 成樹 SATO Naruki	筋発生, 細胞融合, ミオシン結合タンパク質, 細胞接着, 筋収縮 Muscle development, Myofibrillar protein, Muscle contraction, Cell adhesion
		准教授 AP	佐々 彰 SASSA Akira	ゲノム生物学, 自然免疫, DNA損傷修復, クロマチン, RNA修飾 Genome biology, Innate immunity, DNA damage repair, Chromatin, RNA modification
		客員教授 VP	松本 謙一郎 MATSUMOTO Kenichiro (量子科学技術研究開発機構)	フリーラジカル計測, 電子常磁性共鳴, 磁気共鳴画像, 酸素, 活性酸素, 酸化ストレス Free radical measurement, Electron paramagnetic resonance (EPR), Magnetic resonance imaging, Oxygen, Reactive oxygen, Oxidative stress
		客員教授 VP	川島 祐介 KAWASHIMA Yusuke (かずさDNA研究所)	プロテオミクス, 質量分析, 生物物理学, 分析化学, 臨床化学 Proteomics, Mass Spectrometry, Biophysics, Analytical Chemistry, Clinical Chemistry
		客員教授 VP	王 冰 WANG Bing (量子科学技術研究開発機構)	電離放射線, 放射線適応応答, 放射線防護剤, 実験動物 Ionizing radiation, Radioadaptive response, Radioprotector, Experimental animals
		客員准教授 VAP	臺野 和広 DAINO Kazuhiro (量子科学技術研究開発機構)	がん, ゲノム, 放射線生物学, 重粒子線治療 Carcinogenesis, Genome, Radiation biology, Heavy particle therapy

コース Department	教育研究 領域 Area	職名 Title	氏 名 Name	専門分野・キーワード Keywords in Research Field
生物学 Biology	多様性生物学 Biodiversity	教授 Professor	富樫 辰也 TOGASHI Tatsuya (海洋バイオシステム 研究センター)	海洋生物学, 進化生態学, 性淘汰, 有性生殖, 異型配偶 Marine Biology, Evolutionary Ecology, Sexual selection, Sexual reproduction, Anisogamy
		教授 Professor	村上 正志 MURAKAMI Masashi	群集生態学, 生物多様学, 群集集合, 群集動態, 動物群集, 微生物群集 Ecological Community, Biodiversity, Community Assembly, Dynamics, Animal Community, Microbes
		准教授 AP	朝川 毅守 ASAKAWA Takeshi	古生物学, 植物系統学, 分子系統地理, 裸子植物, ゴンドワナ, 偽遺伝子 Paleobotany, Phylogeny, Phylogeography, Gymnosperm, Gondwana, Pseudogene
		准教授 AP	高橋 佑磨 TAKAHASHI Yuma	生態学, 進化学, 遺伝的多様性, 個体群動態 Ecology, Evolutionary Biology, Genetic diversity, Population dynamics

コース Department	教育研究 領域 Area	職名 Title	氏 名 Name	専門分野・キーワード Keywords in Research Field
Quantum Life Science 量子生命科学	量子計測ナノ 科学 Quantum Nanosensing	客員教授 VP	五十嵐 龍治 IGARASHI Ryuji	量子センシング, 1 分子計測, 細胞内計測, ナノテクノロジー, ナノ化学 Quantum sensing, Single-molecule measurement, Intracellular measurement, Nanotechnology, Nanochemistry
		客員准教授 VAP	田桑 弘之 TAKUWA Hiroyuki	脳科学, 脳機能イメージング, 量子センサ, 神経回路, 脳循環代謝, 脳疾患 Brain science, Brain functional imaging, Quantum sensor, Neural circuit, Cerebral circulation and metabolism, Brain disease
	量子医学 Quantum Medical Engineering	客員教授 VP	湯川 博 YUKAWA Hiroshi	ナノ量子センサ, イメージング診断治療, 幹細胞, オルガノイド, 再生医学, 炎症再生 Nano-quantum Sensors, Imaging Theranostics, Stem cells, Organoid, Regenerative and Biomedical Engineering, Inflammation and Regeneration
		客員教授 VP	高草木 洋一 TAKAKUSAGI Yoichi	生体医学, 創薬科学, 超偏極, 動的核偏極, 磁気共鳴, 代謝, 診断治療 Biomedical Engineering, Pharmaceutical Science, Hyperpolarization, Dynamic Nuclear Polarization (DNP), Magnetic Resonance, Metabolism, Theranostics
	量子認知・ 神経情報科学 Quantum Cognitive Neuroscience and Neuroinformatics	客員教授 VP	山田 真希子 YAMADA Makiko	認知脳科学, 脳, 意識, 主観の経験, 認知バイアス, 量子認知 Cognitive Neuroscience, Brain, Consciousness, Subjective experience, Cognitive bias, Quantum cognition
		客員教授 VP	八幡 憲明 YAHATA Noriaki	計算論の神経科学, 神経情報科学, 脳神経画像, 脳情報解読, 人工知能, 量子着想機械学習, 量子確率論 Computational neuroscience, Neuroinformatics, Neuroimaging, Neural decoding, Artificial intelligence, Quantum-inspired machine learning, Quantum probability theory
	量子構造生物学 Quantum Structural Biology	客員教授 VP	玉田 太郎 TAMADA Taro	構造生物学, 中性子, X線, 精密構造, 水素, ダイナミクス Structural biology, Neutron, X-ray, Precise structure, Hydrogen, Dynamics
		客員准教授 VAP	平野 優 HIRANO Yu	構造生物学, 中性子, X線, 高分解能, 水素, 外殻電子 Structural biology, Neutron, X-ray, High resolution, Hydrogen, Valence electron
	量子生命計算科学 Quantum Life Computational Science	客員教授 VP	河野 秀俊 KONO Hidetoshi	計算生命科学, 分子モデリング, 分子シミュレーション, DNA, クロマチン, タンパク質-DNA相互作用 Computational Life Science, Molecular modeling, Molecular simulation, DNA, Chromatin, Protein-DNA interaction
		客員准教授 VAP	櫻庭 俊 SAKURABA Shun	計算生命科学, 生体分子シミュレーション, 分子動力学, 機械学習, 自由エネルギー計算, タンパク質の合理的設計 Computational Life Science, Biomolecular simulation, Molecular dynamics, Machine learning, Free-energy calculation, Rational protein design
	タンパク質 機能科学 Protein Quantum Functional Science	客員教授 VP	安達 基泰 ADACHI Motoyasu	タンパク質科学, タンパク質機能, 量子生物学, 分子分光学, 分子構造 Protein science, Protein function, Quantum biology, Molecular spectroscopy, Molecular structure

コース Department	教育研究 領域 Area	職名 Title	氏 名 Name	専門分野・キーワード Keywords in Research Field
量子生命科学 Quantum Life Science	Biochemistry 生命化学	教授 Professor	村田 武士 MURATA Takeshi	膜タンパク質, 超分子複合体, 立体構造解析, 創薬 Membrane proteins, Supramolecular complex, Structural analysis, Drug discovery
		准教授 AP	小笠原 諭 OGASAWARA Satoshi (国際高等研究基幹)	タンパク質構造・機能, 抗体工学 Protein structure & function, Antibody engineering
		特任准教授 AP	安田 賢司 YASUDA Satoshi	タンパク質の折り畳み・安定性, 溶媒和エントロピー, 水素結合 Protein folding & stability, Solvation entropy, Hydrogen bond
		特任准教授 AP	石綿 整 ISHIWATA Hitoshi	量子計測工学, 量子材料工学, 生物物理, 細胞生物学, タンパク質工学 Quantum Measurement, Quantum Materials, biophysics, cellular biology, protein engineering
	Organic Chemistry 有機化学	教授 Professor	吉田 和弘 YOSHIDA Kazuhiro	有機合成化学, 有機金属化学, 遷移金属化学, 不斉合成 Synthetic Organic Chemistry, Organometallic Chemistry, Transition Metal Chemistry, Asymmetric Synthesis
		准教授 AP	森山 克彦 MORIYAMA Katsuhiko	有機合成化学, 有機ヨウ素化学, 環境低負荷型反応, 不斉触媒反応 Synthetic Organic Chemistry, Organic Iodine Chemistry, Environmentally Benign Synthetic Organic Chemistry, Asymmetric Catalytic Reaction
	Molecular Cell Biology 分子細胞生物学	教授 Professor	伊藤 光二 ITO Kohji	モータータンパク質, ミオシン, キネシン, 酵素キネティクス, 生化学, 遺伝子工学, 細胞骨格 Motor protein, Myosin, Kinesin, Kinetics, Biochemistry, Molecular Biology, Cytoskeleton
		教授 Professor	板倉 英祐 ITAKURA Eisuke	オートファジー, タンパク質品質管理, タンパク質分解, リソソーム Autophagy, Protein quality control system, Protein degradation, Lysosome

教員一覧
(工学系コース)

List of Faculty Members in
Engineering Fields

注 △は2029年3月31日定年退職となる教員である。Faculty members with mark △ will retire on March 31st, 2029.
○は2028年3月31日定年退職となる教員である。Faculty members with mark ○ will retire on March 31st, 2028.
◎は2027年3月31日定年退職となる教員である。Faculty members with mark ◎ will retire on March 31st, 2027.

AtP: Assistant Professor

VAP: Visiting Associate Professor

コース Department		職名 Title	氏 名 Name	専門分野・キーワード Keywords in Research Field
リモートセンシング Environmental Remote Sensing	教授 Prof.	J.T.スリ スマンティヨ J.T.SRI SUMANTYO (環境リモートセンシング*研究センター)	マイクロ波リモートセンシング, 合成開口レーダ, 電波工学, レーダ画像信号処理, 画像情報解析, 小型衛星 Microwave Remote Sensing, Synthetic Aperture Radar, Electromagnetic Waves Engineering, Radar Image Signal Processing, Image Information Analysis, Small Satellite	
	教授 Prof.	市井 和仁 ICHII Kazuhito (環境リモートセンシング*研究センター)	陸域生態系, 気候変動, 炭素循環, 数値モデル, 機械学習 Terrestrial Biosphere, Climate Change, Carbon Cycle, Numerical Modeling, Machine Learning	
	教授 Prof.	小槻 峻司 KOTSUKI Shunji (国際高等研究基幹)	データ同化, 予測科学, 天気予報, 水文学, 機械学習, 気候変動 Data Assimilation, Prediction Science, Weather Prediction, Hydrology, Machine Learning, Climate Change	
	教授 Prof.	入江 仁士 IRIE Hitoshi (環境リモートセンシング*研究センター)	大気環境学, 気象学, 衛星・地上リモートセンシングの融合, 国際地上観測網, 気候変動 Atmospheric Environment, Meteorology, Synergistic Use of Space- and Ground-based Remote Sensing, International Ground-based Observation Network, Climate Change	
	教授 Prof.	樋口 篤志 HIGUCHI Atsushi (環境リモートセンシング*研究センター)	水文学, 衛星気候学, 大気陸面相互作用 Hydrology, Satellite Climatology, Land-Atmosphere Interactions	
	准教授 AP	◎本郷 千春 HONGO Chiharu (環境リモートセンシング*研究センター)	食料生産生態系診断リモートセンシング, 空間情報実利用研究 Environmental Sciences and Food Production by Remote Sensing, Implementation of Spatial Information	
	准教授 AP	齋藤 尚子 SAITOH Naoko (環境リモートセンシング*研究センター)	大気科学, 衛星リモートセンシング Atmospheric Science, Satellite Remote Sensing	
	助教 AtP	楊 偉 YANG Wei (環境リモートセンシング*研究センター)	水域リモートセンシング, 陸域リモートセンシング, 環境モデリング, 生態系生態学 Aquatic Remote Sensing, Terrestrial Remote Sensing, Environmental Modeling, Ecosystem Ecology	

コース Department	職名 Title	氏 名 Name	専門分野・キーワード Keywords in Research Field
Urban Environment Systems 都市環境システム	教授 Prof.	村木 美貴 MURAKI Miki	都市計画, サステナブルデベロップメント, PPP, エリアマネジメント Town Planning, Sustainable development, Public-private-partnerships, Area management
	准教授 AP	森永 良丙 MORINAGA Ryohei	建築計画, 都市居住計画, コミュニティデザイン, 市民参加型計画, 住まい・まちづくり Community design, User participation, Urban housing, Process design, Architectural planning
	准教授 AP	豊川 斎赫 TOYOKAWA Saikaku	都市デザイン, 公共施設デザイン, 都市建築史, 防災まちづくり, 世界遺産 Urban Design, Public Facility Design, History of Architecture and City, Urban Planning for disaster prevention, World Heritage
	教授 Prof.	丸山 喜久 MARUYAMA Yoshihisa	都市防災, リアルタイム地震工学, 津波数値シミュレーション, 災害時の道路交通シミュレーション Urban disaster mitigation, Real-time earthquake engineering, Numerical simulation of tsunami propagation, Traffic simulation during a natural disaster
	准教授 AP	関口 徹 SEKIGUCHI Toru	地盤震動, 液状化, 建築基礎, 交通振動 Seismic ground motion, Liquefaction, Building foundation, Traffic vibration
	准教授 AP	蔡 高創 CAI Gaochuang	構造創成学, 都市施設・構造物の安全性, 高性能材料, 人工知能アプリケーション (AIA), インテリジェント構造 Structural Engineering, Safety of urban facilities and structures, High-performance materials, Artificial intelligence application (AIA), Intelligent Structures
	准教授 AP	劉 ウェン LIU Wen	リモートセンシング, GIS, 自然災害, 3次元都市モデル, 被害把握 Remote sensing, Geographic information systems, Natural disaster, 3D urban model, Damage assessment
	教授 Prof.	松野 泰也 MATSUNO Yasunari	リサイクル工学, マテリアルフロー分析, ライフサイクルアセスメント, システムダイナミクス, エネルギー消費最適化 Recycling Engineering, Material Flow Analysis, Life Cycle Assessment, System Dynamics, Optimization of energy consumption
	教授 Prof.	小倉 裕直 OGURA Hironao	エネルギー有効利用システム, 省エネルギー, 化学蓄熱, ケミカルヒートポンプ, 環境エネルギー工学, 化学工学 Effective Energy Utilization, Energy Saving, Chemical Heat Pump, Chemical Heat Storage, Environmental Energy Engineering, Chemical Engineering
	准教授 AP	和嶋 隆昌 WAJIMA Takaaki	化学変換プロセス, 廃棄物有効利用, 環境浄化材, 資源回収, 鉱物処理 Chemical Conversion, Waste Utilization, Environmental Purification Material, Resource Recovery, Mineral Processing
	准教授 AP	劉 醇一 RYU Junichi	エネルギーキャリア, 化学蓄熱, 省エネルギー, 原子力化学工学, 環境触媒化学 Energy Carrier, Thermochemical Energy Storage, Energy Conservation, Nuclear Chemical Engineering, Environmental Catalysis
	教授 Prof.	塩田 茂雄 SHIODA Shigeo	通信システム, IoT技術, オペレーションズ・リサーチ, 性能評価, 確率論 Telecommunication Systems, IoT, Operations Research, Performance Evaluation, Probability Theory
	准教授 AP	吉村 博幸 YOSHIMURA Hiroyuki	光工学, 光情報処理システム, 情報セキュリティ, 暗号, 信号・画像処理, バイオメトリクス, 電磁波工学 Optical Engineering, Optical Information Processing System, Information Security, Cryptography, Signal & Image Processing, Biometrics, Electromagnetic Wave Engineering

【先進理化学専攻】 Division of Advanced Science and Engineering

コース Department	職名 Title	氏 名 Name	専門分野・キーワード Keywords in Research Field
Materials Science 物質科学	教授 Prof.	青木 伸之 AOKI Nobuyuki	量子輸送現象, 二次元層状物質, 走査プローブ顕微鏡法, 半導体微細加工技術, 低温物性 Quantum Transport, 2-d Materials, Scanning Probe Microscopy, Semiconductor Fabrication Process, Low Temperature Condensed Matter
	教授 Prof.	○石井 久夫 ISHII Hisao (先進科学センター)	有機半導体, 界面電子構造, 光電子分光, デバイス物理, 有機エレクトロニクス Organic Semiconductor, Interfacial Electronic Structure, Photoelectron Spectroscopy, Device Physics, Organic Electronics
	教授 Prof.	P. クリュエーガー Peter KRÜGER	表面と界面物理学, 第一原理電子構造計算, X線吸収と光電子スペクトルの理論 Physics of surfaces and interfaces, First principles electronic structure calculations, Theory of x-ray absorption and photoelectron spectroscopy
	教授 Prof.	津田 哲哉 TSUDA Tetsuya	電気化学, 液体塩 (イオン液体/熔融塩), エネルギー変換化学, 蓄電デバイス, オペランド分析 Electrochemistry, Liquid salt (ionic liquid/molten salt), Energy conversion chemistry, Energy storage device, Operando analysis
	教授 Prof.	中村 一希 NAKAMURA Kazuki	光化学, 発光性希土類錯体, 刺激応答型光機能材料, 発光/反射型デュアルモードディスプレイ Photochemistry, Luminescent lanthanide complex, Stimuli-responsive photofunctional materials, Emissive/Reflective dual mode display
	教授 Prof.	平原 佳織 HIRAHARA Kaori	その場透過電子顕微鏡法, ナノカーボン材料, 低次元物質, フレキシブル熱電変換材料, 宇宙用粒子捕集材 In-Situ Transmission Electron Microscopy, Nanocarbon, Low Dimensional Materials, Flexible Thermoelectric Materials, Particle Capture Medium for Space Use
	教授 Prof.	深川 弘彦 FUKAGAWA Hirohiko	有機エレクトロニクス, フレキシブルエレクトロニクス, 発光素子, 太陽光発電, 界面制御, デバイス物理 Organic Electronics, Flexible Electronics, Light-Emitting Devices, Photovoltaics, Interface Control, Device Physics
	教授 Prof.	宮前 孝行 MIYAMAE Takayuki	表面・界面, 非線形分光, 振動分光, 有機エレクトロニクス, 接着 Surface and Interface, Nonlinear spectroscopy, Molecular vibrations, Organic electronics, Adhesion
	教授 Prof.	宮本 克彦 MIYAMOTO Katsuhiko	非線形光学, テラフォトンクス, 量子エレクトロニクス Nonlinear Optics, Tera-photonics, Quantum Electronics
	教授 Prof.	吉田 弘幸 YOSHIDA Hiroyuki	有機半導体, 光電子分光, 低エネルギー逆光電子分光法, 有機エレクトロニクス, 有機薄膜構造解析 Organic Semiconductors, Photoelectron Spectroscopy, Low Energy Inverse, Photoemission, Organic Electronics, Structural Analysis of Organic Thin Films
	准教授 AP	◎大川 祐輔 OKAWA Yusuke	電気化学, 機能電極, ナノマテリアル, 情報変換材料, ソフトマテリアル Electrochemistry, Functional Electrodes, Nanomaterials, Information Transducing Materials, Soft materials
	准教授 AP	椎名 達雄 SHIINA Tatsuo	散乱光学, 光計測, 光波センシング, 光エレクトロニクス, 応用光学 Light Scattering, Optical Measurement, Optical Sensing, Opto-electronics, Application of Optical Engineering

コース Department	職名 Title	氏 名 Name	専門分野・キーワード Keywords in Research Field
Materials Science 物質科学	准教授 AP	柴 史之 SHIBA Fumiyuki	無機材料合成, 微粒子・ナノ粒子, コロイド化学, 液相反応, 微粒子生成機構論 Inorganic Materials Synthesis, Nano- and Fine-Particles, Colloid Chemistry, Liquid Phase Reactions, Formation Mechanisms of Particulate Materials
	准教授 AP	山田 豊和 YAMADA Toyokazu	走査トンネル顕微鏡, 原子・分子マニピュレーション, スピントロニクス磁気物質, トポロジカル超伝導物質, 分子スピントロニクス, グラフェン分子炭素材料, 1 個の生命分子構造解明による創薬 Scanning tunneling microscopy, Atom/molecule manipulation, Spintronicsmagnetic materials, Topological superconductor, Molecular spintronics, Graphene molecular carbon materials, Single life molecule structure analysis for drug discovery
	准教授 AP	◎山本 和貴 YAMAMOTO Kazunuki	ナノ材料, 輸送特性, ナノ加工, 自己組織化構造, 超伝導デバイス Nanomaterial, Transport property, Nanofabrication, Self-organized structure, Superconducting Device
	准教授 AP	劉 醇一 RYU Junichi	エネルギーキャリア, 化学蓄熱, 省エネルギー, 原子力化学工学, 環境触媒化学 Energy Carrier, Thermochemical Energy Storage, Energy Conservation, Nuclear Chemical Engineering, Environmental Catalysis
	准教授 AP	和嶋 隆昌 WAJIMA Takaaki	化学変換プロセス, 廃棄物有効利用, 環境浄化材, 資源回収, 鉱物処理 Chemical Conversion, Waste Utilization, Environmental Purification Material, Resource Recovery, Mineral Processing
	助教 AtP	塚田 学 TSUKADA Satoru	錯体化学, 有機-無機ハイブリッド, 導電性高分子, 非ベンゼン系芳香族化合物, 無機高分子 Metal complex, Organic-inorganic hybrid, Conductive polymers, Non-benzenoid aromatic compounds, Inorganic polymers
	連携客員 教授 VP	石橋 幸治 ISHIBASHI Koji (理化学研究所)	ナノデバイス, 量子デバイス, 量子技術, 半導体ナノワイア, ナノカーボン材料, トポロジカル超伝導 Nanoscale devices, Quantum devices, Quantum technology, Semiconductor nanowires, Nanocarbon material, topological superconductor
	連携客員 教授 VP	解良 聡 KERA Satoshi (分子科学研究所)	分子材料物性, 光電子分光, 放射光, 表面界面物理, 自己組織化 Molecular materials property, photoelectron spectroscopy, synchrotron radiation, surface and interface physics, self-assembly
	連携客員 教授 VP	南出 泰亜 MINAMIDE Hiroaki (理化学研究所)	テラヘルツ工学, 量子波長変換光学, レーザー光学, 有機非線形光学結晶, 超高周波電子デバイス Terahertz Engineering, Quantum nonlinear optics, Laser optics, Organic nonlinear crystals, THz-frequency electrical devices

コース Department	職名 Title	氏 名 Name	専門分野・キーワード Keywords in Research Field
Applied Chemistry and Biotechnology 共生応用化学	教授 Prof.	山田 真澄 YAMADA Masumi	マイクロ流体工学, 微細加工, 生物化学工学, バイオマテリアル合成, 生体組織工学 Microfluidics, Microfabrication, Biochemical Engineering, Biomaterial Synthesis, Tissue Engineering
	教授 Prof.	◎岸川 圭希 KISHIKAWA Keiki	液晶, ソフトマテリアル, 超分子, 超構造, ナノ機能材料 Liquid Crystals, Soft Materials, Supramolecules, Superstructures, Nano-Functional Materials
	教授 Prof.	桑折 道済 KOHRI Michinari	高分子化学, 機能材料化学, コロイド界面化学, バイオミメティクス Polymer Chemistry, Functional Material Chemistry, Colloid and Surface Chemistry, Biomimetics
	教授 Prof.	三野 孝 MINO Takashi	有機合成化学, 有機金属化学, 遷移金属触媒, 不斉合成 Organic Synthesis, Organometallic Chemistry, Transition Metal Catalyst, Asymmetric Synthesis
	准教授 AP	吉田 泰志 YOSHIDA Yasushi (国際高等研究基幹)	有機合成化学, 有機分子触媒, 不斉合成, ハロゲン化学 Organic Synthesis, Organocatalysis, Asymmetric Synthesis, Halogen Chemistry
	教授 Prof.	赤染 元浩 AKAZOME Motohiro	有機合成化学, 超分子化学, 機能性分子, 結晶工学, 分子認識 Organic Synthesis, Supramolecular Chemistry, Functionalized Molecule, Crystal Engineering, Molecular Recognition
	准教授 AP	松本 祥治 MATSUMOTO Shoji	有機合成化学, 機能性材料, ヘテロ原子化学, ヨウ素化学, 有機 π 電子系化学 Organic Synthetic Chemistry, Functional Materials, Heteroatom Chemistry, Iodine Chemistry, Organic π -Electron Chemistry
	教授 Prof.	谷口 竜王 TANIGUCHI Tatsuo	高分子化学, 界面化学, コロイド化学, 光化学 Polymer Chemistry, Interfacial Chemistry, Colloidal Chemistry, Photochemistry
	教授 Prof.	上川 直文 UEKAWA Naofumi	材料化学, セラミックス, ナノ粒子, 表面・界面化学, 電子材料, ソフト溶液プロセス Material Chemistry, Ceramics, Nanoparticle, Surface and Boundary Chemistry, Electric Material, Soft Solution Process
	准教授 AP	小島 隆 KOJIMA Takashi	無機合成化学, 無機材料化学, ナノ粒子, セラミックス複合体 Inorganic Synthesis Chemistry, Inorganic Material Chemistry, Nanoparticle, Ceramic Composite
	准教授 AP	大窪 貴洋 OHKUBO Takahiro	核磁気共鳴, 第一原理分子動力学計算, アモルファス材料, 固体電解質 Nuclear Magnetic Resonance, Ab initio Molecular Dynamics, Amorphous Materials, Solid State Electrolyte

コース Department	職名 Title	氏 名 Name	専門分野・キーワード Keywords in Research Field
Applied Chemistry and Biotechnology 共生応用化学	教授 Prof.	一國 伸之 ICHIKUNI Nobuyuki	触媒化学, 表面科学, X線吸収分光法, 光触媒, 炭化物触媒, クラスター化学 Chemistry of Catalysis, Surface Science, X-ray Absorption Spectroscopy, Photocatalyst, Carbide Catalyst, Cluster Chemistry
	准教授 AP	原 孝佳 HARA Takayoshi	触媒設計, 層間固定化触媒, グリーンケミストリー, 層状無機水酸化物, イオン交換反応 Catalyst Design, Intercalation Catalyst, Green Chemistry, Layered Metal Hydroxide, Ion-Exchange Reaction
	教授 Prof.	◎星 永宏 HOSHI Nagahiro	表面電気化学, 燃料電池, 構造規整表面, 構造規整ナノ微粒子, プローブ顕微鏡, 表面分光 Surface Electrochemistry, Fuel Cell, Well-defined Surface, Shape-controlled Nanoparticles, Probe Microscopy, Vibrational Spectroscopy
	教授 Prof.	中村 将志 NAKAMURA Masashi	燃料電池, 固液界面, 水和構造, 表面X線回折, 表面科学 Fuel Cell, Solid-liquid interface, Hydration Structure, Surface X-ray Diffraction, Surface Science
	准教授 AP	山田 泰弘 YAMADA Yasuhiro	炭素材料, 炭素材料構造解析, 炭素材料構造制御, 炭素触媒 Carbon Materials, Structural Analyses of Carbon Materials, Structural Control of Carbon Materials, Carbon Catalysts
	准教授 AP	天野 佳正 AMANO Yoshimasa	水環境, 環境化学, 富栄養化, アオコ, 水質浄化, 吸着 Water Environment, Environmental Chemistry, Eutrophication, Algal Blooms, Water Purification, Adsorption
	教授 Prof.	矢貝 史樹 YAGAI Shiki (国際高等研究基幹)	超分子化学, 分子集合, 自己組織化, 機能性色素, ナノマテリアル, 生体模倣化学 Supramolecular Chemistry, Molecular Self-Assembly, Self-Organization, Functional Dye, Nanomaterials, Biomimetic Chemistry
	教授 Prof.	松野 泰也 MATSUNO Yasunari	リサイクル工学, マテリアルフロー分析, ライフサイクルアセスメント, システムダイナミクス, エネルギー消費最適化 Recycling Engineering, Material Flow Analysis, Life Cycle Assessment, System Dynamics, Optimization of energy consumption
	連携客員 教授 VP	伊藤 敦夫 ITO Atsuo (産業技術総合研究所)	セラミック医用材料, がん免疫療法アジュバント材料, 骨組織再生用材料 Ceramic Biomaterial, Cancer Immunotherapy Adjuvants, Material for Bone Tissue Regeneration
	連携客員 教授 VP	不動寺 浩 FUDOUZI Hiroshi (物質・材料研究機構)	ナノ粒子, 自己集積, 秩序形成, 粒子パターニング, コロイド結晶 Nano Spheres, Self-Assembly, Ordered Structure, Particles Patterning, Colloidal Crystal

【創成工学専攻】 Division of Creative Engineering

コース Department	職名 Title	氏 名 Name	専門分野・キーワード Keywords in Research Field
Architecture 建築学	教授 Prof.	柳澤 要 YANAGISAWA Kaname	施設プログラミング, 環境行動デザイン研究, 公共施設計画, POE, FM Facility Programming, Environmental Behavioral Design Research, Public Building Planning, Post-Occupancy Evaluation, Facility Management
	教授 Prof.	安森 亮雄 YASUMORI Akio	建築設計, 都市デザイン, 空間構成論, フィールドワーク, キャンパス計画 Architectural Design, Urban Design, Spatial Composition, Field Work, Campus Planning
	准教授 AP	○岡田 哲史 OKADA Satoshi	建築デザイン (建築設計), 近代建築論, 現代建築論, 建築社会学, まちづくり (官民連携/官民協働プログラム), 家具デザイン Architectural Design, Architectural Theory (Modernism to Contemporary), Architectural Sociology, Town Planning (PPP), Furniture Design
	准教授 AP	鈴木 弘樹 SUZUKI Hiroki	建築設計, 建築・都市空間デザイン, ランドスケープデザイン, 空間心理・認知 Architectural design, architecture and urban space design, landscape design, spatial psychology and cognition
	准教授 AP	額原 澄子 EBARA Sumiko	歴史的建造物の保存, 建築アーカイブズ, 建築史, 建築思想史 Conservation of Historic Buildings, Architectural Archives, History of Architecture, History of Architectural Theory
	准教授 AP	吉岡 陽介 YOSHIOKA Yohsuke	建築計画, 人間工学, 視知覚, 空間認知, 仮想環境 Architectural Planning, Ergonomics, Visual Perception, Spatial Cognition, Virtual Environment
	准教授 AP	松浦 健治郎 MATSUURA Kenjiro	都市計画, 都市設計, まちづくり, 地域計画 City Planning, Urban Design, Community Design, Regional Planning
	教授 Prof.	宗方 淳 MUNAKATA Jun	環境工学, 光視環境, 環境心理学 Environmental Engineering, Lighting Environment, Environmental Psychology
	教授 Prof.	平沢 岳人 HIRASAWA Gakuhito	建築構法, 建築生産, ロボティックファブリケーション Building Construction, Building Production, Robotic Fabrication
	准教授 AP	林 立也 HAYASHI Tatsuya	環境工学, 熱・空気環境, 建築設備計画・設計, 省エネルギー計画, CASBEE Environmental Engineering, Thermal Comfort, Air Quality, HVAC system, Energy Saving, CASBEE
	教授 Prof.	○高橋 徹 TAKAHASHI Toru	建築構造, 設計荷重, 限界状態設計, 性能表示型設計 Structural Engineering, Loads on Buildings, Limit State Design, Performance based Design
	教授 Prof.	原田 幸博 HARADA Yukihiro	建築構造, 鋼構造, 建築構造物の耐震設計 Structural engineering, Steel structures, Seismic design of building structures
	教授 Prof.	平島 岳夫 HIRASHIMA Takeo	建築構造, 火災, 耐火, 熱応力解析 Building Structures, Fire, Fire Safety Engineering, Thermal Stress Analysis
	准教授 AP	中村 友紀子 NAKAMURA Yukiko	建築構造, 耐震工学, 鉄筋コンクリート構造, 組積造 Earthquake Resistant Engineering, Structural Engineering, Reinforced Concrete Structure, Masonry
	准教授 AP	島田 侑子 SHIMADA Yuko	建築構造学, 鋼構造, 合成構造, 建築構造物の耐震設計 Structural Engineering, Steel Structures, Composite Structures, Seismic Design of Building Structures
	准教授 AP	林 和宏 HAYASHI Kazuhiro	建築構造, 鉄筋コンクリート構造, 基礎構造, 構造ヘルスマニタリング Structural Engineering, Reinforced Concrete Structure, Foundation Structure, Structural Health Monitoring

コース Department	職名 Title	氏 名 Name	専門分野・キーワード Keywords in Research Field
デザイン	教授 Prof.	寺内 文雄 TERAUCHI Fumio (デザイン・リサーチ・インスティテュート)	材料計画, 感性工学, 製品デザイン, 触知覚 Materials planning, Affective science and engineering, Product design, Tactile perception
	教授 Prof.	小野 健太 ONO Kenta (デザイン・リサーチ・インスティテュート)	工業デザイン, システムデザイン, デザインマネジメント, インタフェースデザイン Industrial design, System design, Design management, Interface design
	教授 Prof.	△田内 隆利 TAUCHI Takatoshi (デザイン・リサーチ・インスティテュート)	パブリックアート, インスタレーション, 彫刻, 意匠形態学 Public art, Installation, Sculpture, Design morphology
	准教授 AP	桐谷 佳恵 KIRITANI Yoshie (デザイン・リサーチ・インスティテュート)	コミュニケーションデザイン, デザイナーのための心理学, 知覚心理学 Communication design, Psychology for designers, Perceptual psychology
	教授 Prof.	石橋 圭太 ISHIBASHI Keita (デザイン・リサーチ・インスティテュート)	生体情報処理, 生理人類学, ヒューマンインタフェース Biological information processing, Physiological anthropology, Human interface
	教授 Prof.	永瀬 彩子 NAGASE Ayako (国際学術研究院)	都市環境デザイン, 都市緑化, 都市農業, 都市生態学 Urban environmental design, Urban greening, Urban agriculture, Urban ecosystem
	教授 Prof.	植田 憲 UEDA Akira (デザイン・リサーチ・インスティテュート)	デザイン文化計画, 地域資源活用, 内発的地域づくり, 内発的観光創造, 歴史的資源の2D/3Dデジタル化 Design culture, Usage of regional resources, Endogenous regional development, Endogenous tourism development, 2D/3D digitizing of regional resources
	教授 Prof.	◎佐藤 公信 SATO Kiminobu (デザイン・リサーチ・インスティテュート)	環境デザイン, 空間演出計画, 環境心理学, 音環境計画 Environmental design, Spatial direction design, Environmental psychology, Sound environmental design
	教授 Prof.	下村 義弘 SHIMOMURA Yoshihiro (デザイン・リサーチ・インスティテュート)	ヒューマノミクス, 人間工学, 生理人類学, 医工学デザイン Humanomics, Ergonomics, Physiological anthropology, Medical design
	教授 Prof.	△樋口 孝之 HIGUCHI Takayuki (デザイン・リサーチ・インスティテュート)	コンテクスチュアルデザイン, デザイン論・デザイン史, 日本デザイン文化, 共生環境デザイン, インテリアデザイン Contextual design, Design theory and history, Japanese design culture, Symbiotic environmental design, Interior design
	教授 Prof.	原 寛道 HARA Hiromichi (デザイン・リサーチ・インスティテュート)	子どもの遊び環境デザイン, 癒やし環境デザイン, インテリアグリーンデザイン, インテリア家具デザイン Children's play environment design, Healing environment design, Interior green design, Interior furniture design

【基幹工学専攻】 Division of Fundamental Engineering

コース Department	職名 Title	氏 名 Name	専門分野・キーワード Keywords in Research Field
機械工学 Mechanical Engineering	教授 Prof.	比田井 洋史 HIDAI Hirofumi	レーザ工学, 精密科学, 加工物理学 Laser Processing, Precision Science, Physical Machining
	教授 Prof.	並木 明夫 NAMIKI Akio	知能ロボット, ロボットビジョン, 高速ビジョン, マニピュレーション, ロボットハンド, 遠隔操作ロボット, ヒューマンロボットインタラクション Intelligent Robot, Robot Vision, High-speed Vision, Manipulation, Robot Hand, Teleoperated Robot, Human-robot Interaction
	教授 Prof.	○劉 浩 LIU Hao (RYU Hiroshi)	バイオメカニクス, バイオミメティクス(生物模倣学), 計算力学, 羽ばたきロボット, 生物飛行, 生物遊泳, 循環器系マルチスケール・マルチフィジクスシミュレーション, 生体医工学, 生物規範工学 Biomechanics, Biomimetics, Computational mechanics, Flapping robots, Bioflight, Biological swimming, Multi-scale, multi-physics simulation in the cardiovascular system, Biomedical engineering, Bioinspired engineering
	教授 Prof.	坪田 健一 TSUBOTA Kenichi	バイオメカニクス, 連続体力学, 微小循環, 血栓, 骨リモデリング, 細胞運動, 機能的適応 Biomechanics, Continuum Mechanics, Microcirculation, Thrombus, Bone Remodeling, Cell Motion, Functional Adaptation
	教授 Prof.	○森吉 泰生 MORIYOSHI Yasuo	熱流体工学, 内燃機関, モデリング, 数値解析, レーザ計測診断, ゼロエミッション・カーボンニュートラル技術 Thermofluids Engineering, Internal Combustion Engine, Modeling, Numerical Analysis, Laser Diagnostics, Zero Emission and Carbon Neutral Technology
	教授 Prof.	武居 昌宏 TAKEI Masahiro	混相流体, 可視化計測, 二相流, マイクロ流路, 人工心臓, プラント Multiphase flow, Visualization, Two Phase Flow, Micro Channel, Artificial Heart, Plant
	教授 Prof.	田中 学 TANAKA Gaku	エネルギー貯蔵・輸送機器, 医用生体熱工学, バイオ流体工学 Energy Storage and Transfer Devices, Biomedical Thermosciences, Biofluid Mechanics
	教授 Prof.	糸井 貴臣 ITOI Takaomi	マグネシウム合金, 鉄アルミニド, 微細組織制御, ナノ解析, 機械的特性 Magnesium alloy, Iron-aluminide, Microstructure control, Nano-characterization, Mechanical properties
	教授 Prof.	松坂 壮太 MATSUSAKA Souta	接合工学, 界面科学, 材料加工学 Materials Joining, Interface Science, Materials Processing
	教授 Prof.	窪山 達也 KUBOYAMA Tatsuya	熱流体工学, 内燃機関, 燃焼, カーボンニュートラル, ハイブリッド・パワートレイン, モデリング, 数値解析, 計測 Thermo-fluid engineering, Internal combustion engine, Combustion, Carbon neutral, Hybrid Electric Powertrain, Modeling, Numerical simulation, Measurement
	准教授 AP	山崎 泰広 YAMAZAKI Yasuhiro	破壊力学, 高温強度学, 界面強度 Fracture Mechanics, High Temperature Strength of Materials, Interface Strength
	准教授 AP	鈴木 智 SUZUKI Satoshi	制御工学, ロボティクス, 機械力学, メカトロニクス, 飛行ロボット, マルチボディダイナミクス, センサフュージョン, 自律移動ロボット, ロボットナビゲーション Control, Robotics, Dynamics of machinery, Mechatronics, Aerial robot, Multi-body dynamics, Sensor fusion, Autonomous mobile robot, Robot navigation

コース Department	職名 Title	氏 名 Name	専門分野・キーワード Keywords in Research Field
Mechanical Engineering 機械工学	准教授 AP	菅原 路子 SUGAWARA Michiko	細胞バイオメカニクス, 細胞システム工学, 細胞・分子メカノバイオロジー Cellular biomechanics, Cellular systems engineering, Molecular and cellular mechanobiology
	准教授 AP	太田 匡則 OTA Masanori	熱流体力学, 伝熱工学, 圧縮性流体, 高速空気力学, 衝撃波, 可視化計測 Thermal Fluid Dynamics, Heat Transfer, Compressible Flow, High-Speed Flow, Shock Waves, Visualization
	准教授 AP	中田 敏是 NAKATA Toshiyuki	昆虫飛行, 小型飛翔体, 流体構造連成, 最適化, 力学的フィードバック, 生物規範工学 Insect flight, Micro aerial vehicle, Fluid-structure interaction, Optimization, Mechanical feedback, Bioinspired engineering
	助教 AtP	川嶋 大介 KAWASHIMA Daisuke	物質輸送, 混相流体, 可視化計測, バイオセンシングシステム, 材料製造プロセス Mass transfer, Multiphase flow, Visualization, Bio-sensing system, Material manufacturing process
Medical Engineering 医工学	教授 Prof.	○羽石 秀昭 HANEISHI Hideaki (フロンティア医工学センター)	医用画像の統合的利用法, CT, MRI, PET等の画像処理, カラー・分光情報の医療応用 Processing and synthesis of medical images such as CT, MRI, PET and optical images, Medical application of color and spectral information
	教授 Prof.	山口 匡 YAMAGUCHI Tadashi (フロンティア医工学センター)	医用超音波, 生体特性計測, 波動情報処理, 定量診断, 標準化 Medical Ultrasound, Bioinstrumentation, Wave Theory, Quantitative Diagnosis, Standardization
	教授 Prof.	俞 文偉 YU Wenwei (フロンティア医工学センター)	生体制御, 生体工学, 医用ロボット, 福祉工学 (リハビリテーション工学を含む), 人工知能 Human Motor Control, Biomedical Engineering, Medical Robotics, Assistive technology (including rehabilitation engineering), Artificial Intelligence
	教授 Prof.	中口 俊哉 NAKAGUCHI Toshiya (フロンティア医工学センター)	医療支援システム, VR医療トレーニングシステム, 医用画像処理, 生体計測 Computer-Assisted Medicine, Virtual Reality-based Training System in Medicine, Medical Image Processing, Biological Measurement
	教授 Prof.	中川 誠司 NAKAGAWA Seiji (フロンティア医工学センター)	感覚・知覚情報処理, 脳機能イメージング, 福祉機器開発, サウンドデザイン, ブレイン・マシン・インターフェース Sensation/perception information processing, brain function imaging, welfare device, sound design, brain-machine interface
	准教授 AP	齊藤 一幸 SAITO Kazuyuki (フロンティア医工学センター)	電磁波工学, マイクロ波の医療応用, 電磁波数値シミュレーション Engineering of electromagnetic wave, Medical applications of microwave, Numerical calculation of electromagnetic wave
	准教授 AP	菅 幹生 SUGA Mikio (フロンティア医工学センター)	医用画像処理, 生体医工学, MRI, PET, 粘弾性計測 Medical image processing, biomedical engineering, MRI, PET, viscoelasticity measurement
	准教授 AP	高橋 応明 TAKAHASHI Masaharu (フロンティア医工学センター)	人体と電磁波, 環境電磁工学, 小形アンテナ, Body Area Network Interaction between human body and electromagnetic waves, Electromagnetic Compatibility, Small Antenna, Body Area Network
	准教授 AP	吉田 憲司 YOSHIDA Kenji (フロンティア医工学センター)	医用超音波, 計測工学, 生体物性解析, バイオセンサ Medical ultrasound, Instrumentation engineering, Analysis of physical property of biological tissue, bio-sensor
	准教授 AP	平田 慎之介 HIRATA Shinnosuke (フロンティア医工学センター)	医用超音波, 超解像定位, 超解像イメージング, 深層学習 Ultrasound in medicine, Super localization, Super-resolution imaging, Deep learning
	連携客員 教授 VP	山谷 泰賀 YAMAYA Taiga (量子科学技術研究開発機構)	放射線医工学, 核医学物理学, PET, 次世代医用イメージング機器開発 Radiological engineering, Nuclear medicine physics, PET, Next generation medical imaging instrumentation

コース Department	職名 Title	氏 名 Name	専門分野・キーワード Keywords in Research Field
Electrical and Electronic Engineering 電気電子工学	教授 Prof.	○劉 康志 LIU Kang-Zhi	システム制御工学, 制御理論, スマートグリッド, 電力システム, 制御応用 System control, Control theory, Smart grid, Power system, Control applications
	教授 Prof.	佐藤 之彦 SATO Yukihiko	パワーエレクトロニクス, 電気機器, モータ制御, 電力システム制御, 再生可能エネルギー Power electronics, Electric machinery, Motor control, Power system control, Renewable energy
	教授 Prof.	宮城 大輔 MIYAGI Daisuke	磁気応用, 超電導応用, 電気機器, 電磁界解析, 非接触給電 Applied magnetics, Applied superconductivity, Electrical machines, Electromagnetic field analysis, Wireless power transfer
	教授 Prof.	森田 健 MORITA Ken	量子光学, 光量子情報, 半導体光スピントロニクス, 超高速分光 Quantum optics, Optical quantum information, Semiconductor optical spntronics, Ultrafast spectroscopy
	教授 Prof.	石谷 善博 ISHITANI Yoshihiro	光・電子・熱統合制御デバイス, 半導体光デバイス, 紫外～赤外半導体光物性, 量子干渉, ナノ・マイクロ構造量子物性, フォノン制御, テラヘルツ波, III族窒化物半導体 Total control of photon-electron-phonon in devices, Optoelectronic semiconductor devices, Photo physics of semiconductors in UV - IR region, Quantum interference, Quantum properties in nano-micro-structures, Phonon control, THz-frequency wave, III-Nitride semiconductors
	准教授 AP	角江 崇 KAKUE Takashi	情報フォトンクス, 高速度イメージング, ホログラフィ, 光波面制御, 3次元計測 Information photonics, High-speed imaging, Holography, Wavefront control, Three-dimensional measurement
	准教授 AP	中田 裕之 NAKATA Hiroyuki	電波伝搬, 電離圏, 大気波動, 自然災害, 磁気圏, 超高層物理学 Radio propagation, Ionosphere, Atmospheric waves, Natural disaster, Magnetosphere, Aeronomy
	准教授 AP	酒井 正俊 SAKAI Masatoshi	有機エレクトロニクス, 有機半導体, 電荷移動錯体, 結晶成長, 配向制御, 分子ナノデバイス, フレキシブルエレクトロニクス Organic electronics, Organic semiconductor, Charge transfer complex, Crystal growth, Crystal orientation, Molecular nanodevice, Flexible electronics
	教授 Prof.	安 昌俊 AHN Chang-Jun	通信理論, MIMO通信システム, RF回路理論, 通信AI信号処理, 可視光通信 Communication theory, MIMO system, RF circuit theory, AI signal processing for communications, Visible light communications
	教授 Prof.	小坪 成一 KOAKUTSU Seiichi	計算機工学, VLSIレイアウトCAD, 確率的最適化, 進化・学習システム Computer engineering, VLSI layout CAD, Stochastic optimization, Evolutionary systems, Learning systems
	教授 Prof.	○伊藤 智義 ITO Tomoyoshi	計算機科学, 高速計算, ホログラフィ, 3次元映像 Computer science, High-performance computing, Holography, Three-dimensional imaging
	教授 Prof.	下馬場 朋禄 SHIMOBABA Tomoyoshi	ホログラフィ, 波動光学, 計算機工学, 三次元画像処理・センシング Holography, Wave optics, Computer engineering, Three-dimensional image processing and sensing
	准教授 AP	大森 達也 OMORI Tatsuya	弾性波デバイス, 電子回路, 高周波回路, 光ファイバセンサ, ワイヤレスセンサ SAW/BAW devices, Electronic circuits, RF circuits, Optical fiber sensors, Wireless sensors

千葉大学西千葉地区案内図

Chiba University (Nishi-Chiba Campus)



